

建築と社会

Architecture and Society

03

vol.96 No.1116

2015

特集：

支部復活55周年記念

東海支部特集

Tokai Branch

01 浮御堂
唐崎神社

02 天然図画亭
居初氏庭園

03
南郷洗堰

04

05

06

07

08

09

10

11

12

武庫川女子大学 看護科学館 学校教育館 見学会

この見学会は、建築CPD情報提供
制度認定プログラムです。
(公社)大阪府建築士会 (2単位)
(公社)日本建築家協会 (2単位)

昨年末に竣工した武庫川女子大学の
2つの新館です。共通するテーマ
「交流 (コミュニケーション)」に対
して敷地や機能など、異なる条件の
もと、設計者がどのようにアプロ
ーチしたのか、比較しながらの見学も
見どころとなっています。

日 時 2015年4月25日(土)
14:00~16:00 (予定)

見 学 先 武庫川女子大学
看護科学館・学校教育館
所 在 地 兵庫県西宮市鳴尾町1丁目
15番他

講 師 堀良平 (株竹中工務店)
松森織江
(株東畑建築事務所)

集 合 現地
(集合場所は参加証に地図
記載)

最 寄 駅 阪神 鳴尾駅下車

定 員 30名 (先着順)

参 加 費 会員1,000円

一般1,500円

学生 500円

申込方法 ①催し名
「武庫川女子大学見学会」

②氏名

③会員・一般・学生の別

④職場名または学校名

⑤参加証送付先住所

⑥連絡先電話番号

⑦CPDを申請される方は、
申請先の団体名とID番号

上記項目を明記しFAXま
たはE-mailにて下記まで
お申し込みください

申 込 先: (一社)日本建築協会
(担当: 藤巻)
TEL: 06-6946-6981
FAX: 06-6946-6984
E-mail: jigiyoka@aaj.or.jp

「看護科学館」

建 築 主 学校法人 武庫川学院
設計施工 株式会社 竹中工務店
敷地面積 2632.57㎡
建築面積 815.46㎡ (既存含まず)
延床面積 4559.88㎡ (既存含まず)
構造規模 S造+RC造 地上6階
竣 工 2014年11月
建物用途 大学



2015年4月開設の武庫川女子大学看護
学部及び大学院看護学研究科のための
新校舎です。新学部の開設にあたり与
えられたテーマは、「コミュニケーション
力」と「実践力」の育成にふさわし
い教育環境の創造でした。

■「コミュニケーション力の育成」
この建物はコンパクトなボリュームの
中に、講義室、実習室、研究室、その

他諸室といった複数の機能を積層する
構成となっており、これらの要求機能
を満足しながら、テーマの一つである
コミュニケーションを育むスペースを
確保することがポイントでした。具体
的には、一般的な廊下を挟んだ居室配
置ではなく、ホールを中心とした居室
配置としています。これにより、居室
以外の全ての空間を有効に活用する
ことができ、コミュニケーションス
ペースとして、学生同士の交流、学生と教
員との交流を活性化させています。

■「実践力の育成」

この建物には4つの実習室があり、臨
床の現場に限りなく近い環境での実習
により、実践能力の育成ができます。
多様な演習内容に柔軟に対応するため、
偏平RC柱とS梁を組み合わせた構造形
式を採用し、外壁周りに柱型の出ない
使いやすくフレキシブルな大空間を実
現しています。

■「色の持つ力を体感できる学び舎」
建物内部は女性らしい優しい色合いを
基調に、各階で行われる活動の効果を
高める色をアクセントカラーとして採
用しました。学生自身が日常生活の中
で身をもって色の力を体感し、体のケ

アだけでなく心のケアに関しても興味
をもつ仕掛けがなされています。

■「周辺と調和した外観デザイン」
外観デザインは隣接する総合心理科学
館 (2011年竣工) と同様の二丁掛タイル
とし、43号線以北で拡張する新キャン
パス群としてのアイデンティティを
明確に表現しました。

(堀良平/竹中工務店)



「学校教育館」

建 築 主 学校法人 武庫川学院
設 計 株式会社 東畑建築事務所
施 工 株式会社 大林組
敷地面積 3,155.07㎡
建築面積 1,983.46㎡
延床面積 9,483.01㎡
構造規模 S造 地上7階
竣 工 2014年12月
建物用途 大学



地域社会と共に教育・保育の「知」を
はぐくみ、次代の教育を国内外的に
リードしていく「人と情報のネット
ワーク拠点」が望まれた新館です。4
つのコンセプトを軸に新たな教育環境
の創造を目指しました。

■「成長」－伝統と開放性の表現
教育・保育に携わる様々な人に開かれ

た交流拠点としての開放性を表現しま
した。武庫川女子大学のブランドとも
言える伝統的な厚重感あるタイル壁を
リブ状に配列し、軽快感ある透明ファ
サードをリブ間に設けた外観構成とし
ています。アプローチするに従い徐々
に垣間見える女子大の華やかさが外部
からも親近感を感じさせる表情としま
した。

■「発信」－開かれた教育学の拠点
場所は中央キャンパスより北側国道43
号以北の一敷地。単独敷地の立地条件
を活かし内外の垣根を和らげると共に、
大学のアクティブな活動をライブに発
信できる外観となっています。国道沿
いに配した「コミュニティアゴラ」は、講演
会などをするに最適な空間とし、最先
端教育を視覚化する設えとしました。

■「交流」－対話と交流の誘発
東西軸に教室を配したコの字型ブラン
で、アクティブラーニングの場 (自発
的な学習の場) としての「コミュニ
ティ・コモンズ」を、動線中心部に配
置しました。授業のあいまなどにヨリ
ミチしやすい場所、人の目に付きやす
い場所とすることで、見る・見られる
の関係性を創出し、より自発的学習を

促す仕掛けとなっています。また、一
室空間ではなく各階に分節して設け、
吹抜を介して千鳥状に連続する構成と
しました。個々の場に個性をもたせる
とともに、立体感ある動的空間による
インフォーマルなコミュニケーション
の誘発を意図しています。

■「環境」－緑豊かな環境と環境教育
「ビオトープ」、「教育の森」、「サイエ
ンスフィールド」など教育実習装置の充
実を図り、未来の教育者を育てるにふ
さわしい施設となればと考えています。
(松森織江・広瀬和也/東畑建築事務所)



若き創造者たちへ

「第62回青年技術者顕彰」へのおさそい

選考資料の一部が
変更となりました

日本建築協会では、昭和29年から「青年技術者」を表彰してきました。これは、35才以下の優秀な設計者、技術者、研究者等を対象とするもので、若手建築技術者のいわば登龍門として定着しています。

今年も、青年技術者選考委員会を設けて、これまでどおり、計画・設計・構造・設備・施工およびその他の分野について青年技術者を表彰します。

選考は有職者による選考委員会が行い、選出された方は、本会総会での表彰、「建築と社会」への掲載等を予定しています。建築界の様々な分野で活躍されている皆様の積極的なご応募をお待ちしています。

応募提出規定

1. 応募できる人は満35歳（平成27年3月27日現在）以下の青年技術者であって、本会個人会員に限る。
2. 原則として、すいせん者を通じて応募する。
すいせん者は被すいせん者（青年技術者）の勤務する組織の上司か上長とする。すいせん者が学校教官である場合はこの限りでない。また本人が組織の代表者である場合は自せんとする。
3. 応募分野は特定しない（建築に関するあらゆる分野を対象とする）。応募者は、たとえば計画、一般設計、住宅・インテリア設計、構造、設備、施工、技術開発、行政、情報、コーディネート等の分野にあって、なしたすぐれた実績について、すいせんをうけ、下記の所要資料を1部、本会に期日までに提出する。
4. 提出された資料は「青年技術者選考委員会」において選考する。
5. 「青年技術者選考委員会」において選出された青年技術者は本会総会において表彰し、「第62回青年技術者特集号」（平成27年7月号）に掲載する。

6. 提出資料

■すいせん用紙

本会事務局で発行、またはホームページからダウンロードして下さい。

■略歴

本人の氏名、生年月日、最終学歴、業歴、作品経歴など

■選考資料

A：業績資料（A3版5枚以内／書式は任意）

- ① 設計の場合——鮮明な写真、配置図および主要平面図、概要、設計要旨、その他設計内容を説明するに十分な資料
- ② 計画、構造、設備、施工の場合（それぞれの設計計画なども含む）——上に準じた資料
- ③ 上記以外の分野の場合——それぞれの分野にふさわしい資料

B：青年技術者の思い（A4版2枚以内／書式は任意）

上記業績資料に記載した業績において、本人が特に貢献した部分、または力量が活かされたと思われる部分の詳細な説明をしてください。また、本人の建築、都市、環境などに対する考え方、取り組み姿勢や将来展望などについて、簡潔にまとめてください。文字だけでなく必要に応じ、図表、写真等も用いてもかまいません。ただし応募者本人の執筆に限る。**この資料は、応募者の考え方を知る上で大変重要と考えていますので、十分配慮して下さい。**

7. 提出期限 平成27年3月27日（金）

8. 提出先 日本建築協会「青年技術者選考委員会」

〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31

大阪マーチャングाइズ・マートビル7階

電話 06-6946-6981 FAX. 06-6946-6984

Email : h-katayama@aaaj.or.jp

9. 提出方法 郵送（当日消印有効）または持参

10. 青年技術者選考委員会

委員長 米井 寛／㈱東畑建築事務所取締役大阪事務所長

委員 吉岡 聡司／大阪大学大学院キャンパスデザイン室准教授

佐々木 栄／㈱昭和設計執行役員建築部門建築設計部統括

八木 康行／スタジオエイトアーキテクト代表

高梨雄二郎／㈱竹中工務店開発計画本部長（西日本担当）

町澤真一郎／清水建設㈱関西事業本部設備設計部グループ長

山浦 晋弘／㈱安井建築設計事務所構造部長

辻 聖晃／京都大学大学院工学研究科建築学専攻准教授

小倉 良友／㈱日建設計エンジニアリング部門

設備設計グループ副代表兼部長

山辻 直樹／大成建設㈱関西支店建築部購買管理室課長

阪井 聡／㈱大林組大阪本店建築事業部生産技術部部長

「続ええとこ」
そぞろ歩く御堂筋
提案コンクール
入選者発表

（一社）日本建築協会は、2017年に創立100周年を迎える。その記念事業のひとつとして、大阪のまちの活性化のアイデアを募る「大阪ええとこそうせい（創生）プロジェクト」を2009年より実施している。今回はその第3弾として大阪のメインストリートである御堂筋をとりあげ、御堂筋を「さらにええとこ」にするアイデアを募集した。橋爪紳也氏（大阪府立大学21世紀科学研究機構教授）と澤田充氏（㈱ケイオス代表取締役）によって、2月20日 OMMビルにて厳正な審査が行われ応募点数59点の中から6点が選ばれた。なお、表彰式は3月25日に㈱竹中工務店にて行われる。

また、入選作品の展示は御堂筋にある「本町ガーデンシティ 1 階エントランス」にて、平成27年3月26日から4月6日まで行われる。入賞発表は平成27年5月号に掲載する予定。

最優秀	PATCHWORK LINE	丸子勇人
優 秀	Happy birthday dear A building!	中村美香
優 秀	そぞろ歩くイモガイ —INFORMATION CENTER OF MODERN OSAKA	中原文雄
優 秀	Floating —漂うように街を歩く—	岩倉 巧
優 秀	my イチヨウ our ミドウスジ	堀 沙樹、瓜生宏輝、湯浅 尚
優 秀	インキュベーションストリート御堂筋	太治大輔

順不同

民間（旧四会）連合
協定リフォーム工事
請負契約書類（書式・
約款）販売開始の
お知らせ

- 2月より民間（旧四会）連合協定リフォーム工事請負契約書類（書式・約款）の販売を開始いたしました。小規模リフォーム工事での使用に適した内容となっています。是非ご利用ください。

※内容についてのご質問は、民間（旧四会）連合協定工事請負契約約款委員会へお問い合わせください。
1. 販売価格
1セット 500円＋消費税

2. 申込・問合せ先
（一社）日本建築協会
〒540-6591
大阪市中央区大手前1-7-31
大阪マーチャンダイズ・マートビル7階
TEL：06-6946-6981
FAX：06-6946-6984
E-mail：soumu@aaj.or.jp
3. セット内容
・リフォーム工事請負契約書（表紙）
2部
・リフォーム工事請負契約書 2部
・打合せ内容・依頼事項書 2部
・リフォーム工事 仕上表 2部
・民間（旧四会）連合協定リフォーム工事請負契約約款 2部
・工事変更合意書 2部
・工事完了確認書 2部
・利用の手引き

建築と社会

Architecture and Society

03

vol.96 No.1116

2015

特集予告

04 05
月号 月号
.. ..
第21回 会
員作品 作
品 “私 空
間の作法”
の創造

今月の表紙

南郷洗堰 (1905)



琵琶湖を水源とする瀬田川で、治水を目的に1905年に築かれた堰。上流側は水压を受け流す尖った造形で、橋脚はレンガ、そのエッジを石貼り、橋桁はコンクリートというデザイン。

当時は水門の開閉を人力で行っており、水を堰き止めている角材をひとつひとつ上げ下げし、それに1日以上時間がかったという。

1961年にその役割を終え、現在では少し下流の瀬田川洗堰が治水機能を担っている。川を横断していたかつての姿はなくなったものの、両岸にその一部が保存され、ありし日の水との戦いの苦労を今に伝えている。

(多田正治)

表紙デザイン 多田正治 (多田正治アトリエ)
撮影 山羊 昇

特集： 支部復活55周年記念 東海支部特集

目次

■東海支部会員作品2015		
岐阜県立下呂温泉病院		8
KKC健康スクエア ウエルネス三重健診クリニック		10
岡崎信用金庫知立支店		12
愛知信用金庫中村支店		13
浜松信用金庫駅南支店		14
蒲郡信用金庫曙支店		16
蒲郡信用金庫豊川北支店		17
東春信用金庫本店		18
中京銀行鳴子支店		20
豊橋信用金庫豊川支店		21
イオンモール名古屋茶屋		22
株式会社モリマツ本社ビル		23
大垣市立北幼保園		24
■TOKAI Sketch Book		25
■座談会		
「建築と文化・建築と社会」のこれまでとこれからについて ～幅広い分野で話し合い、建築団体としての今後の役割について考察する		
河田克博 住宮和夫 吉田祥子 柱健太郎 塩田哲也 松野健太郎 片山友見 福田泰造 (司会)		28
■東海のこれから		
1 名古屋駅周辺のまちづくり展望	後藤勝彦	34
2 中部国際空港周辺の街づくり展望	片岡憲彦	36
3 名古屋港の将来展望	澤田丸四郎	38
■東海の建築：建築と設備の融合		
住宅地に建つ低層小規模オフィスで自然換気をデザインする ：集風ウォール+PCM活用型自然換気システム 六合エレメック本社ビル		42
建築と構造と設備のコラボレーション 熊野油脂新社屋		44
■東海支部だより		
1 建築家ヴォ・チョン・ギア氏の建築とベトナム歴史建築の旅	塩田哲也	46
2 建築工事实務講習会の報告		48
■東海支部資料集		
東海支部会員『建築と社会』作品掲載リスト 2010～2014 東海支部『東海の建築』 Publication history 2010～2014		49
連載	会告	武庫川女子大学 看護科学館 学校教育館 見学会 第62回青年技術者顕彰 「続ええとこ」そぞろ歩く御堂筋提案コンクール入選者発表、 民間 (旧四会) 連合協定リフォーム工事請負契約書類 (書式・約款) 販売開始のお知らせ
		1
	作品作風	カン研究所 神戸ポートアイランド本社研究所
		4
	gallery	空間と存在 田中共子
		6
	法令コーナー	建築物の環境配慮制度を拡大 松尾博司 村山秀明
		53
	構造の頁	豊かな内部空間を実現したメガトラス架構 ー京都銀行金融大学校桂川キャンパスー 軸丸久司
		54
	再読 関西近代建築	自泉会館 安達英俊
		55
	関西の建築界 群像	榊原節子 三矢大祐
		59
	information	企画展 くらしのうつりかわり展戦時下のくらしと復興、空想 (フィクション) と写真 (リアル) ー2013年度新収蔵作品を 中心に、特別展 (みやこ) を描くー洛中洛外図の時代ー、 特別展バーネット・ニューマン 十字架の道行き展、特別展 ガウディ×井上雄彦ーシンクロする創造の源泉ー
		60
	月間の動き	平成27年 1 月
		62



カン研究所 神戸ポート アイランド本社研究所

建 築 主 鹿島リース株式会社
設 計 KAJIMA DESIGN
施工・監理 鹿島建設関西支店

製薬大手エーザイの研究開発子会社、カン研究所の本社機能を備えた創業の研究所である。周辺に医療施設や研究機関が建ち並ぶポートアイランドの「神戸医療産業都市」を拠点とし、研究機能の強化及び研究規模を拡大することを目的に新たに計画された。

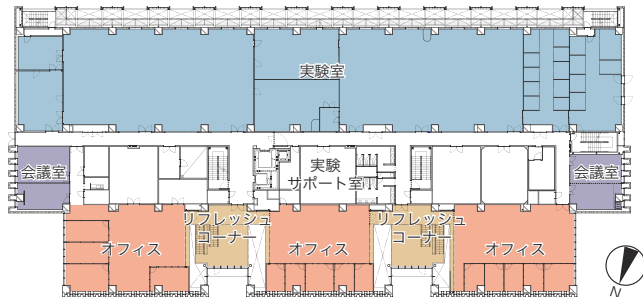
東日本大震災の教訓から、免震構造を採用することはもとより、四周が海に囲まれた立地での想定外の津波から貴重な研究資産を守るため、主要実験室を2階以上、主要設備機器を5階及び屋上に配する断面構成とした。

平面構成は、北側に研究居室（オフィス）、南側に実験室（ラボ）、その中間に実験をサポートする諸室を配置した3枚構成による明快なゾーニングとしている。研究者の様々な交流によるひらめきを促す場として、明るい吹抜けを持つコミュニケーションエリアをあえてオフィス中央に配置した。

この空間特性をそのまま外部の表情に現し、分節化された3つのボリュームを力強いリブデザインで上昇感を表現した。

様々な環境配慮技術の組み合わせによりCASBEE「Sランク」を取得しており、免震構造、ISS、メカニカルバルコニー、バックアップ設備、等の採用により、災害に強く、事業継続性の高い機能的な研究所としている。

(笠原恒孝／鹿島建設)



2・3階平面図



3つに分節されたリブデザイン

所 在 地 兵庫県神戸市中央区港島南町6-8-2
敷地面積 7,000.01㎡
建築面積 3,284.39㎡
延床面積 12,648.76㎡
構造規模 RC+S造、免震、地上5階
工 期 2013年2月～2014年4月
最 寄 駅 神戸新交通ポートアイランド線 医療センター駅
撮 影 福澤昭嘉



内部環境が表出するファサード

まち

建築

ひと

gallery

空間と存在

ガラスアート作家

田中 共子

部屋の片隅にガラスをひとつ吊り下げる。するとガラスは光を広げ、空気を動かし、空間に存在を生み出して、いつも何気なく感じている場所に新しい認識を与えます。光は常に変化し、映し出す影が変わると視線も変わっていきます。固定し空間を区切るものとしてのガラスではなく、自由に動き空間と空間を融合するものとしてガラスを扱い制作しています。

田中 共子（たなか ともこ）

兵庫県出身

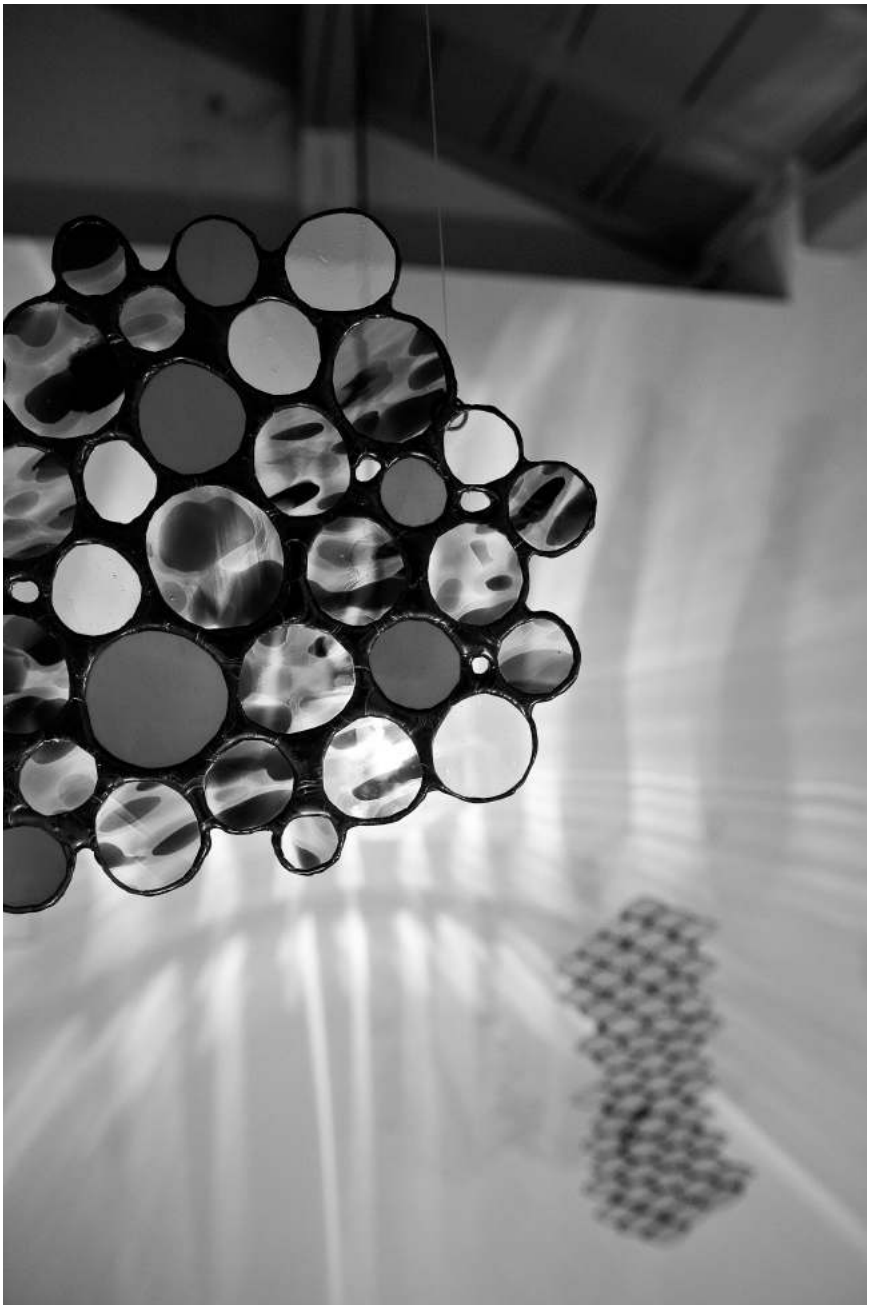
1998年 大阪芸術大学美術学科卒業

2004年 ガラスアート作家山部雅子氏に師事

2010年 佛教大学通信教育部

仏教教養コース修了

2010年 独立 関西を中心に活動中



最近の展示

2014年

個展「a priori」：SEN&Gallery（大阪市）

個展「Flying bird」：家具町LAB.（枚方市）

：GLAN FABRIQUE la galerie（茨木市）

撮影：多田ユウコ

企画編集：稲垣和江（作品作風小委員会）

東海支部会員作品2015

岐阜県立下呂温泉病院

KKC健康スクエア ウエルネス三重健診クリニック

岡崎信用金庫知立支店

愛知信用金庫中村支店

浜松信用金庫駅南支店

蒲郡信用金庫曙支店

蒲郡信用金庫豊川北支店

東春信用金庫本店

中京銀行鳴子支店

豊橋信用金庫豊川支店

イオンモール名古屋茶屋

株式会社モリマツ本社ビル

大垣市立北幼保園

「建築と社会」東海特集特別編集委員会

委員長：福田泰造

特集記事担当委員：松元親司、後藤利秋、今津芳清

作品作風担当委員：土井敬三、今井 亨

委員（順不同）：河田克博、松本壮一郎、篠原佳則、中村哲士、芳山明久、

本梅 誠、富田昌志、加藤武範、吉田祥子、西澤太良、

塩田哲也、野呂和弘、澤田康司

所在地 岐阜県下呂市森字藤ヶ野2022
敷地面積 25,506.34㎡
建築面積 6,581.36㎡
延床面積 19,605.17㎡
構造規模 RC造 一部PC、S造（免震構造） 地上6階
工期 2012年4月～2014年3月
最寄駅 JR高山本線 下呂駅
撮影 新名 清／エスエス名古屋



南側正面ファサード



外来ホスピタルストリート

岐阜県立下呂温泉病院

建 築 主 地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院
設計・監理 安井・熊谷設計共同体
施 工 岐建・市川・中島・飛騨JV

機能的なアプローチ計画

敷地高低差を利用した配置計画を行い、1, 2階から出入りできる計画とした。1階は正面玄関、救急・時間外出入口、売店や発熱外来など駐車場から出入しやすく、2階では、サービス、スタッフ出入口、健診者出入口など、患者との動線が交錯しないよう配慮した。

わかりやすく明るい外来

患者の負担を軽減するため外来機能は1階に集約配置し、診療待合エリアに対して45度斜めに廊下（ホスピタルストリート）を配置することで、ブロック受付が一目でわかり、動線の短縮化を図った。待合空間には外部からの光が入る明るい環境づくりを行っている。

生活の場の医療にふさわしい多床室的個室群

病室はすべてが個室で、1つのホールに5つの病室と共同便所を配置した病室群（ユニット）を形成することで、多床室の見守りやすさと患者のプライバシー確保を両立させている。病室群の間には談話コーナーや光庭を配置し、明るい環境と病室以外の居場所づくりに努めている。

災害時に配慮した計画

新病院はコンクリート造による基礎免震構造で、72時間分の備蓄燃料を保持した非常用発電機（1000KVA）を設置し、2回線で2種類のルートから引き込みを行っている。その他、井水利用の将来対応、緊急排水槽を設置し災害時にも機能継続できるよう配慮した。

（谷 馨、篠原佳則、東園浩文、高田和子、新井 匠／安井建築設計事務所）



屋上庭園よりみた個室群



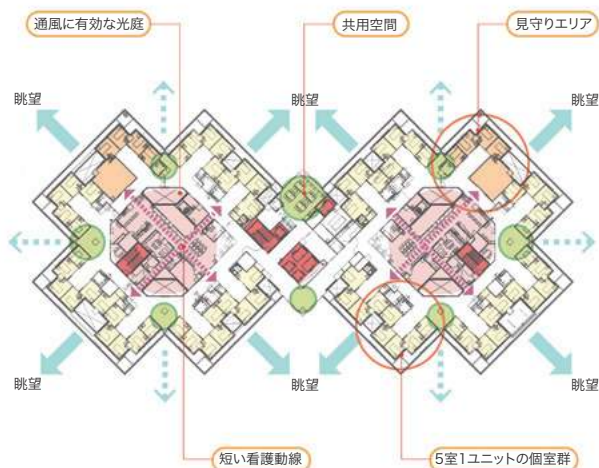
各病室群



1階平面



病室群と談話コーナー



病棟平面



病室（全個室）

KKC健康スクエア ウェルネス 三重健診クリニック

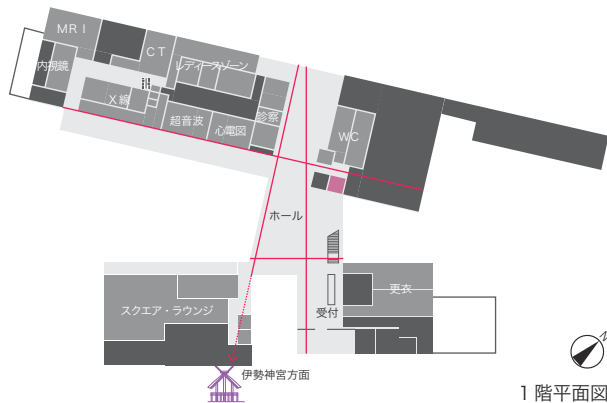
建 築 主 一般財団法人近畿健康管理センター
設計・監理 竹中工務店
施 工 竹中工務店

当施設は、市街地から離れた四角い画一的な建物が並ぶ工業団地に建つ健康診断専門のクリニックである。この建物の特徴づける大きな三角形の屋根は、45度の二等辺三角形「矩勾配（かねこうばい）」としている。これは伊勢神宮と同じ勾配で、周辺地域のランドマークとなることを意図して採用した。純粋にこの形を見せている妻部分は、上からテンションロッドで吊ることで約5m跳ねだしており、三角形の形状をよりシャープに強調している。

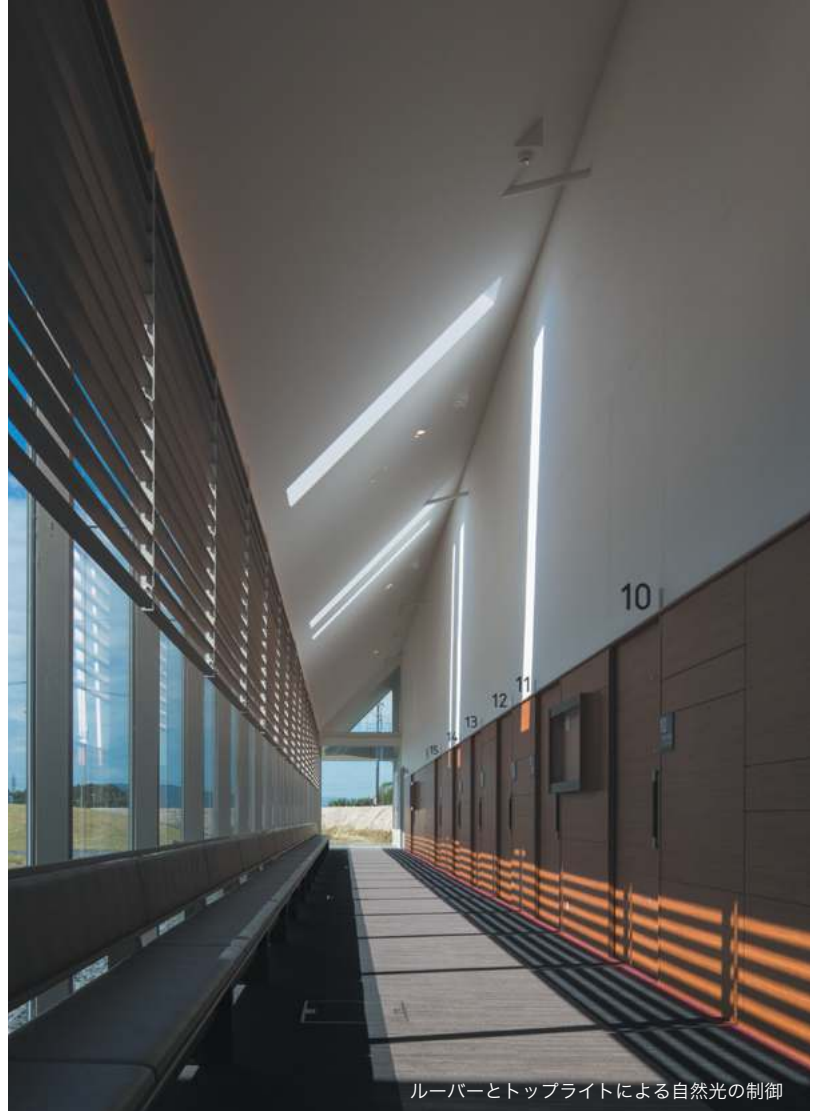
建物は機能を明確にわけた3つの棟と、それらを繋ぐ吹き抜けを設けたホールで構成。それぞれの棟の隙間には、黒い大型タイル、白玉砂利石、芝生で素材を分けてつくった3つの庭があり、内部と外部との関わりに変化をもたらしている。一辺が開放された中庭の外周部は、ランドスケープデザインとして地形を盛り上げて、内部のプライバシーと開放感を両立させた。

健診プログラムの順路を巡りながら中庭を眺め、空間的な変化を体験することで、健診での待ち時間を自然光や風景を体験するリラックスした時間にすることを意図し、健診という自分の身体と向き合う時間を有意義なものにしている。

（市川健二、吉岡英一、大橋祐介／竹中工務店）



所 在 地 三重県津市あかつ台四丁目1番3
敷地面積 12,856.78㎡
建築面積 1,805.74㎡
延床面積 2,555.59㎡
構造規模 S造 地上2階
工 期 2013年12月～2014年9月
最 寄 駅 JR紀勢本線 一身田駅
撮 影 エスエス名古屋



ルーバーとトップライトによる自然光の制御



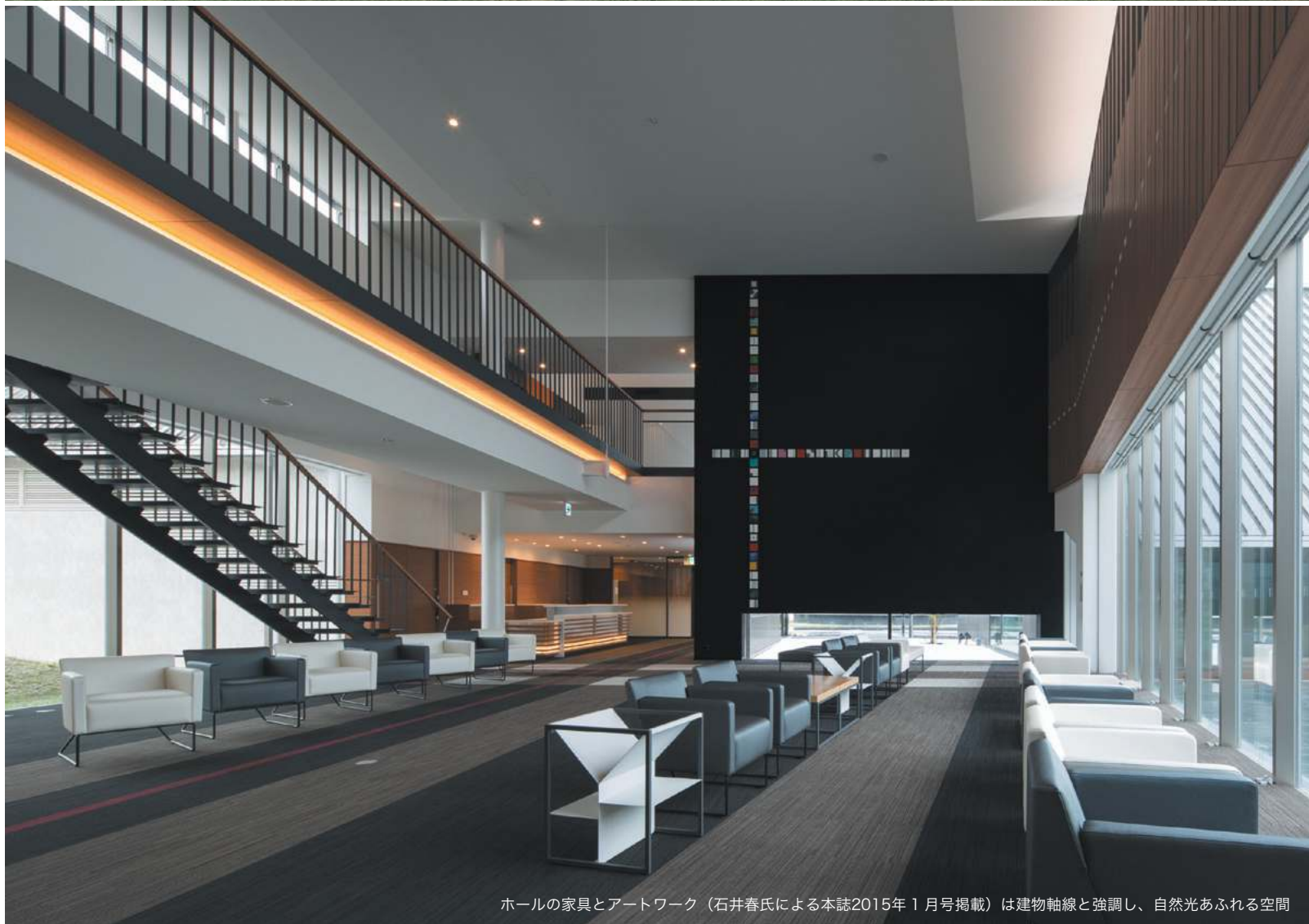
外周部の開口はスリット状にし、内部のプライバシーを確保



中庭から健診待合の夜景



矩勾配によるおおらかな屋根の全景



ホールの家具とアートワーク（石井春氏による本誌2015年1月号掲載）は建物軸線と強調し、自然光あふれる空間



北西面外観

岡崎信用金庫 知立支店

建 築 主 岡崎信用金庫
設計・監理 日建設計
施 工 小原建設

名鉄知立駅より徒歩約10分、知立市北部に建つ岡崎信用金庫の支店。国道沿いという敷地条件を活かし、道路側の長い間口を活かした建物配置を行い、店舗の存在感を高める構えとした。

知立は、東海道五十三次39番目の宿場町「池鯉鮒宿（ちりゅうじゅく）」であったことから、低い軒の連なる宿場町の街並みをイメージし、庇の水平線を強調した外観デザインを行った。

北西側を向くファサードの窓は日射の影響を軽減する目的で縦スリットとした。また、閉店以降も窓から漏れる光により周辺の街並みを明るく照らすよう、シャッターの代わりに、4.5mmの鉄板をレーザーカット加工した格子を嵌めて防犯性を保った。

特徴的な東側の2階建て部分は、大きな立面を繊細な縦格子によって整え、店舗の顔とした。

内部は店舗機能に加え、各種セミナーや地域の住民の会議等に利用されるコミュニティルームを設けた。コミュニティルームは地域開放を行うため、専用の入口など独立した運用が可能な設えとなっている。

（葛原定次、塩田哲也、片桐雄歩／日建設計）



ロビー・コミュニティルーム・営業室

所 在 地 愛知県知立市西町西
敷地面積 1,816.06㎡
建築面積 582.89㎡
延床面積 736.96㎡
構造規模 S造 地上2階
工 期 2013年6月～2014年1月
最 寄 駅 名鉄名古屋本線 知立駅
撮 影 小田秀城／秀栄



西面夕景外観

愛知信用金庫 中村支店

建 築 主 愛知信用金庫
設計・監理 日建設計
施 工 三井住友建設

所 在 地 愛知県名古屋市中村区椿町1902
敷地面積 402.75㎡
建築面積 365.79㎡
延床面積 2,293.88㎡
構造規模 S造 地上7階
工 期 2013年6月～2014年3月
最 寄 駅 JR東海道本線 名古屋駅
撮 影 エスエス名古屋

JR名古屋駅西側の雑然とした一帯の中、名古屋の大動脈である広小路に連なる太閤通りに面した、既設支店の建て替えと、東海・東南海地震に備えた本部機能のバックアップオフィス、データセンターの移転として計画した。新幹線から良く見える立地に、周囲の過剰な看板や装飾とは一線を画し、敢えて主張し過ぎず、シンプルで飽きのこないデザインとすることで認知度を高め、堅実で控え目でも「凛とした」存在感を示すことを狙った。

建物上部は光触媒塗装を施した450mm幅の押出成形セメント板と225mm幅の換気スリット窓だけの繊細なストライプパターンの外装とし、外部からはデータセンターや事務室の様子は見えないが、内部には十分な自然光と風を導くことができる。支店機能を集約した1、2階低層部はガラス張りのオープンな営業店舗として、地元のサロンのように使ってもらえる設えとした。また、BCP対策として、72時間の非常用発電設備、非常用汚水槽などを備えている。

夕暮れ時には、スリット窓から漏れる光の帯が美しく、店舗の明かりが街を照らす。幸い、従来の顧客からの評判も良く、今まで訪れることが少なかった子育て世代や若者が入り易くなったことで、今まで以上に地域に溶け込む、新しい信用金庫のイメージに生まれ変わった。

(佐竹一郎、今井幸彦／日建設計)



南東側外観（太閤通側）



北東側外観



スリット窓廻り



大会議室



待合ロビー



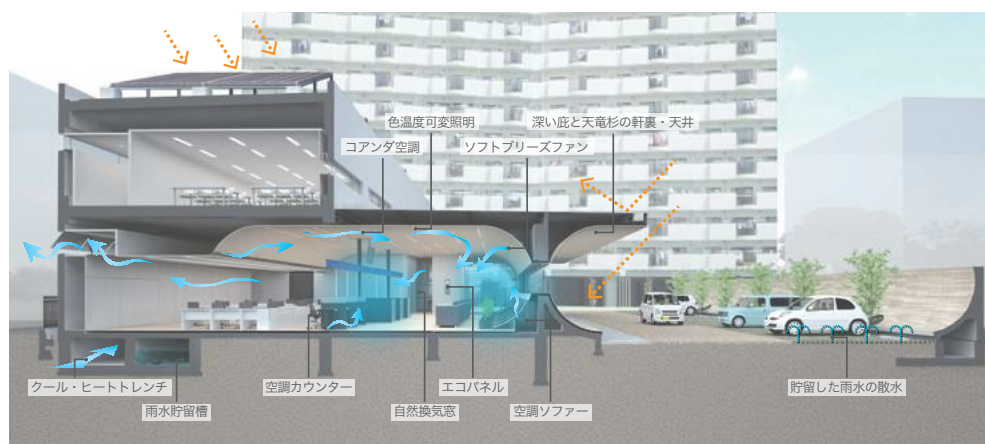
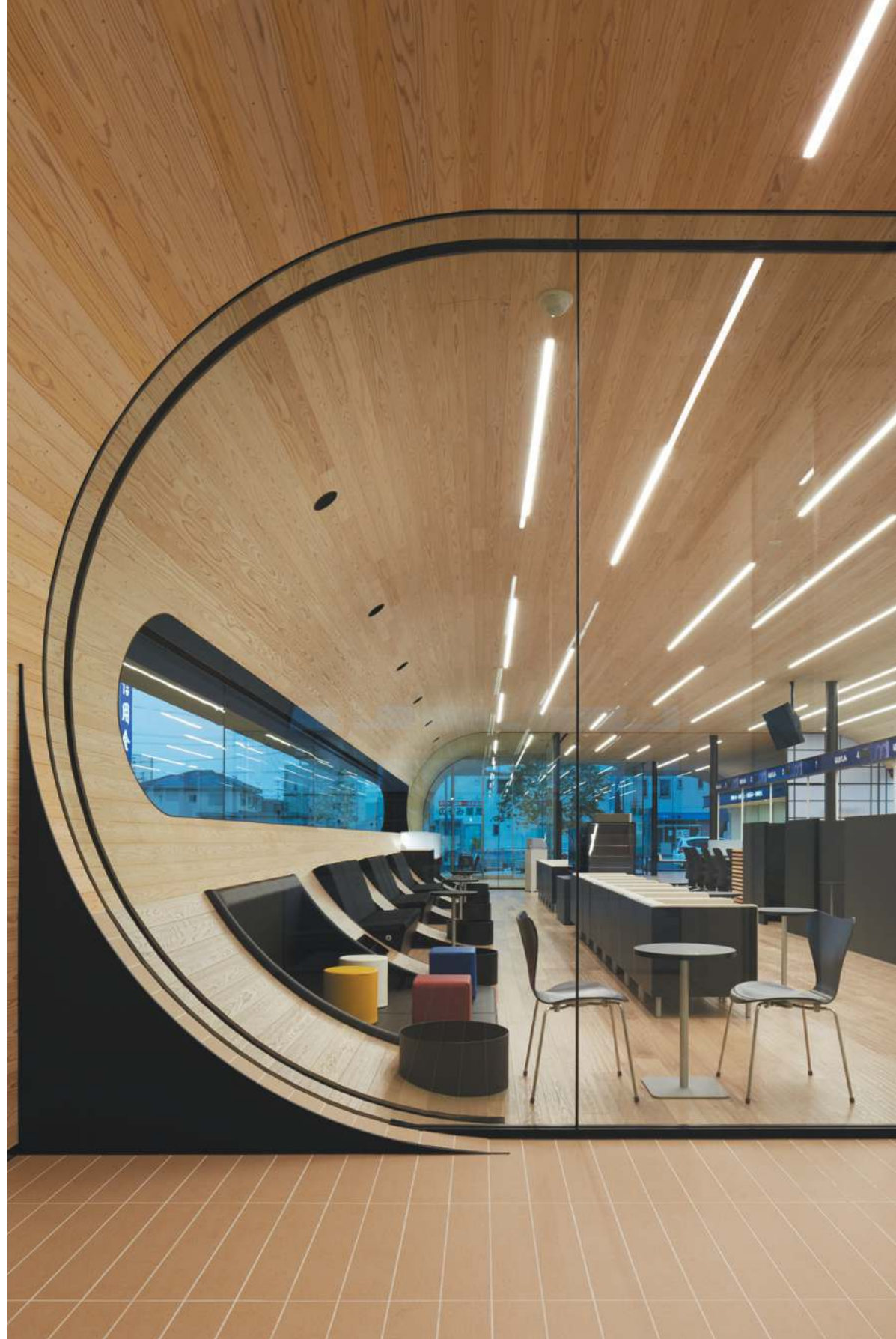
浜松信用金庫 駅南支店

浜松駅から徒歩5分程度の市街地に位置する中核店舗。街区の魅力向上を通じた地域への貢献を意図し、南北2つの道路を結ぶ通り抜け通路を設け、敷地内に人の往来を生み出す計画とした。通り抜け通路には温かみのある舗装材を使用し、並木を施した。また建物と塀を一体的にデザインすることで南北の道路の「つながり」を意識させると同時に、内部空間も外部と統一感を持たせることで施設全体として空間のインパクトを高めた。建物の天井・壁には地場産材の天竜杉を用いて地域に密着した企業姿勢をアピールした。また、金融機関の店舗では来客の居場所が待合のソファと窓口のカウンター等に限定されていることに着目し、その居住域を重点的に空調して省エネを図るよう、建築と一体化させた空調ソファ・空調カウンター・空調記帳台を開発した。特に空調ソファは着席時の快適性にこだわり、店舗のホスピタリティ向上にも寄与している。ロビーまわりには色温度可変照明を設置し、季節ごとに照明の色温度を変えることで補助的に温感・涼感の演出を行った。

(葛原定次、塩田哲也、山口智三、真庭 綾、吉本圭二／日建設計)

建 築 主 浜松信用金庫
設計・監理 日建設計
施 工 アサヒハウス工業

所 在 地 静岡県浜松市中区砂山町176番地
敷地面積 1,651.60㎡
建築面積 818.97㎡
延床面積 995.01㎡
構造規模 RC造一部S造 地上2階
工 期 2014年1月～2014年9月
最 寄 駅 JR東海道本線 浜松駅
撮 影 鈴木文人／フォワードストローク





外観（東面）

蒲郡信用金庫曙支店

建 築 主 蒲郡信用金庫
設計・監理 伊藤建築設計事務所
施 工 豊田組

所 在 地 愛知県豊橋市曙町字側点145
敷地面積 2,015.17㎡
建築面積 503.51㎡
延床面積 913.31㎡
構造規模 S造 地上2階
工 期 2013年11月～2014年10月
最 寄 駅 豊鉄バス 南消防署前
撮 影 センターフォト

蒲郡信用金庫曙支店は、豊橋市で永年親しまれてきたが、建物の老朽化に伴い建替えを行うこととなった。

敷地東側は県道に、西側は市道に接しており利用者が車で東西へ抜けることができるよう、建物は南側に寄せて構内道路を北側に設けた。これは敷地北側にある住宅地の日影に配慮したものである。

建物外観は、県道に面する東面と県道からの見通しが良い北東面を意識したデザインとした。1階東側正面はショーウィンドウ及びエントランスのガラス面と大型タイルで構成し、2階はスリット窓をアクセントとした45二丁タイル張りとし、建物全体に重厚感とリズム感を演出した。

内部空間はATMロビーと1階ロビーは扉で仕切らず一体空間とし、窓口営業終了後におろす大型シャッター横には全面ガラス扉を設け、平日はお帰り口に土日はローンプラザに利用できるよう計画した。2階は東西に長い廊下を南側に配置しリズムカルにスリット窓を設けることで日中照明をつける必要のない明るく移動し易い空間を確保している。

環境対策としてはLOW-E複層ガラスを多用し空調負荷の低減を図っており、主要な照明はLEDとし、屋上には太陽光パネルを設置して空調動力の一部として利用している。

外部舗装空間には透保水性インターロッキングブロックを採用し、駐車場には植栽や花壇を適宜設け、地域住民と利用者に安らぎを与えている。

（梶井信嘉／伊藤建築設計事務所）



外観（北東面）



1階 ロビー



外観（全景）

蒲郡信用金庫豊川北支店

建 築 主 蒲郡信用金庫
設計・監理 伊藤建築設計事務所
施 工 トーヨーホーム

所 在 地 愛知県豊川市三蔵子町一里塚48-1
敷地面積 1,922.12㎡
建築面積 407.86㎡
延床面積 609.19㎡
構造規模 S造 地上2階
工 期 2013年10月～2014年7月
最 寄 駅 名古屋鉄道豊川線 豊川稲荷駅
撮 影 センターフォト

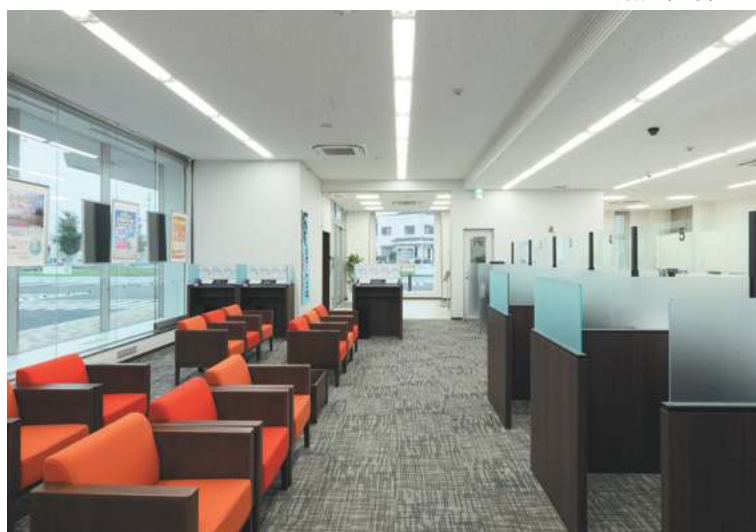
蒲郡信用金庫豊川北支店は、地域密着型の金融機関として親しまれてきたが、建物の老朽化に伴い既存店舗の建替えを行うこととなった。

外観は重厚感を持ちつつも、暖かみのある色味のタイル仕上げ、透明感のあるガラス、アクセントとなるアルミルーバーにより構成されている。西向きとなるロビーは、ショーウィンドウ部分を簡易的なエアフローウィンドウとし、冷暖房負荷の低減を図っている。天井高さ3.3mのロビーは、明るく、開放的な空間となっている。

環境負荷低減として、1階の営業室やロビー等の主要室の照明はLEDを採用し、屋上には発電能力10Kw相当の太陽光パネルを設け、空調動力の一部として利用している。発電量はATMロビーに設けられたモニターで誰でも確認することができ、利用者に対してPRしている。

エントランスまでのアプローチ部分は、透水性インターロッキングブロックを採用し、水の蒸発冷却効果により路面温度の上昇を低減するようにしている。外部空間は、緑地やアイストップとなる樹木、巾2.7m×奥行5.0mのゆったりとした駐車スペースなど、利用者の利便性に配慮したものとなっている。

（神保朋之／伊藤建築設計事務所）



1階 ロビー



1階 ATMロビー

所在地 愛知県小牧市中央一丁目231番地1
敷地面積 2,070.19㎡
建築面積 726.85㎡
延床面積 4,585.93㎡
構造規模 S造 地上7階 地下1階
工期 2013年10月～2014年9月
最寄駅 名古屋鉄道小牧線 小牧駅
撮影 センターフォト



東春信用金庫本店

建 築 主 東春信用金庫
総 合 監 修 ティーファス
設計・監理 伊藤建築設計事務所
施 工 フジタ名古屋支店
施 工 協 力 トーエネック（電気設備工事）
東芝エレベータ（昇降機設備工事）
古沢組（鳶・土工事）
平本組（型枠工事）
不二サッシ（アルミ建具工事）
関ヶ原石材（石工事）
東海物産（内装工事）

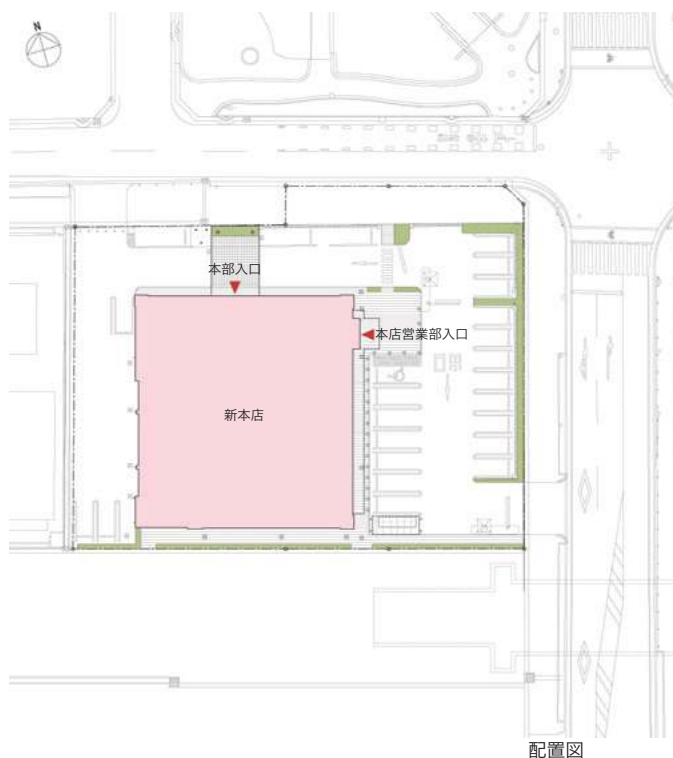
東春信用金庫は昭和27年6月に創立し、平成24年6月に創立60周年を迎えた。旧本店の老朽化に伴って計画を行い、小牧市の玄関口である名鉄小牧駅西側正面の敷地に移転新築となった。

外観は重厚感のある石張り門型フレームと透明感のあるガラスカーテンウォールで構成し、金融機関の本店として品格のあるデザインとした。1階を営業本部、2階を地域の方々に開放するギャラリー（とうしゅんギャラリー）と多目的ホール（とうしゅんホール）、3階以上を本部機能とし、階ごとに利用者、機能を分けた構成とした。2階のとうしゅんホールは最大200名の収容が可能であり、講演会や演奏会等、地域のイベントにも活用される。

本部事務室は、北・東・南の3面を複層ガラス張りとすることで自然通風・採光を取り入れ、明るく開放的な執務空間とした。7階にある食堂には庭園とデッキテラスを設け、職員がリラクセスできる憩いの場としている。屋上には太陽光パネルを設置し、LED照明の採用、屋上緑化と合わせて、建物の省エネルギー化を図っている。

耐震安全性の重要度係数は1.25とし、災害時にも極力業務機能を維持するため、自家発電装置（100KVA）を設置している。また地下には備蓄倉庫を備え、2階とうしゅんホールを地域住民の緊急一時避難場所として機能させる等、人・環境・地域にやさしい施設としている。

（上西真哉／伊藤建築設計事務所）



本部エントランス



営業部ロビー



とうしゅんホール



食堂



外観（全景）

中京銀行鳴子支店

建 築 主 中京銀行
設計・監理 伊藤建築設計事務所
施 工 土屋R&C

所 在 地 愛知県名古屋市緑区鳴子一丁目55-6
敷地面積 630.76㎡
建築面積 279.14㎡
延床面積 505.98㎡
構造規模 S造 地上2階
工 期 2013年12月～2014年7月
最 寄 駅 地下鉄桜通線 鳴子北駅
撮 影 センターフォト

中京銀行鳴子支店は名古屋市緑区で地域に根差した金融機関として永年親しまれてきたが、UR都市機構が鳴子団地建替えに伴う再開発事業を行うため建物を移転新築することとなった。

敷地は鳴子団地の中心に位置するため、URの団地建替えコンセプトである「人と緑の触れ合いの丘ー鳴子」に沿った建物を目指し、駐車場緑化・壁面緑化などを積極的に採用し、緑あふれる環境を創出した。

外壁には600角の大型石調タイルを張り重厚感を持たせながらも、市道に面した東から南面にカーテンウォールを連続して配置し、圧迫感を軽減することで地域に溶け込む建物とした。夜間は2階カーテンウォール内のサインスペースに照明が灯り、街並みにおけるシンボルとして機能するよう設計した。窓口営業終了後にATMコーナーに面しておろすシャッターは透明パネルシャッターを採用し、ATMコーナーが閉鎖的な空間とならないよう配慮している。

開口部にはLow-E複層ガラスを積極的に採用し、日射抑制・空調負荷低減を行いながら明るく開放的なロビー・応接空間を実現している。また主要な照明はLEDとし屋上には太陽光パネルを設け、ATMロビーに設けたモニターで発電量を表示し環境意識の啓蒙をしている。

利用者を迎えるようにエントランスから駐車場へ突出させた庇は、駐車場からのアプローチを容易にし、さらに車椅子利用者が雨を気にせず乗降できる機能的なエレメントとなっている。
(馬場勝巳／伊藤建築設計事務所)



1階 ロビー



1階 応接室



外観

豊橋信用金庫豊川支店

建 築 主 豊橋信用金庫
設計・監理 伊藤建築設計事務所
施 工 青山建設

所 在 地 愛知県豊川市中央通三丁目6番地
敷地面積 1,042.59㎡
建築面積 509.40㎡
延床面積 868.94㎡
構造規模 S造 地上2階
工 期 2013年11月～2014年9月
最 寄 駅 名古屋鉄道豊川線 稲荷口駅
撮 影 センターフォト

豊川支店は豊川市の姫街道沿いに建つ豊橋信用金庫の基幹店舗である。既設店舗の耐震性能の問題と老朽化対策として建替えを行うことになった。交通量の多い北側の姫街道に店舗正面を向け、南側住宅地住民の利便性を考慮し、敷地内に南北への通過動線を確保する計画とした。端正な外観としながらも、建物の輪郭を強調するようにアッパー照明を設置し、豊橋信用金庫として初めて夜間ライトアップを行う店舗としている。

環境に配慮した店舗とするため、太陽光発電パネル付外灯、LED照明、複層ガラス、雨水利用設備等を採用している。

(高北卓軌／伊藤建築設計事務所)



ATMコーナー



ロビー



外観（全景）

イオンモール名古屋茶屋

建築主 イオンモール 株式会社
 環境設計 LLA (LAGUARDA. LOW Architects)
 ディ・ブレイン研究所
 建築設計・監理 大林組名古屋支店 一級建築士事務所
 施工 大林組名古屋支店

所在地 愛知県名古屋市港区西茶屋2丁目11
 敷地面積 A敷地：141,311.16㎡ B敷地：44,847.35㎡
 建築面積 A敷地：42,684.51㎡ B敷地：130.31㎡
 延床面積 A敷地：125,397.14㎡ B敷地：117.10㎡
 構造規模 S造 地上5階
 工期 2013年6月～2014年6月
 最寄駅 名古屋臨海高速鉄道あおなみ線 荒子川公園駅
 撮影 エスエス名古屋

水と緑に囲まれた名古屋市郊外の西茶屋（旧南陽町）に建つ、広大で平坦な土地から隆起した「地域と共生する安心・安全な『南陽の丘』をつくる」をテーマとした、壁面緑化とセットバックした外観デザインが特徴的な大型ショッピングセンターである。

■海外デザイナーとの協働による進化したSCデザインの実現

LLA (LAGUARDA. LOW Architects) との協働により、海外のデザインテイストを取り入れた新たなSCデザインを目指し、BIMを活用した「デザイン検証や複雑なデザインを実現する施工検討」「合理的かつ経済的なディテールの検証」を行い、ダイナミックかつ開放的な天井デザインも持つコートのデザインや、大きくうねるモールデザイン等、特徴的で個性的なSCデザインを実現することができました。

■地域の津波災害対策拠点、名古屋市において鉄骨造で初めて「津波避難ビル」認定を取得

津波災害時の被害を最小限に抑えて施設の早期復旧を実現することに配慮した施設設計により、お客様や地域の皆様が安心・安全に避難できる「津波避難ビル」に、鉄骨造の建物としては初めて名古屋市から認定されました。

（川添裕司／大林組）



ドーム型テント膜天井（センターコート・フードコート）



3層吹き抜けモール



動きのある4層吹き抜けのコート（イーストコート）



センターキャノピー夜景

外部モール夜景



外観（全景）

株式会社モリマツ本社ビル

建 築 主 株式会社モリマツ
 設計・監理 大林組名古屋支店一級建築士事務所
 施 工 大林組名古屋支店

所 在 地 愛知県名古屋市中区如來町3番地
 敷地面積 1,095.77㎡
 建築面積 378.75㎡
 延床面積 1,343.45㎡
 構造規模 RC造（一部S造）、地上4階
 工 期 2014年2月～2014年11月
 最 寄 駅 名古屋鉄道小牧線 味美駅
 撮 影 エスエス名古屋

本建物は、建築材料を販売する会社、株式会社モリマツの本社及び名古屋営業所機能を併せ持つ事務所ビルである。1階から3階が事務室、4階が従業員の飲食や懇親会等を行う休憩室となっている。

設計に当たり、事業主より提示された主な条件は、RC造とすること、来客が入りやすく、来たくなるような建物とすること、社内外共にコミュニケーションがとりやすい空間を実現すること、の3点であった。

それらのニーズを実現するために、1階から3階まではRC造を採用、プレストレスト鉄筋コンクリート梁を導入して、約15mのロングスパン梁とすることで、事務室を一体感・開放感のある無柱空間とした。東面は日射による熱負荷削減に寄与する縦型ルーバーを、構造と一体的にデザインするとともに、LED照明・全熱交換器等を導入し、省エネにも配慮した快適な執務環境を実現している。4階は柱を極限まで小さくした鉄骨造とし、フルハイトサッシの採用と合わせて、眺望が開け、屋上テラスと連続した居心地の良い交流空間を実現している。また、構造体を表出させたインテリアデザイン、構造形式の違いを活かした質実剛健でありながら、軽やかさを併せ持つ特徴的なファサードデザインにより、本社ビルとしての存在感を高めている。

（小林 愛／大林組）



内観（エントランスホール）



内観（事務室）



大垣市立北幼保園

建 築 主 大垣市
設計・監理 東畑建築事務所
施 工 岐建

～はぐくみの“わ”をつくる～

大垣市は特区制度を利用してH17年から幼稚園と保育園の一体的整備を行っており、本プロジェクトは老朽化した既存3園を新たに北幼保園として移転統合する計画である。

施設づくりにあたって園児の「動きが“わ”」となるような、回遊性のある空間づくりを目指した。

保育室は園庭を内包しながら、のびやかな曲線で結ばれ、保育室と保育室の「すきまの空間」に吹抜を設け、トップライトから光が降り注ぐプレイコーナーとして、活発な異年齢児の交流の場とした。

2階の保育室からは園庭につながる芝生のマウンド「ぼうけんの丘」を通して園庭にアクセスでき、回遊性をさらに高めている。

太陽光発電、照明のオールLED化、井水を使った中水利用と屋根散水など環境配慮対策も積極的に行っており、「動きの“わ”」により年齢の違う子ども達との交流が生まれ、「ふれあいの“わ”」が広がっていけばと願っている。

(瓦田伸幸、小柳英治、鶴飼浩平／東畑建築事務所)

所 在 地 岐阜県大垣市
敷地面積 7,222.72㎡
建築面積 2,871.70㎡
延床面積 3,571.63㎡
構造規模 S造 一部RC造 地上2階
工 期 2012年12月～2014年2月
最 寄 駅 JR東海道本線 大垣駅
撮 影 スタジオ・スクエア





名古屋大学 減災館

設計 日建設計

施工 清水建設

所在地 愛知県名古屋市千種区不老町

敷地面積 381,096.65㎡

建築面積 713.10㎡

延床面積 2,897.83㎡

構造規模 RC造、免震構造、地上5階

工期 2013年5月～2014年2月

最寄駅 名古屋市営地下鉄名城線 名古屋大学駅



しまの杜こどもセンター

設計 安井建築設計事務所

施工 ナカノフドー建設

所在地 三重県志摩市阿児町神明1001番地2

敷地面積 9,754.10㎡

建築面積 2,051.93㎡

延床面積 1,817.92㎡

構造規模 W造、地上1階

工期 2014年8月～2014年3月

最寄駅 近畿日本鉄道志摩線 志摩神明駅



医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院2棟

設計 竹中工務店設計部

施工 竹中工務店

所在地 愛知県刈谷市住吉町5丁目15番地

敷地面積 28,682㎡

建築面積 1,877㎡

延床面積 12,762㎡

構造規模 RC造(免震)、地下1階、地上8階、塔屋1階

工期 2013年1月～2014年9月

最寄駅 JR東海道本線 刈谷駅



社会福祉法人英水会 特別養護老人ホーム日永英水苑

設計 東畑建築事務所

施工 鹿島建設

所在地 三重県四日市市大字日永字母ヶ坂5530-23

敷地面積 8,003.61㎡

建築面積 967.93㎡

延床面積 4,623.70㎡

構造規模 S造、地上6階

工期 2013年7月～2014年3月

最寄駅 近畿日本鉄道名古屋線
近鉄四日市駅からバス



岐阜信用金庫美江寺支店

設計 竹中工務店設計部

施工 竹中工務店

所在地 岐阜県岐阜市今小町20番

敷地面積 687.28㎡

建築面積 523.21㎡

延床面積 775.87㎡

構造規模 S造、地上2階

工期 2013年4月～2013年10月

最寄駅 JR東海道本線 岐阜駅



東海労働金庫中津川支店

設 計 安井建築設計事務所
施 工 岐建

所 在 地 岐阜県中津川市新町7番36号
敷地面積 1,197.15㎡
建築面積 530.69㎡
延床面積 865.52㎡
構造規模 S造、地上2階
工 期 2014年4月～2014年11月
最 寄 駅 JR中央本線 中津川駅



富士宮市中央町地区優良建築物等整備事業に伴う施設建築物新築工事

設 計 東畑建築事務所
施 工 浅沼組

所 在 地 静岡県富士宮市中央町145-1
敷地面積 1,671.93㎡
建築面積 1,158.15㎡
延床面積 7,858.21㎡
構造規模 RC造、中間免震構造、地上13階、地下1階
工 期 2011年12月～2013年12月
最 寄 駅 JR身延線 富士宮駅



明治 愛知工場

設 計 大林組名古屋支店一級建築士事務所
施 工 大林組

所 在 地 愛知県稲沢市平和町下三宅菱池933番1他
敷地面積 104,348.42㎡
建築面積 18,465.97㎡
延床面積 28,612.47㎡
構造規模 S造、地上3階
工 期 2013年9月～2014年6月
最 寄 駅 名古屋鉄道尾西線 刈高駅



浜松市動物愛護教育センター

設 計 飯尾建築設計事務所
施 工 須山建設

所 在 地 静岡県浜松市西区館山寺町199
浜松市動物園 第一駐車場内
敷地面積 154,355.94㎡
建築面積 549.07㎡
延床面積 994.87㎡
構造規模 RC造、地上2階
工 期 2013年7月～2014年3月
最 寄 駅 JR東海道本線
浜松駅から遠鉄バス「動物園前」



ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場コンベ棟

設 計 富高健司建築設計事務所
施 工 ウッドフレンズ

所 在 地 愛知県尾張旭市大字新居5182-1
ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場クラブ
ハウス横
建築面積 373.15㎡
延床面積 347.86㎡
構造規模 W造、地上1階
工 期 2014年1月～2014年5月
最 寄 駅 名古屋鉄道瀬戸線 三郷駅

特集

支部復活55周年記念 東海支部特集

“東海の風”

東海支部は本年、支部復活55周年（支部復活の経緯は座談会の冒頭を参照して下さい）となります。改めてこれまで会を支えてきた方々の熱意と東海の建築社会・建築文化を愛してやまない姿勢に感謝と敬意の気持ちをお伝えしたいと思います。私達は後輩として決しておごることなく先輩諸氏の意志を引き継いでゆきたいと思います。折しも本年は支部復活55周年という節目の年にあたります。

これを機に中国支部との交流会を兼ねた記念見学会などイベントも企画し、益々の会勢向上を願い団体活動に活力を与えたいと思います。又、本年の東海特集号では支部だよりとして支部機関誌「東海の建築・第82号」を掲載しています。この機会に支部活動を知って頂ければ幸いです。

さて、本年の東海特集号は、昨秋のリニア中央新幹線の着工に伴い超高層ビル建設ラッシュであわただしくなってきた名古屋駅周辺の再開発や総取扱貨物量12年連続日本一の名古屋港の港湾整備そして、開港10周年を迎えた中部国際空港（セントレア）に隣接する市町のニュータウン構想など陸・海・空の行動、流通手段を中心とした街づくり、地域づくり、そしてこの地方の建築と社会、この地方だけが持っている建築文化特性、Before・Afterを熱く語る座談会など、建築団体としての今後のあり方を考察し各建築団体が入りこんでしまった迷路の水先案内となればと考えます。

最後に、本特集号に際し大変お忙しい中、座談会に出席して頂いた企業の方々、会員の皆様、特集記事をご執筆頂きました各分野でご活躍の方々、そして東海支部の特別編集委員会の委員の皆さんに改めて感謝致します。

（東海支部特別編集委員会委員長 福田泰造）

■座談会

「建築と文化・建築と社会」のこれまでとこれからについて
～幅広い分野で話し合い、建築団体としての今後の役割について考察する

■東海のこれから

名古屋駅周辺のまちづくり展望／後藤勝彦
中部国際空港周辺の街づくり展望／片岡憲彦
名古屋港の将来展望／澤田丸四郎

■東海の建築：建築と設備の融合

六合エレメック本社ビル／日建設計
熊野油脂新社屋／竹中工務店

■東海支部だより

建築家ヴォ・チョン・ギア氏の建築とベトナム歴史建築の旅／塩田哲也
建築工事実務講習会の報告

■東海支部資料集

東海支部会員『建築と社会』作品掲載リスト 2010～2014
東海支部『東海の建築』Publication history 2010～2014

座談会

「建築と文化・建築と社会」のこれまでとこれからについて

～幅広い分野で話し合い、建築団体としての今後の役割について考察する

日 時：平成27年 1 月10日（土）

場 所：LIXIL名古屋ショールーム
セミナールーム

出席者：

河田克博

名古屋工業大学大学院工学研究科教授

住宮和夫

INAXライブミュージアム（LIXILグループ）館長

吉田祥子

株式会社ウッドフレンズ住宅企画本部長

柱健太郎

株式会社東畑建築事務所名古屋事務所設計部主任技師

塩田哲也

株式会社日建設計設計部門設計部主管

松野健太郎

株式会社大林組名古屋支店建築設計部主任

片山友見

株式会社飯尾建築設計事務所

司会進行：

福田泰造

一般社団法人日本建築協会東海支部支部長

記録・会場設営：

沖野琴音、河口名月

愛知工業大学学生

順不同

福田：皆さん、（一社）日本建築協会 東海支部復活55周年記念座談会にお集まり頂き有難うございます。座談会を始めます。

開会にあたりましてなぜ支部復活なのかと言った疑問をお持ちだと思いますので、復活の経緯を私（福田）から説明をさせていただきます。

日本建築協会は、大正6年、建築界の草分けのひとり片岡安（かたおかやすし）工学博士の主唱のもとに武田五一ら当時の著名な関西の建築家によって設立された団体です。

東海支部の創立は、昭和22年12月13日となっていますが、支部所属会員の数も非常に少ないうえ、ちょうどこのころは、昭和25年に建築士法が公布施行されてから（社）愛知建築士会が設立され、その他（社）日本建築学会や（社）日本建築家協会が従来からあり、会費はそれぞれ相互入会をしていることで、支部の維持が中々困難な状況でありました。そうした中ではむしろ本部直属にした方が適当ということで、一時支部解散となりました。ところが、協会本部としては、東の方へ伸びなければならないのに解散とは、将来の発展ができないとして、復活の強い要請もあり、支部会員の先輩有志の大変なご尽力により昭和35年10月15日に支部復活を致しました。

以上が東海支部復活の経緯です。

本日は支部復活の頃の「建築文化」・「建築社会」を皆さんと振り返り建築団体として将来に向けて「建築と文化」・「建築と社会」をどのように受け継いでいったらよいかを考察したいと思います。

これまで

先人から受け継いできた文化遺産について

福田：先ず河田先生からこの地域の戦後建築の概要を話して頂き、皆さんからは建築とどのように関わってきたかを伺いたいと思います。

河田：建築協会は大正6年からですが、東海地方の主たる建築はもっとさかのぼって名古屋城開府の頃からで300年になります。この界限では現在の浜松市（静岡県）に非常に優秀な大工集団が存在し徳川家の方で重用したという伝統的な建築の土壌があり、その後、木造の素晴らしい建築が造られていったわ

けです。その後、明治38年に名古屋工業大学の前身の名古屋高等工業学校が創立されその翌年の明治39年に鈴木禎次（静岡県出身）が東京帝国大学から赴任され、官立の建築教育において日本で二番目の高等教育機関になり、名古屋の地で日本の伝統的な文化とは異なる当時では最先端と見られていたヨーロッパの建築様式を教育し教え子を育てて行った。

当時の教育は建築家教育で、明治の終わり頃から教え子が輩出されていき、著名なところでは篠田進が一番弟子で篠田は設楽建築事務所（神戸市）で勉強して名古屋に戻り東海地方の近代的な建築を設計した。また、伊藤建築設計事務所の創立者の伊藤鑛一も教え子で、その他、数えきれない位輩出され、鈴木禎次が東海地方の近代建築を生んでいったと言って過言ではない。その流れが現在に続いてきているわけです。

福田：鈴木禎次は松坂屋本店を設計されたと聞いています。又、夏目漱石とも関係が深いと聞いています。

河田：その通りです。夏目漱石とは奥さん同士が姉妹で夏目漱石のお墓（雑司ヶ谷霊園）も鈴木禎次が設計しています。

福田：現在の建築教育と当時の教育の違いについてはどうでしょう。

河田：現在の建築教育は意匠、様式、構造、設備等細分化されている教育です。当時の教育はアーキテクト教育で建築家を育てる為です。大正時代に退官後、戦争がありアーキテクト教育よりも技術教育に移り、鈴木禎次が去った後、しばらくしてアーキテクト教育はなくなりました。

福田：今、先生から東海地方の歴史文化、建築教育について教えて頂きました。その中で「建築と社会」という機関誌がどのように関わってきたのかをお聞かせ下さい。

河田：私は、以前関西に住んでいて建築協会に入会したのは昭和56年です。そこで雑誌「建築と社会」に出合ったわけですが大変興味のある内容が掲載されていて雑誌を見る度に入会してよかったと思っています。学術と企業がタイアップしているという珍しい内容の雑誌だと思います。実務に携わりながらも学問的な知識が得られることができるという、日本建築協会の立場が面白いということ



河田克博
1952年生まれ。
1975年名古屋工業大学建築学科卒業、1977年同学大学院修士課程修了、1990年同学大学院博士後期課程修了。この間、株式会社組技術部設計課、修成建設専門学校教授、名古屋工業大学助教授を経て、同大教授。研究分野は、建築史・都市史。



住宮和夫
1960年生まれ。
1983年伊奈製陶（旧INAX、現LIXIL）入社、1986年～93年六本木アークヒルズXSITEにて海外住宅設備機器の商品担当、2005年同社マーケティング戦略室長、2008年同社INAX・GINZA館長、2012年同社INAXライブミュージアム館長

が言えると思います。

福田：6月に建築協会の総会と「建築と社会」賞の受賞式があり、東海支部管轄の受賞者であられる飯田喜四郎先生（名古屋大学名誉教授）がお見えになっていました。先生は「大変お恥ずかしいことですが私、建築協会がこんな歴史のある立派な団体とは知りませんでした」とおっしゃっていました。私が、入会したのも昭和50年代だと思いますが、恩師に入会すると凄い雑誌が毎月届くと言われ入会しました。我々の責任もあると思いますが、宣伝不足で建築協会を知らない人が沢山いると思います。

近代建築の流れについて話を進めて来ましたが、住宮さんは多方面にわたって建築文化を展示紹介する立場にあると思います。これまでの話についてどのように思われますか。

住宮：先程、話をされた松坂屋本店のタイルは伊奈製陶（現LIXIL）の製品ですがタイルに限らず焼き物といった視点でみますと愛知県、東海地方は非常に重要なもの造りの場であり、古いものも沢山残っています。現在、INAXライブミュージアムと愛知県陶磁美術館（前身 愛知県陶磁資料館）と明治村と共同で古いテラコッタ建築の調査を進めています。これが東京ですと古いものはほとんど取り壊されてしまっていてなくなってきています。関東大震災以降、栄えたテラコッタ建築等東海地方は意外に残っています。今後もこの時代の建築について資料や情報の収集に努めたいと思っています。

河田：東海で建物にタイルを使い始めたのは鈴木禎次が最初で具体的に残っているのはノリタケ本社がタイルを使った初期作品です。

福田：今日は日頃、設計に携わっている若い建築家の方々も出席頂いてます。皆さんにはこれまでの話をもとに建築に興味をもたれた話等を学生時代も踏まえてお聞かせ下さい。

先ず私から言いますと、私はそんなに若く

ないですが中学生の時、原田康子さんの純文学「挽歌」を読んで中にてくるイスラム建築のモスク、アヤ ソフィア（ハギア ソフィア）とはどんな建物だろうということで図書館で調べてなんと美しい建築物かと興味を持ったのが始まりでした。

松野：私は育ちが関東で入社後の研修を経て関西に行き、その後東海にきました。学生時代は様々な建築を見たいという想いでヨーロッパに一人旅にも行きましたが、東海地方の建築についてはまだあまり詳しくありません。学生時代に戻ったつもりでこの地方の建築を散策したいと思っています。

福田：今日は支部事業委員会の吉田委員長も出席されています。建築協会の見学会として日頃見られない場所まで見学出来るのが団体の見学会の強みだと思います。昨年（10月末～11月上旬）にベトナムの建築と街並み散策見学会を企画して頂き、バンブープロジェクト等で大活躍の若手建築家、ヴォーチョンギア氏（名古屋工業大学・東京大学大学院修士課程修了）のアトリエと作品をみてきました。学部生時代に研究室に出入りしていたと言うことで河田先生も参加され近年にない素晴らしい見学会でした。こうした見学会を企画実施していることを設計事務所の人たちは知らないと思います。もっとうまく告知出来ないかと思います。柱さんはどう思われますか。

柱：私も大阪の出身で会社に入ってから来て10年くらいですが雑誌のタイトルである建築と社会とそれを取り巻く環境の繋がりが強いといった考えを発信すべきだと思います。そして、次のステップとしてそういった繋がりを再構築してゆかなければと思います。

福田：塩田さんに伺います。塩田さんの年齢ですと組織の中では忙しくて仕事以外にはあまり時間が取れないと思いますが仕事の中でふと建築文化のことを思うことはあると思いますがどうでしょうか。

塩田：先程のお話のように歴史的なものが残っていると言う意識は持ってなかったと言いますか、名古屋は戦災で焼け野原になってしまったと思ってたんですが話を聞いて思うのは東京の場合、新国立競技場の再建で景観を壊すといわれ問題となっていますが、名古屋の場合新しい建物を建てる場合あまり規制がなくて若い人たちにとってはやり易い新しいものが建て易いと思います。逆に学生のみなさんにとって名古屋は新しい街づくりに挑戦できるのではと思います。名古屋に行けば新しい建物が建てられ、街を変えられる魅力があると言ったように見えるのではないのでしょうか。裏を返せば、古い価値のある建物に対する意識がうすいように見えます。見学会で新建築を紹介するのは良いことだと思いますが団体としてそういった歴史的価値のある建物の保存と見学をするのもよいでしょうし、もっと社会に紹介すべきだと思います。

住宮：私のところにも、建築物保存の情報が入ってきます。最近では横浜市からの保存の話があり、保存する空間と修復空間を分離してやってゆく保存の仕方に、なるほどと思いました。東海地方にも堀口捨己設計の陶芸研究所が常滑に残っています。建物は未だに現役で当時のままで残されています。家具も堀口捨己のデザインでお茶室もあります。こういったものがまだ各地に残っている可能性があると思います。



陶芸研究所 外観と茶室

吉田：事業委員会で見学会を企画実施している立場のものとして、結構苦労して見学先の情報を集めています。こういった情報を頂けるとありがたいです。そして、見学会後に参加者がその建物をどのように残して行ったら良いかといったところまで考察出来ればベストだと思います。歴史的に価値のある建物は保存するだけでは意味がなく地元の人たちに建物を使って頂き、何か生産性のあるものに使って頂ければ初めてその建物が生かされ、見学会としても価値があります。こうした見学会が出来れば成功だと思います。

福田：片山さんはこの中では一番若いかも知れませんが、学生時代からこれまでの意見も踏まえて建築に対してどう感じていますか。

片山：今日は学生時代を思い出させてくれる素晴らしい話を聞かせて頂いています。学生時代は課題に迫られる毎日で、建築界の動きや活動と言ったものは時折、雑誌などで目に入る程度だったと思う。只、有名な文化遺産や有名な建築家の作品は建築協会などの見学会に半強制的に誘われ参加し徐々に興味を持つようになった気がする。実は入会したのも半強制的であったと思うし、二年前のシンガポール見学会も半強制的にお誘いを受け参加しましたが、今になって思う言葉は悪いですが、強引に先輩が後輩に声をかけてくれたことが、「ああ建築は素晴らしい」と言う興味を持たせてくれたのではと思っています。文化とは、言い換えれば世代から世代へ引き継いでゆくことだと思います。

福田：先程、住宮さんからお話のあった故堀口捨己設計の常滑市の陶芸研究所は30年位前、私が事業委員の時に見学会を一度実施しました。当時は故沢田館長（名物館長）から依頼主として設計者にいろいろ注文を出したといった話や、展示室の銀色に輝く鼠色の壁が常滑焼の茶褐色の急須を引き立たせるのに演出効果として最も優れていることなどを伺

いました。そして普段公開していない2階の和室などを見せて頂いたことを思い出します。只、残念なことにこう言った話について常滑市民は誰も知らない、陶芸研究所がどういった建物であるかも知らないわけです。有名な建築家の作品で外壁のピンクのポリコンモザイクタイルの色が上に行くほど淡い色になっていると言ったことなど誰も知りません。そんなことを建築界にいる我々がもう少し声を大にして市民に訴えかけていけば文化財などの保存にも役立つのではと思います。

住宮：陶芸研究所についてはもう少しだけ補足します。陶芸研究所は伊奈製陶（現LIXIL）の創業者、伊奈長三郎の寄付によって陶芸の発展に寄与するため造られた建物でその後多くの陶芸家を世に生み出してきました。そして、5年前から伊奈長三郎の命日である10月10日を「陶と灯の日」とし、常滑市あげて様々なイベントを開催し、例えば、研究所の茶室を使ってのお茶会など市民参加で行っています。建築を単に建物としての機能だけに使うのではなく文化として扱ってゆくということも建築協会を通して広めて行ければと思います。

建築文化から学ぶこと

福田：先日、金沢の21世紀美術館で開催（2015年3月15日迄）のジャパン・アーキテクツ1945－2010に行く機会があり行ってきました。パリのボンビドーセンターのキュレーター（キュレーターであり、副館長）フレデリック・ミゲルー氏がボンビドーセンターが持っている膨大な資料などを展示した建築界ではこれまでになかった規模の展覧会で、現在、彼が進めている日本建築の調査研究を世に問うものであると思います。私達の年代の者は例えば、白井晟一の前爆堂計画のパスや大阪万博の会場全体模型など涙が出るくらい感動する展示です。建築に携わる者にとって戦後復興から高度成長期そして安定経済期、建築界ではモダニズムからポストモダニズム

といった流れの中で先輩建築家がプロジェクトをこなしていった情熱が伝わってきます。皆さんは戦後から現在に至るまでの建築についてどう思われますか。

河田先生、大学で教鞭を取られていますが、教える立場から建築文化に対してどのようにお考えですか

河田：一言で言えば過去の建築文化を知らなければ未来の創造には結びついて行かないと思います。著名な現代の建築家や設計事務所の上の立場の人も含めて歴史建築をちゃんと勉強している。それを土台にして新しいものを造ってゆく。私の知っている2/3は歴史建築に精通している。例えば安藤忠雄さんも世界の建築史に非常に詳しい。先ほど片山さんから今日は、学生時代に戻ったような歴史的な事を改めて振り返ると言った話がありましたけど、学生に言いたいことは歴史を過去のものとして片付けしないで未来に通じる知恵、温故知新という言葉がありますが、そういうふうなことに結び付けて行かなければ良いものは生まれないと思います。別の視点から言えば世界各地で建築、インテリアも含めて日本的なデザインが評価されている。日本人自身が日本の文化の良さを知らないと言ったことにはならない。例えば聞いたところによりますと中国で日本的なインテリアの飲食店を開店したら客が殺到するといった現象があります。日本的な良さを知らないと言いはならない。新しい現在の材料や形ばかり追っかけて行くと数年経てば壊されてしまう。後々まで残るようなものを造るということはやはり先人から受け継いだものを造っていかないと長続きしない。機能一辺倒なものばかり造っていたのでは長続きしないということだと思います。

福田：他の方はどうですか。女性建築家の立場として伺います。片山さんは設計時点で考えていることはどういったことでしょうか。



吉田祥子
1964年生まれ。
㈱熊谷組設計本部退社後㈱
ウッドフレンズ入社
設計部、住宅事業本部、社長
室などを経て現在 住宅企画本
部長、子会社の㈱デザイン&
コンストラクション代表取締役
兼任



塩田哲也
1972年生まれ。
1995年東京芸大卒業
1997年同大学院卒業
同年日建設計入社
現在 同社設計部門主管
日本建築協会東海支部事業委
員



柱健太郎
1978年生まれ。
2004年大阪大学大学院地球総
合工学科建築工学コース修了
同年㈱東畑建築事務所入社
現在 名古屋事務所設計部主任
技師



片山友見
1976年生まれ。
愛知工業大学卒
(株)飯尾建築設計事務所勤務

片山：女性の立場からと言うことですが、世間一般は女性ですと住宅を中心と思われがちですが、今やっているのは学校とか官庁系の建物が多いです。私の知っている女性建築家の代表は林雅子、長谷川逸子、そして、妹島和世です。女性建築家の共通点は住宅の設計から始めて大きなプロジェクトに携わるようになったことだと思います。女性の視点でしか見えないもの、うまく言えませんが、提案する部屋の空気感のようなもの、これは女性でしか見えないような何かを感じとるものだと思います。

福田：空気感をもう少し具体的に聞かせて下さい。

片山：うまく言えませんが、朝起きた時にお味噌汁のいい香りがすることとか、旦那さんが帰ってくる気配だとか。

住宮：私も仕事柄建築家からお話を聞く機会がこれまであり、例えば、菊竹清訓さんからは、世界デザイン会議の話など大変刺激になりました。現在のライブミュージアム館長として赴任して2年ですが、前職は東京の銀座ショールームにいましていろいろな建築家と交流させて頂きました。なかでも藤村龍至さんは若手建築家たちと建築論を語るといった企画をしてそれをフリーペーパーにしています。その際に、磯崎新さんをお呼びし建築に対する逸話などを話していたのは驚きました。

吉田：文化についてもう少し話したいと思います。今ここで文化について話題となっているのはアーキテクト即ち建築家が造った作品などについて話していますが、建築作品は文化と言うより文明ではないかと思えます。安倍政権がリーマンショック後経済を回復させて行く中で必要な商品、時代が要求する商品、例えばユニクロの製品とか。建築では新築が減ってリノベーションが増えるなどそういった社会情勢から出てくる建築的なものが文化ではないかと思えます。さらに企業活動の中



松野健太郎
1985年生まれ。
2007年慶應義塾大学卒業
2009年慶應義塾大学大学院修了
同年大林組入社
現在 同社名古屋支店建築設計部主任

で洗練されたものが生み出されてくるのが文化ではないのではないかという、私は少し違った考えを持っています。

話題を女性の話に戻しますと、当社の設計部は出来て20年くらいになりますが7割がた女性です。しかも独身の女性です。何故かという募集しても単に女性しか来なかったと云うことです。しかし仕事の内容は結構男性っぽいものを行っています。独身が多いせいか男性的な使い勝手の住宅を設計してもう少し女性的にならないかと言った話もします。女性的か男性的かといったことはあまり気にしません。設計時に物事を組み立てる思考が女性的か男性的かと言ったことはあると思います。更に好みはあるが色彩など、女性が設計した住宅かどうかは分からないと思います。只、文化という意味で言えばどちらも最終的な商品、経済活動の結果としての商品を時代の流れとして混ぜて生みだすのが文化だと思います。

福田：安倍さんが女性の活用を事あるごとに言っていますが今は男性も女性も設計業界にはないのかもしれませんが。大林組の設計部はどうでしょうか。

松野：実際に名古屋支店でも、女性の割合は比較的高いと思います。会社としても女性をプロジェクトの核として積極的に採用する方針があります。女性だから或いは男性だからと言った見方ではなく、1人の建築家としてその人らしい建築を生みだしてゆけば良いのではないのでしょうか。

福田：東畑建築事務所はいかがですか。

住：名古屋事務所は男社会でしたが、ようやく本年女性がきました。これから増えてくると思います。建築への関わり方が女性は男性と違ってはつとさせられることがあります。

福田：日建設計ではどうでしょう。

塩田：日建設計は女性には働きづらいかもしれません。まあそれは会社の内部事情で、女

性の設計者についてはスタッフが普段から女性として意識をしていません。女性はすごいエネルギーがあり、出産などを抱えるとやはり迷いがでると思います。只、そういう状況でも頑張ってるわけですから設計者としての女性は設計の仕事がやはり好きなんだと思います。

行政のかかわり

(文化遺産保存に対する行政のかかわり方)

福田：先程、吉田さんから文化と文明の話がありましたが文化財保存に対する行政のかかわりについて伺います。

戦前の建築物はもとより戦後に建てられた建築物も老朽化が進みその地域の歴史の舞台となった建築物も数多く有ると思います。こうした中、先日名古屋の納屋橋の鳥久さんの建物が持ち主の経済的な理由で解体やむなしと言うことでしたが河村名古屋市長が保存すべきと言うことで解体に待ったがかかった状態にありましたが、結局火事で全てを無くしてしまいました。現在はこの市町村も財政が芳しくなく特に日本では文化方面に使われるお金が少ないように思われますが、河田先生は日本の文化財保存についてどのようにお考えですか。

河田：行政にもブレがあり、ものによって接し方が違う。鳥久は確かに江戸時代から増築を重ね現在の形があるわけですが、実は十州樓という今は取り壊され現存していませんが、昭和の初めにつくられた料理旅館があります。



十州樓外観

大変優れた近代数寄屋風建築で登録有形文化財ですが結局維持できなくなり、再利用するという方策も知恵が出なくて名古屋市も対応しようとしていましたが大き過ぎると言うことで結局閉めて取り壊されました。もし、河村市長が本気で保存を考えているなら十州樓のような建物を残して欲しかったなと思い

ます。鳥久の場合は規模が小さいですから行政で何とかしようとしていたのではと思いますが、残念です。だからものによって対応の仕方が違う。江戸時代の建物で文化財にも何もない建物もまだたくさんあるわけですがそれも市の指定等いろいろ考えられるわけですが予算が限られており保存にはふん切りがつかないと思います。委員の中でも意見の違いがあり行政の中でも対応が難しいところがあります。古ければいいというわけでもないですが、自治体の方では教育委員会が中心になって動いているわけですが関係部署間でも意見のくい違いがあり一本化が難しく見えます。行政の方も悩みながら対応しているのではないかと思います。因みに教育委員会の予算は限りなく少ないようです。

福田：市町村の立場も色々あると思いますがやはり予算付けが問題になってくると思います。そこで海外などでは民間企業から援助をということで企業メセナ事業についての話を聞きますが、いろいろ展示会などを企画展示する立場から住宮さんはどのように考えますか。

住宮：企業には経済機関としての側面と文化機関としての側面があり、二つの要因で成り立っているというコンセプトでこれまでやってきたわけですが、INAXからLIXILに変わってよりグローバルに物事を見るようになり一つの建築をどうするかより広い視点、様々な視点で見ようになってきたと思います。



これから

建築文化が果たす役割について

福田：ここまでは歴史的な流れから文化財としての保存問題それに対する行政の関わりなどについて伺ってきましたがここからは将来、建築文化が果たす役割についてそして団体としての関わり方などについて話題を進めて行きたいと思います。

塩田：今までは 建築家が才能によって文化を築き上げてきたわけですがこれからは市民が参加しやすくなり、意見を言いやすくなってくると思います。新しい建物が完成すると評判が気になりネットで検索したりしています。いろんな立場の方が建築の計画について意見を出し合っていく様になってきています。PTAや地域町内会を交えたワークショップ、公聴会やインターネットやメディアと言った社会的インフラも活用して仕上げて行くようになってきたと思います。

柱：学校については今お話があったように現地の方を交えてワークショップなどを活用しています。文化について言うところまでは建築単体で存在してきましたがこれからは点ではなく面的な繋がりが大事になって行くのではと思います。それに合わせて建築家としての役割も変わってきていると思います。コーディネーターとしての役割が強くなってきていると思います。つくることによって活動が繋げられるような建築をこれから目指して行かなければと思います。結果的には河田先生がおっしゃったように建物の歴史だとか風土なども踏まえてコーディネートして行く事が重要ではないかと思います。

住宮：公共的な建築を造って行く場合はそういった気持が必要だと思います。

松野：確かに自分の設計した建築の評判はネットの検索で見えてしまうこともあります。エンドユーザーの評判、意見を知ることとは設計者にとって必要な姿ではないかと思います。新しい建物へ自分の考えを発信することは、誰にでも簡単に出来る時代になってきています。今、大学のプロジェクトに携わっていますが、例えば学生がどう使ってきたのか、どうして欲しいかといったことも簡単に発信できます。建築関係者の意見、そして、プラスαで様々な意見も取り入れて、施主とエンドユーザーに満足してもらうという



ことが、建築設計者のあるべき姿だと思います。

吉田：文化という観点から見ると過去の委員会の考え方なども簡単に検索して物の情報も調べられるようになってきている。

片山：自治体などもアリバイづくりになってきていて了承を得ましたねと言った事になっているような委員会もあり本当に生の声をどれだけ取り入れられるかが大事だと思います。

建築文化からみた地域創生

福田：地方について安倍首相が個性豊かで魅力ある地域社会をつくるといっています。建築文化からみた地域創生、地方だから出来ることについて伺います。先ほどから建築を進めて行くにあたって地域住民とのワークショップなどのお話もありましたが、検索すれば瞬時に世界中の情報が得られる時代になった今、中央も地方もないということかもしれません。東海支部は大阪本部にとっては地方ですし、片山さんの住んでいる浜松は東海支部にとって地方かも知れません。地方から出来ることについて伺いたいと思います。

片山：地方は地方でずっと引き継がれてきた独自の文化、魅力があると思います。それはその家に代々伝わってきたしきたりや風習も含みます。行政は子育て支援や少子化対策、女性のパートや人材派遣問題などについて、その問題ごとに、その地方に住む女性全てを対象として建築とは関係なく意見を聞くべきです。地域をひとくくりにしてしまっただけいけないと思います。地域独自の物があるので地域ごと個々で考えて行かなければと思います。

河田：地域の知恵を生かして行くということからすれば、名古屋市は地方とはいえ大都市です。行政も大きな集団であれば一般市民の意見がなかなか反映されない土壌がある。むしろもう少し小さなところの方が、融通がきくと思います。例えば、先程の学校建築ではありませんが、公共の学校建築であれば雛型

があり、そのパターンで設計しその束縛から抜け出せなくてあまり魅力のあるものが出来てこなかったわけです。今から6年前に初めて名古屋市立植田東小学校で躯体は不燃材料ということで、RC造ですが、内部に木質の材料をふんだんに取り入れた最初の試みだった校舎が出来ました。その後、笹島の方にも出来てようやくそういうものが少しずつ出来てきました。ところが長野県に行くと木質の学校は既にたくさんあるわけで、そういった意味で言えば先程の行政との関わりもありますが、その辺のシステムと言いますか一般市民の意見を取り入れやすいような状況が生まれればいいなという希望があります。

福田：今の意見のように木を使ってみたり石や、いわゆる地場産業の焼き物を使ってみたりとかすれば地域の活性化にも繋がってくると思います。いろいろ歴史、文化の話を伺ってきましたが、最後に、建築団体としてこれほどの団体もそうだと思いますが、少子高齢化の中、会員が減少して行く中で今後どのように建築協会東海支部を次に繋げて行くか、支部活動をどのようにして行ったら良いのかといったことを伺いたいと思います。

柱：東海支部ということで東海地方の良さを再発見する。木であれば、先ず山を知りそして人や団体の関わりから文化へ、例えば木曽檜といったテーマを見出し東海地方の建築に絡めた上で支部をアピールして行けばと思います。

福田：今、支部管轄地域の良さを再発見して支部活動を続けて行けばよいと言った意見がありました。少子高齢化で会員数が減って行くのは当然だと思います。その中で会を活性化して地域の人たちに存在意識を高めて行くにはどうしたら良いかと思った時に、これまで皆さんが話されているそれぞれの市町村の人たちの意見を聞きそして取上げ、建築協会がそこに入って行って地域の良いところを建築に限らず文化を見学会に取り上げたり体験したりすればよいと思います。少し前INAXがセラミックでクラシック音楽の楽器を作ったことがあり、支部復活45周年（2005年：愛地球博覧会の年）の時だったと思いますが、記念イベントで常滑の焼き物の工場と窯をリニューアルしたレストランでセラミック楽器

の室内楽の演奏を聞きながらの食事会を企画しました。又、新年互礼会でも東海支部が幹事団体の時に余興で演奏した経緯があります。このように地域の中に埋もれた文化が沢山出てくると思います。建築協会は入会の規制がなく誰でも入会できる会です。学生でも主婦でも旅行社の社員でも入会できます。現に旅行社の方に入会してもらい見学会をお願いします。

吉田：建築団体の中で建築協会はいろんな分野の方々が入会している団体で協会でしか出来ない切り口で活動をし、そういったことを冒頭で河田先生もおっしゃっていましたが、雑誌「建築と社会」の中で大阪では知られていない地方に密着した、皆さんの知らないわくわくするような情報を掲載してお知らせすれば他団体と違った魅力が出ると思います。

福田：「建築と社会」については私も踏まえて入会時から皆さんがその素晴らしさを理解して来たのだと思います。座談会も時間が迫ってきました。河田先生、最後に一言お願いします。

河田：先程も言いましたが私、関西に住んでいた時期があり関西の近代建築紹介なども今後も続けて欲しいと思います。そして、3月号は東海特集号ということですので年に1回は東海地方からのいろいろな文化を発信して行く事が出来たらと思います。

福田：住宮さんは協会について或いは団体についてどうですか。

住宮：これからも東海支部で相談して頂き、こんな物がほしいとか造ってほしいとかぜひご相談いただきたいと思います。いろいろな設計事務所を訪問して楽しく建築家とコミュニケーションをとって色々な活動をして行き



福田泰造
1949年生まれ。
福田泰造建築事務所主宰
愛知工業大学建築学科
講師（非常勤）
（一社）日本建築協会東海支部
支部長
常滑市内児童生徒国際交流推進協議会 会長

たいと思います。

松野：最後に見学会について、本日は様々な見学会がお話の中にできました。今後、例えば「新しい建築」、「歴史ある文化財的な建築」、建築とは関係ない「文化」の見学会等バリエーションがあれば、建築とは関わりの少ない人も参加しやすく面白いと思います。

福田：古いものと新しいもの、言いかえればこれまでとこれからをミックスした見学会は幅広い年齢層の人が参加しやすいと思います。

吉田：見学会ではベトナム見学会も新しい試みの見学会でした。建築家のアトリエを訪問し、建築家に自分の作品を案内して頂く企画でした。今、オリンピックに向けて日本は観光に力を入れています。中部地方はどちらかと言えば産業観光だと思います。LIXILやTOYOTAなど物づくり産業を踏まえた見学会の企画も今後のあり方だと思います。

福田：いろいろ伺って来ましたが、建築団体として生き残るための手段は会員からの活動提案を幅広く募り、誰でも気軽に参加できる企画の実施こそ団体として生き残る道かもしれません。「開かれた市民参加の建築団体」を東海支部の提言として座談会を終わりたいと思います。

本日は有難うございました。



東海のこれから

1

名古屋駅周辺の
まちづくり展望

後藤勝彦

名古屋住宅都市局都市活性監

はじめに

2014年10月17日に東海旅客鉄道株式会社（以下、「JR東海」という。）が東京・名古屋間で2027年に開業を目指すリニア中央新幹線（以下、「リニア」という。）について、全国新幹線鉄道整備法に基づく工事実施計画が認可された。このリニアによって、東京（品川）・名古屋間が、現在の東海道新幹線での所要時間1時間40分から半分以下の40分となり、その時間短縮効果は東京圏・名古屋圏を巨大都市圏（スーパー・メガリージョン）とし、日本の国際競争力を大きく向上させる好機となるとともに、ものづくり圏域の中心都市としての名古屋市の役割や名古屋駅の拠点性、利便性が一層高まることとなる。

名古屋駅周辺の開発状況

名古屋駅周辺は、都市再生特別措置法に基づく都市再生緊急整備地域・特定都市再生緊急整備地域に指定されている。現在、名古屋駅周辺では、都市再生特別地区を活用した再開発が進んでいる。事業中の主な建物は、「大名古屋ビルヂング」（高さ約180m、地上34階、地下4階、2015年10月竣工予定①）、「JPタワー名古屋」（高さ約200m、地上40階、地下3階、2015年11月竣工予定②）、「（仮称）新・第二豊田ビル」（高さ115m、地上25階、地下2階、2016年6月竣工予定③）、「JRゲートタワー」（高さ約220m、地上46階、地下6階、2017年2月竣工予定④）の4棟である。



写真1 名古屋駅周辺の開発状況

また、名古屋駅から南へ約1kmの位置にある「ささしまライブ24地区」（写真2）では、旧国鉄笹島貨物駅跡地を含む約22.1haで土地区画整理事業を行っていると同時に、それにより生み出された大規模画地を活用して、中京テレビ株式会社社屋、愛知大学名古屋キャンパス2期工事、グローバルゲートなどが、2017年度までに順次竣工予定であり、国際歓

迎・交流の拠点の形成を目指した官民連携のまちづくりを進めている。



写真2 ささしまライブ24地区

さらには、名古屋鉄道株式会社（以下、「名鉄」という。）は、鉄道駅、バスセンターの再整備を含む名鉄名古屋駅再開発計画（2027年駅機能整備完成を目標⑤）（写真1）の検討を進めているなど名古屋駅周辺は大きく変わろうとしている。

名古屋駅周辺まちづくり構想の策定

名古屋駅は現在でも1日に約111万人の乗降客が利用し、多くの交通機関が集中する交通結節点であるが、東海道新幹線、JR在来線、名鉄線、近鉄線、あおなみ線、地下鉄2路線に限られた空間に重層的に設けられてきた。そのため、立体的・平面的に複雑に入り組んでおり、乗換がわかりにくいものになっている（図1）。そのような現状の中、新たに地下30mにリニア駅のホームが建設されることとなるため、リニアの最大の特徴である速達性を活かすためには、これまでの課題を解消して名古屋駅での乗換利便性を高めることが必要である。

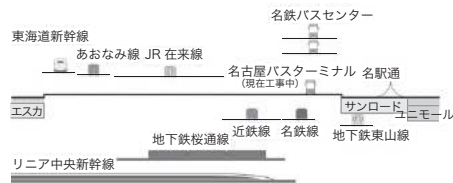


図1 各施設の配置状況（断面イメージ）

そこで、本市では有識者・各種団体・地元関係者等からなる「名古屋駅周辺まちづくり構想懇談会」（座長：奥野信宏・中京大学教授）での意見を聞きながら、リニア開業に向け、新たなまちづくりを進めるための共通目標となる基本方針と具体的な取組み内容を示す「名古屋駅周辺まちづくり構想」（以下、「まちづくり構想」という。）を2014年9月に策定した。

後藤勝彦

1978年京都大学工学部卒業後、同年名古屋市内庁
総務局企画部長、交通局技術本部長を経て、
現職

まちづくり構想の概要



写真3 まちづくり構想の表紙

まちづくり構想で

は、目標とするまちの姿を「世界に冠たるスーパーターミナル・ナゴヤ〜国際レ

ベルのターミナル駅を有する魅力と活力にあふれるまち〜」としている（写真3）。

また、目標とするまちの姿の実現に向け、以下の4つの基本方針を定めている。

1. 国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す
2. 誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅をつくる
3. 都心における多彩な魅力をもったまちをつくり、つないでいく
4. リニア開業を見据え、行政と民間が一丸となって着実に構想を実現する

基本方針1では、リニア開業を契機に、名古屋大都市圏が国際競争力を高め、圏域全体が発展していくため、都市圏の玄関口である名古屋駅周辺に都市機能のさらなる集積を進め、国際的・広域的なビジネス拠点・交流拠点を形成していくとしている。主な取組みとしては、企業の本社や支社、外資系企業の日本・アジア拠点などの立地先となる高品質なオフィスの立地を進めるなどビジネス拠点性を高める都市機能を強化するとともに、来訪者が“集い・憩い・滞留し、交流できる空間”を駅・駅前広場やその周辺で確保するとしており、駅前広場周辺などにおけるゆとりある滞留空間のイメージを示している（図2）。



図2 ゆとりある滞留空間のイメージ

また、リニア駅は、東西約1kmにわたり開削工法により施工される予定であり、不整形な残地や上部にまとまった空地が生じる可能性がある。名古屋駅に近接する貴重な土地であることから、その上部空間の有効活用と

もに、その周辺街区を含めた面的なまちづくりを進めていく。（図3）



図3 面的なまちづくりの検討すべき内容

基本方針2では、リニアの速達性を活かすため、スムーズでスピーディな乗換を確保するとともに、初めて訪れる人にもわかりやすく、利用しやすい乗換を実現する。主な取組みとしては、複数の交通機関相互の乗換動線や、駅とまちをつなぐ動線が交差する箇所において、動線の整流化やわかりやすさ、利便性向上のため、乗換先が一目で見渡せ、上下移動も円滑にでき、案内機能も備えた広場空間である「（仮称）ターミナルスクエア」の形成などを進めていく（図4）。あわせて、国内外からの来訪者を円滑に誘導するとともに、的確な情報提供を行うため、案内サインの充実を図っていく。

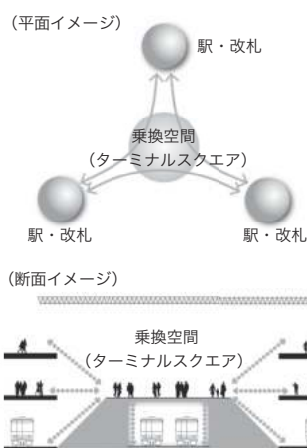


図4（仮称）ターミナルスクエアのイメージ

また、この圏域においては、高速道路ネットワークが充実していることから、リニアの速達性を活かし、高速道路ネットワークを最大限に活用できるよう、駅と高速道路とのスムーズなアクセス性を確保していく。

基本方針3では、城下町や超高層ビル群など

名古屋駅周辺の多様なまちの魅力を高め、駅とまち、まちとまちをつなぎ、回遊性を高めていく。主な取組みとしては、名古屋駅周辺にある多彩な地域資源を活かした地域まちづくりを推進するとともに、幹線道路などにおける道路空間の見直しや、民間再開発で確保される民有地内の歩道状空地などを活用して、歩いて楽しい魅力ある歩行者空間を形成していく（図5）。

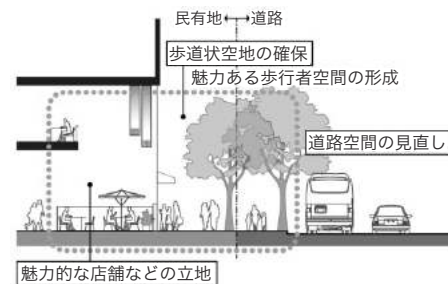


図5 魅力ある歩行者空間の形成イメージ

また、これまで本市では、中央走行方式の基幹バス（1985年運行開始）、ガイドウェイバス（2001年開業）（写真4）、リニモ（2005年開業）といった交通システムを先進的に導入している。今後は、栄、名古屋城など都心全体の連携・回遊性を強化するため、最新の技術を取り入れたLRTやBRTなどの新たな路面公共交通システムの導入を検討していく。



写真4 ガイドウェイバス

基本方針4では、まちづくり構想を実現するため、行政がリーダーシップを発揮するとともに、行政と民間、民間相互など様々な主体が連携・協働してまちづくりを推進としている。

まちづくり構想の実現に向けて

名古屋駅はJR、私鉄、地下鉄、バス、タクシー、日本でも指折りの古さの地下街など様々な事業者間調整が必要である。これらの関係者間調整において、本市がリーダーシップを発揮することが期待されている。現在、取組み毎に関係事業者等が参画するプロジェクト調整会議を開催し、調整・協議を進めているところである。

目標とするまちの姿の実現に向け、高いレベルの機能性を備えたまちづくりを着実に進めるとともに、広く叡智を集め、世界の人々が集まり、魅了し続けるまちを目指していきたい。（ごとう かつひこ）

東海のこれから

2

中部国際空港周辺の
街づくり展望

片岡憲彦

常滑市長

常滑市は、愛知県にある知多半島西海岸の中央部に位置し、西に伊勢湾をのぞみ、東は丘陵地が広がる東西6km、南北15kmの細長い市である。また、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、千年の歴史を誇る常滑焼で知られる中小都市である。

昭和50年代前半から人口の減少が続き、約5万人となった人口も空港の開港前後から増加に転じ、現在では5万8千人に近づいている。

平成17年2月に中部国際空港“セントレア”が開港した。翌年3月に策定した常滑市総合計画において、「世界に開かれた生活文化都市」を将来の都市像とし、まちの個性を守り育てながら空港と共生するまちづくりを進めることとした。

具体的には、「次世代の産業技術やライフスタイルが創造・発信されるエアフロント・シティ」をコンセプトに、空港島及び対岸部埋立造成地で構成される「中部臨空都市」を、内陸部には、空港開港に伴う転入人口の受け皿づくりの一つとして、市中央部の丘陵地において土地区画整理事業を展開する「常滑ニュータウン」を主要プロジェクトとして位置づけた。

「中部臨空都市エリア」については、世界的な長引く景気低迷により、当初は企業進出が伸び悩んでいたが、今では結婚式場、飲食店、宿泊施設、マリーナ等、徐々に進んできた。

また、地区内の海岸部には人工海浜ではあるが「りんくうビーチ」があり、夏期における海水浴やバーベキュー、夕日を眺めながら離発着する航空機を見に来られる多くの来訪者で活気を見せている。



飛行機と夕日（りんくうビーチ）

進出が遅れていた大規模小売店も平成26年末に着工され、ますます賑わいを見せるエリアとなると思われる。

今後、市民及び来訪者の皆様に対して、安全安心な秩序ある街づくりを目指すため、このエリアにおける地区計画を定める予定である。

一方、「ニュータウン地区」の土地区画整理事業については、事業区域約71haにおいて平成15年度から事業を進め、現在では造成工事は終了し、保留地処分を順次進めている。この地区では、街づくりの一環として地区計画を平成18年4月に定めた。

このエリアは、豊かな自然に囲まれるとともに、やきもの関連施設の集積がみられる丘



中部臨空都市

片岡憲彦

1954年 愛知県常滑市生まれ

1977年 愛知工業大学工学部経営工学科を卒業後、常滑市役所に入職

2007年 常滑市長に就任

陵地に位置し、空港の開港に合わせて開通した、知多横断道路（セントレアライン）のインターチェンジや接続する県道に隣接しており、沿道サービス施設の立地にも適している地区でもある。

このため、地場産業であるやきもの関連施設と住機能が調和した「住・陶の複合した街並み」の形成を図りながら、周辺の緑地や農地との調和を図り、緑豊かなゆとりのある住宅市街地への誘導を図ることを目標とした地区計画としている。

地区計画における整備方針としては、「建築物等の用途の制限」、「建築物の敷地面積の最低限度」、「建築物の高さの最高限度」、「壁面の位置の制限及び垣又はさくの構造の制限」を行うとともに「色彩誘導のためのガイドライン」を定め、統一性のある落ち着いた雰囲気のまちづくりとしている。

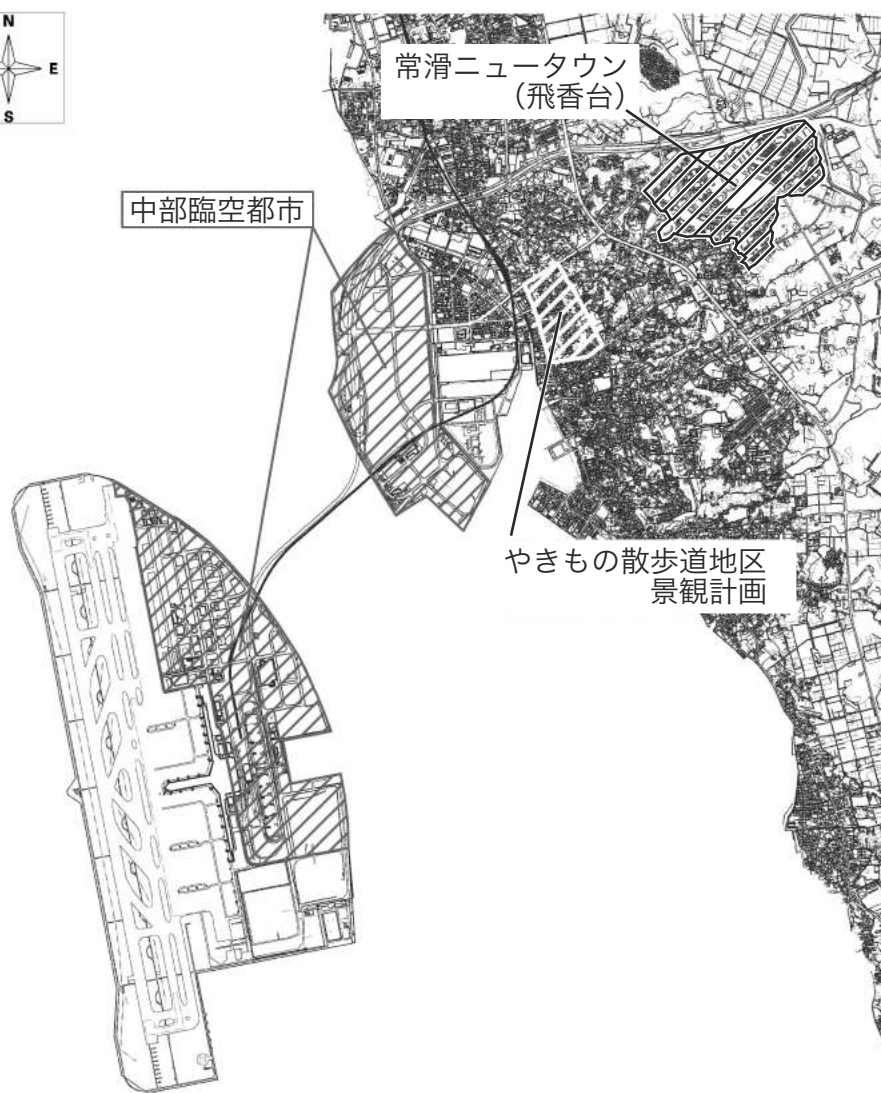
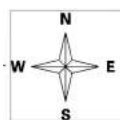
また、当地区には、老朽化した公共施設の移転先用地も確保され、平成24年4月に老朽化した消防署の移転新築が行われ、平成27年5月には、「コミュニケーション日本一の病院」を目指す新市民病院の開院も予定されている。



消防署と建設中の新病院
写真提供：SS名古屋

本市の旧市街地には、常滑市を支えた地場産業であるやきものになんだ「伝統的な窯屋」や「レンガ造りの煙突」、「焼き物を使った道や擁壁」など、昭和の街並みが色濃く残る様々な観光資源が至る所に見られ、独特な景観が形成されており、映画の撮影地としても使用されている。

これらの景観を生かすため、平成20年8月に本市は景観法に基づく景観行政団体になり、平成22年4月には「常滑市やきもの散歩道地区景観計画」を策定し、街並みの保存に努めている。



中部臨空都市とやきもの散歩道と
ニュータウンの位置関係

市の発展のためには、中部臨空都市エリアへの来訪者の方を、いかにして内陸部にある観光施設へ誘導するかが課題である。来訪者の方が巡遊することで、市内の活性化を促す必要がある。



やきもの散歩道（土管坂）

こうした中、市の新たな将来計画である「第5次総合計画」の策定作業に着手した。

現在では、第4次総合計画の検証作業が終わり、市民参加によるワークショップを開催しながら、平成28年4月の施行を目指して策定作業を行っている。

今後、総合計画並びに県の策定する都市計画マスタープランを受けた本市における「都市計画マスタープラン」の策定を行い、常滑市の今後の魅力ある街づくりを行っていきたいと考えている。

（かたおか のりひこ）

東海のこれから

3

名古屋港の将来展望

澤田丸四郎

名古屋港管理組合議会・議長

澤田丸四郎

1955年5月29日常滑市生まれ

慶応義塾高校

慶応大学経済学部卒

1987年より常滑市会議員3期

1999年より愛知県議会議員4期目

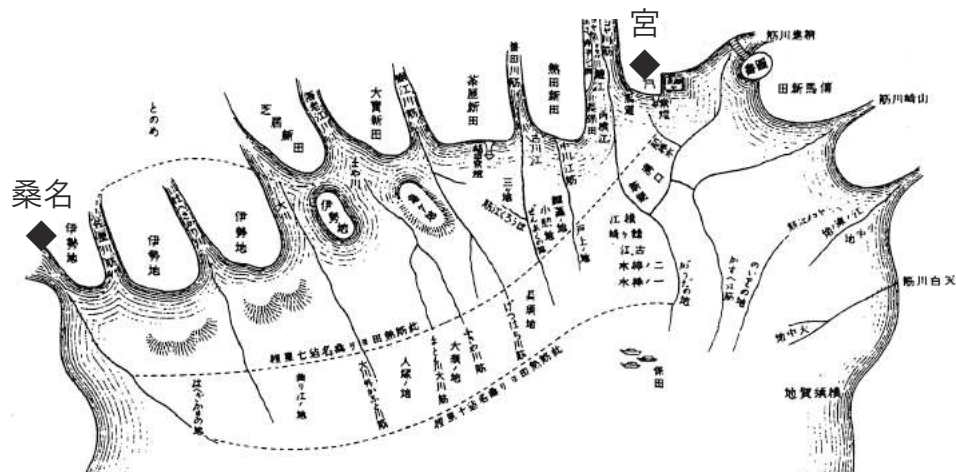


図1 熱田から桑名への海上絵図
出典：『名古屋史』名古屋港管理組合、1990

はじめに

名古屋港の歴史

その昔、江戸時代の初めには、熱田神宮のあたりから、下之一色という町まで海岸線であった。熱田神宮から三重県桑名までは、「七里の渡し」という東海道唯一の海上路であり、その頃の熱田神宮周辺は、宮の宿場町として非常に重要な場所になっており、今日の名古屋港の発祥の地である（図1）。

明治維新の後、西洋文化の輸入や殖産興業政策などにより貿易が盛んになる中、名古屋には港がなく、他の港に頼らなければならなかった。そこで、浮かび上がったのが熱田湾築港である。

当初、愛知県により始められた築港工事は、莫大な費用がかかるため工事反対論が巻き起こったが、工事費確保の努力や奥田助七郎（初代名古屋港務所長）が、巡航博覧会船「ろせった丸」（写真1）の入港を導き、築港の真価を示すなど、港の重要性を訴える地域の人びとの熱意によって名古屋港は明治40年（1907）に開港したのである。

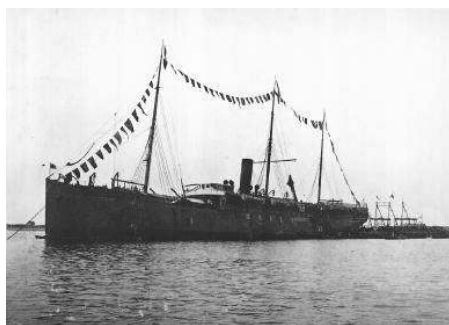


写真1 名古屋港に入港した「ろせった丸」

開港30周年を迎えた昭和12年（1937）の出入貨物は790万トンを記録、伊勢湾第1位の港へと躍進し港は発展したものの、当時の1・2号地（現在のガーデンふ頭）は、土地柄も様々な人々が住んでいることから人心の統一が懸案となっていた。

そこで、産土神社が創設されることとなり、昭和13年（1938）1月に念願の鎮座式が行われ「築地神社」と名付けられ、この地の心のよりどころとなっている（写真2、3）。



写真2 築地神社



写真3 御由緒が書かれた石碑

また、創設にあたっては、その資金集めとして、現在の潮見ふ頭に公的施設としての、千鳥ヶ浜海水浴場がつけられた。海水浴場は、市民の大好評を得て年間10万人の海水浴客が訪れ大変なにぎわいをみせ、海水浴場の売店の借利用料からいくらか回収し、創設の資金に充てられたといわれている。

名古屋港の現状

産業集積と港勢

日本の中央に位置する名古屋港は、物流、交流、防災などの機能が備わった総合港湾である。世界約160の国・地域と定期航路で結ばれており、アメリカのロサンゼルス港や、ベルギーのアントワープ港など、3つの国の5つの港と姉妹港提携を結び、相互に人事交流、情報交換等を推し進めるとともに、港湾ビジネスの拡大と実務レベルでの迅速な対応をはかることを目的とした「パートナーシップ港提携」を創設し、上海国際港務（集団）股份有限公司（SIPG）などの3つの国の3つの港湾団体と積極的な情報交換等を行っている（図2）。

また、背後には、自動車産業などをはじめ世界的なものづくり産業が集積する中部地域を抱え、愛知県における製造品出荷額等（平成25年）は41兆8,703億円と37年連続して全国1位の実績を誇っている。

アクセスにいたっては、港内及び周辺に高規格幹線道路が通っており5つのインターチェンジが港内に配置されているのは、名古屋港だけの優位性である（図3）。さらに、伊勢湾岸自動車道は、東名高速道路、東名阪自動車道と接続し、一部区間が供用開始している新東名高速道路、新名神高速道路とも結ばれ、中部圏はもとより東西経済圏への効率的な輸送を可能としている。

日本一の貨物量、貿易額

名古屋港は、中部地域のものづくり産業の集積により、コンテナ貨物のみならず、LNG、鉄鉱石、穀物などのバルク貨物、完成自動車を総合的に取扱う国際港湾である。平成25年の総取扱貨物量は2億800万トンと12年連続で日本一を記録しており、その内訳をみると東西両港がコンテナ貨物の割合が高い中、名古屋港はコンテナ貨物が約33%、完成自動車が約22%、LNG等のバルク貨物が約45%とバランス良く扱っている（図4）。

また、平成25年の日本の貿易収支が過去最大の11兆円を超える赤字となる中、貿易額は約16兆円、貿易黒字は約6兆円を記録している（図5）。



図2 海外港湾との提携

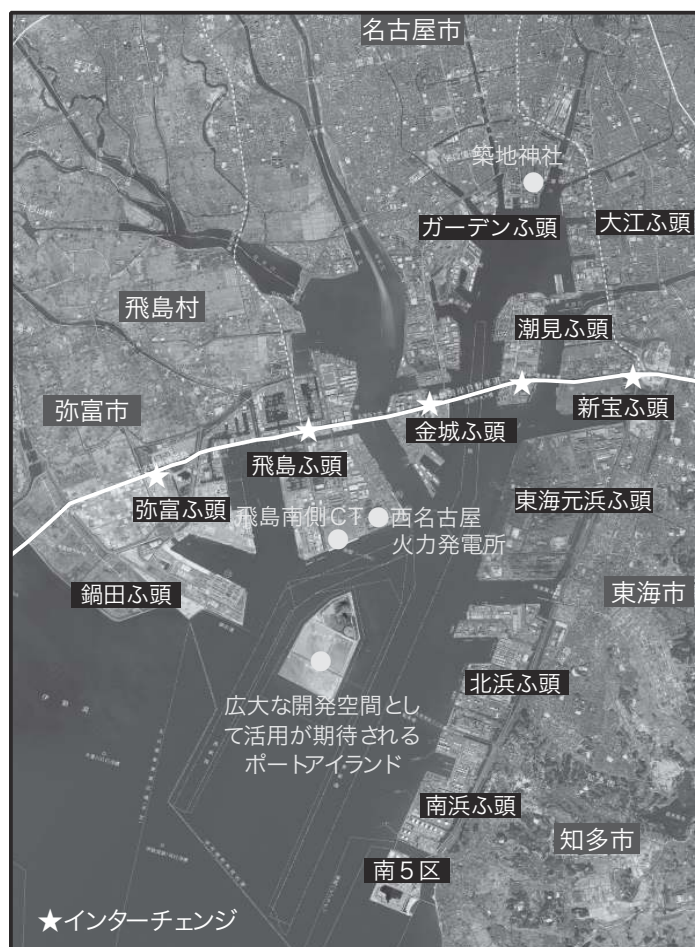


図3 名古屋港全体図

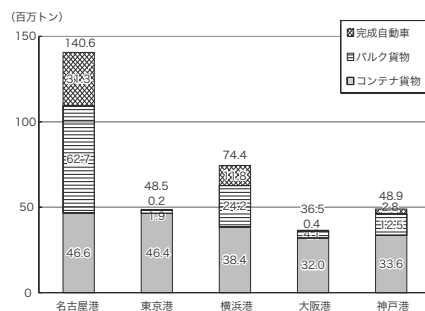


図4 平成25年 五大港外貿取扱貨物量構成比較

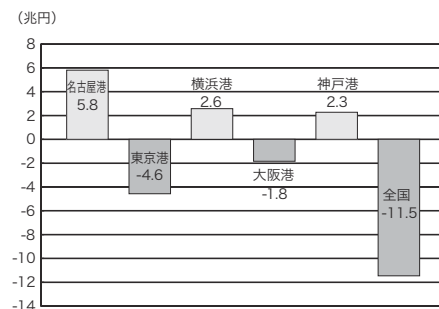


図5 平成25年 五大港貿易収支比較

名古屋港の役割や取組み

名古屋港の役割

海外から輸入されたLNG、鉄鉱石、原油等の原材料が、南部地区で一次加工され、背後のものづくり産業で加工組立てが行なわれ、自動車や工作機械などの製品や半製品となり、西部地区にあるコンテナターミナルなどの物流施設から海外に輸出されている。

名古屋港は、我が国経済をけん引する中部地域の産業と機能的にリンクし、非常に高効率的な加工・物流システムを構築している（図6）。

国際競争力強化への取組み

地域の産業活動を支えるため、国際競争力強化に向けた取組として港湾機能の強化に取り組んでいる。

コンテナ物流機能の強化としては、飛島ふ頭南側コンテナターミナル（写真4）において、我が国初の自動化ターミナルとして供用中であり、自動制御で往復する自動搬送台車（AGV）や遠隔自働RTGによりコンテナが搬送され、ITを活用した効率的な運営が行われている（写真5）。



写真4 飛島ふ頭南側コンテナターミナル全景



写真5 自動搬送台車（AGV）及びRTGによる荷役風景

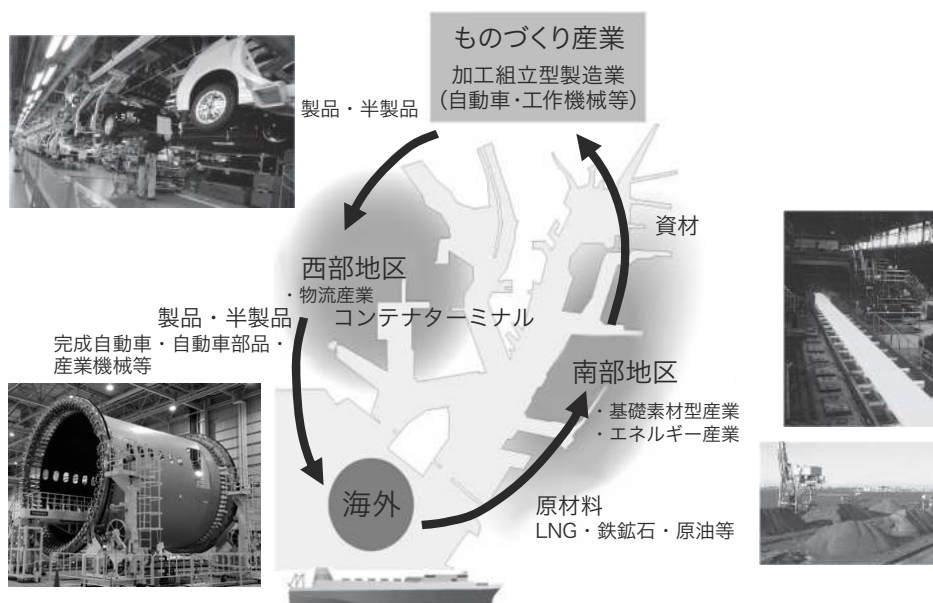


図6 名古屋港の役割イメージ図

また、完成自動車取扱機能の強化については、完成自動車輸送の更なる効率化の取組を進めている。金城ふ頭において、完成自動車の保管用地確保と、耐震強化岸壁など水深12mの岸壁2バースの整備への取組を進めている（写真6）。



写真6 金城ふ頭 完成車積出基地

更にバルク貨物の取扱機能の強化として、名古屋港は、国際バルク戦略港湾に選定され、北浜ふ頭において、大型船に対応した岸壁や新食糧コンビナート用地整備に向けた検討を進めている。

交流、賑わいの取組み

名古屋港といえば、名古屋港水族館が立地するガーデンふ頭地区が有名である。

ガーデンふ頭は、都心から地下鉄で20分ほどの身近な観光地であり、名古屋みなと祭をはじめとする多くのイベントの会場として、年間を通じて約300万人もの人々が訪れ、クルーズ船が発着する名古屋港の玄関口として、広く市民に親しまれている（写真7）。

また、中川運河においては、名古屋市による名古屋駅周辺開発の1つである「ささしまライブ24地区」など周辺地域の開発と連携した緑地整備や中川運河、堀川を連絡する水上交通網の形成に向けた検討を行うなど、運河再生への取組を進めている。

そして近年、名古屋港の新たな観光の目玉として期待されているのが、金城ふ頭地区である（図7）。

金城ふ頭では、鉄道や高速道路が直結するアクセスの良さを生かし、中央部は名古屋市のモノづくり文化交流拠点として位置付けられ、すでに「リニア・鉄道館」がオープンしている。

また、現在は、レゴランドを核とした複合開発が進行しており、2017年の開業を目指し、約13ha（1期約9ha）の事業規模をもつ「LEGOLAND JAPAN」の準備が進められている。

港は物流の拠点としての場所であると同時に、人々に親しまれる空間としての機能も求められるところである。



写真7 ガーデンふ頭

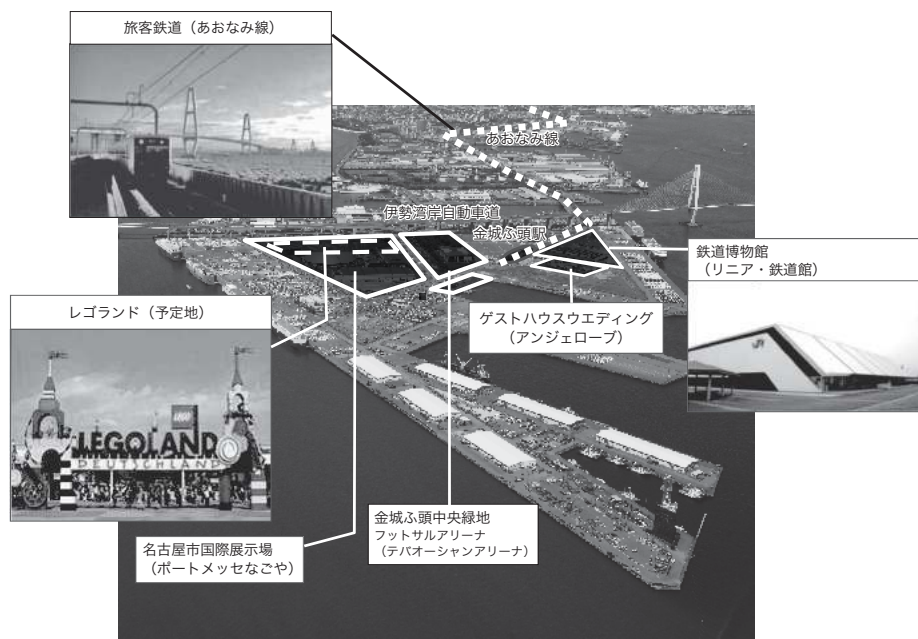


図7 親しまれる交流拠点として再開発進む金城ふ頭

名古屋港の将来展望

中部圏の位置づけ

近年、グローバル経済の進展や新興国の台頭などにより、日本の産業経済においては世界規模での競争が激しさを増している。また、わが国が本格的な人口減少・高齢化社会に突入する中で、この中部圏は、今後も日本全体の発展をリードし、世界との競争に打ち勝っていかねばならない。

そうした中、2027年度に開業予定のリニア中央新幹線は、わが国の大都市圏構造を大きく変えるものであり、とりわけ全線開通する2045年までの間は、東京－名古屋間が国土軸の中心になることから、この地方の飛躍のために、これを最大限生かしていくことが望まれている。

また、中部電力株式会社では、2017年度の運転開始を目指し、西名古屋火力発電所のリフレッシュ工事を進めており、これは、効率の低い高経年設備を世界最高水準の高効率発電設備へとリフレッシュすることでLNG使用量やCO2排出量を削減することが期待できるものである。名古屋港では、こうした暮らしやものづくり産業を支えるエネルギー供給に貢献していこうとしている。

一方で、東日本大震災の発生を機に防災面において大幅な見直しが迫られる中、この中部圏においても、この課題にしっかりと対応し、安心安全で持続可能な社会を築いていかねばならない。

産業における物流への対応

名古屋港の背後に広がる中部のものづくり産業は、自動車産業をはじめ、時代の変遷に応じて、高度な発展を遂げてきた。これからは、次世代自動車を中心とした自動車産業の高度化や、日本一の集積を誇る航空宇宙産業等のさらなる発展に加え、環境関連技術の進展に伴い、自然（風力・太陽光）を活かした環境・新エネルギーなど、将来を担う産業分野についても、積極的に育成・振興をはかっていく必要がある。

また、この地域の貿易拠点である名古屋港を結ぶ道路ネットワーク整備も、産業の国際競争力強化の面から必要不可欠であるため、今後も、東海環状自動車道など、更に背後圏の道路ネットワークを強化し、中部の産業における物流に対するアクセス利便性の向上に努めて行かなければならない。

安心安全、災害への対応

これまで、伊勢湾台風を教訓に高潮防波堤整備などの防災対策やテロ防止などの保安対策を進めてきたが、このような中、現在、国や自治体等において、東日本大震災を機に、大規模自然災害等への備えとして、国土政策・産業政策も含めた総合的な計画である「国土強靱化基本計画」による取組が進められている。

また、海岸管理者において、新たな海岸基本計画の策定により海岸事業の推進、防護機能の強化を重点的に進めるべく検討が行わ

れているが、この取組と連携して、わが国を代表する産業が集積するこの地域において、災害時に日本経済の停滞を最小化するために、港湾物流機能の早期復旧を行うための港湾BCPの策定も進めていく必要がある。これらの取組を踏まえ、安心安全な港をこれからも目指していかなければならない。

名古屋港の魅力向上と大規模空間の活用

前述のようにガーデンふ頭、金城ふ頭において、交流・賑わいの取組が鋭意進められている。そうした中、近年の余暇活動の拡大に伴うクルーズ船への需要の高まり、世界的に注目が集まるオリンピックイヤーの2020年、そしてリニア中央新幹線自体が観光になると期待される2027年をターゲットに、この地域が“advanced model NAGOYA”ともいえるべき新しい地域ブランドの確立やシンボリックの創出による情報発信力の強化に取り組んでいく必要がある。

現在、名古屋港においては、大規模な未開発用地としてポートアイランドが残されており、その利用については、高度な物流拠点としての利用、新たな産業の誘致先や拡大展開先、観光・レクリエーション拠点など様々な利用が考えられるが、その規模は、名古屋の栄・伏見地区に相当する広さを有しており、一つのシティ（街）として、多種・多彩な用途が有機的に繋がり、調和した空間として活用していくのも一考である。

今後は、大変貴重な空間であることから、周辺自治体、関係者等と慎重に協議を重ね土地利用を考えていく必要があり、将来に向け、どの様にこの空間が活用されていくのか期待するところである。

終わりに

名古屋港は、今後も背後のものづくり産業を物流面で強力に支え、産業立地を推進するとともに、快適な港湾空間や魅力のある観光資源を提供し、安全で安心な暮らしを守り自然環境とも共生する、世界にきらめく港を目指していかなければならない。

そのためにも、この名古屋港の発展に向け、今後とも皆様のご理解とご支援、ご協力を心からお願いする次第である。

（さわだ まるしろう）

住宅地に建つ低層小規模オフィスで自然換気をデザインする
：集風ウォール+PCM活用型自然換気システム

六合エレメック本社ビル

愛知県名古屋市中区

日建設計

奥宮由美 田中宏明



コーポレートカラーの「集風ウォール」が迎えるエントランス



落ち着きのある街並みに調和する夕景ファサード



風を正面に迎え室内に導くのがこぎり型換気窓

「小規模オフィスにおけるエコモデル」の実現をめざして計画された六合エレメック本社ビルは、歴史ある住居地域である白壁地区に建つ延床1,100㎡、4階建のオフィスビルである。

最も特徴的なのが、規模や立地の制約を解消する「風を集め、導く」かたちである。それは、建築と設備を融合させた空間・ファサードデザインとして表現したこと、性能予測をデザインに活かし、完成後の計測に於いてその性能を検証していることである。

都市部のビルの多くは、隣棟間隔が狭く、特に戸建住宅が隣接する住宅街においては、近隣への配慮から採光や自然換気窓の設置位置が制約され、法規制により建物高さも低く浮力換気を促進しづらい。

このふたつの課題に対し、風を集める「集風ウォール」と「風と光と緑のコリドール」「のこぎり型換気窓」により建物方位を気にせず風を導く「集風機能」と近隣のプライバシーに配慮した東面と北面の安定した「2面採光」を具現化し、PCM（潜熱蓄熱材）を活用した太陽集熱ルーバーを配したソーラーチムニーにより、浮力換気を促進させている。周辺環境とワーカーにやさしく、気持ちの良いオフィス環境を建築と設備のコラボレーションにより実現した。

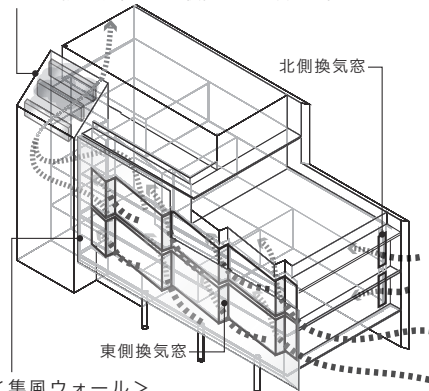
「六合エコ」6つのアイコン



SOLAR GREEN VENTILATION RAIN LIGHT PCM

<PCM 活用ソーラーチムニー>

PCMの調温効果により夜間の浮力換気を促進

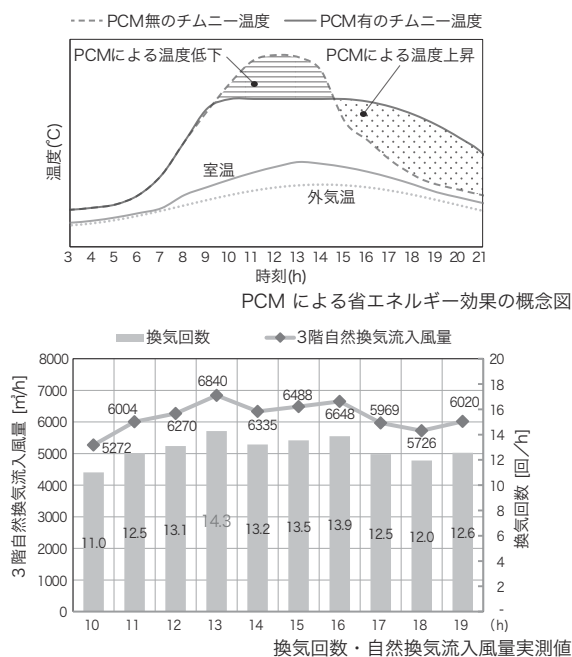
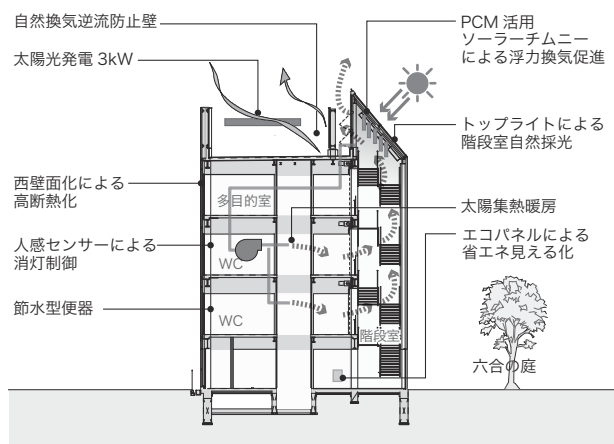
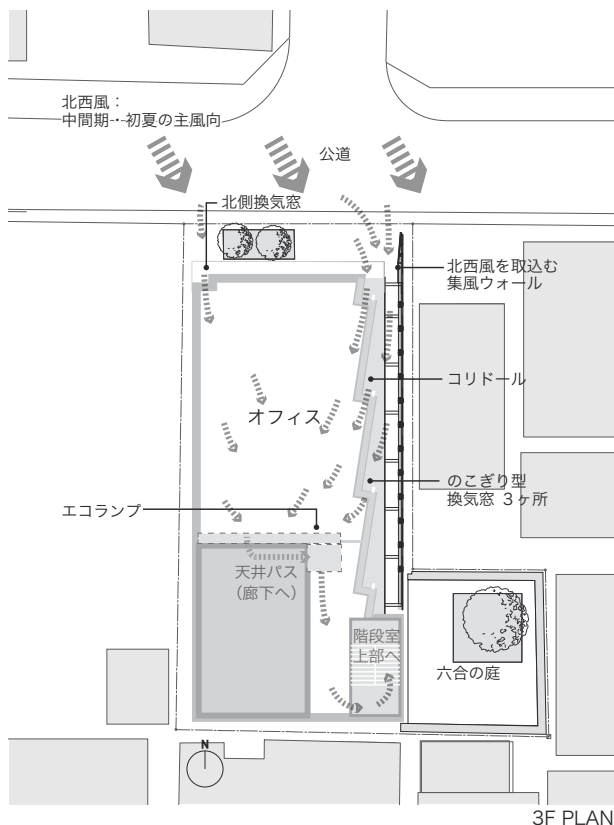


<集風ウォール>

北西の卓越風を集めて風力換気効果を促進



ソーラーチムニーの太陽集熱ルーバー



風を集める・風を迎えるデザイン：集風ウォール・のこぎり型換気窓

集風ウォールにより、中間期と初夏の北西風を建物東側コリドールへ風速を速めて取り込み、さらに、通過風に正対した十分な開口面積を有する「のこぎり型換気窓」により、室内全域へ自然風が行きわたることで、風力換気効果を向上させた。

熱を活かし、風を導くしくみ：太陽集熱ルーバー

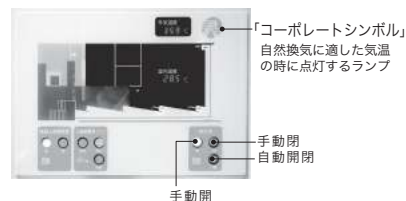
トップライトを持つ階段最上部にルーバー状のPCMを設置した。朝から昼までの太陽熱を蓄熱し、夕方から夜間にかけて放熱することで、夕方以降の浮力換気効果が大きくなり、日積算で省エネルギー化を図った。

性能予測を裏付ける性能実証

室内温度分布のCFDの解析により上記の風を集め導く手法の換気回数は10回/hまで増加し、室内温度は25～26℃となり快適な温熱環境となることを予測して設計をすすめた。竣工後の実測結果により、オフィス内の自然換気回数は最大14回/h、日射量が少なくなる夕方17時以降でも昼間と同等の12回/hの換気回数を得られることを確認した。

自然換気利用を促進する「エコランプ」

換気窓の開閉は、「手動+自動を併用した開閉方式」を採用している。自動モードでは外気温と室温、外部風速を検知して給気窓と排気窓を自動開閉させ、手動モードではワーカーの自己判断で自然換気を行うことを可能とし、自然換気利用時間の拡大を図っている



風と光と緑のコリドール

東海の建築：建築と設備の融合

建築と構造と設備のコラボレーション

熊野油脂新社屋

愛知県瀬戸市



建物外観



1 階と 2 階を繋ぐコミュニケーションスペース

竹中工務店設計部
小杉嘉文・柳澤 隆・千賀英樹・金子 研

建物を構成する要素や材料を分節し、シンプルな操作により素材のもつ表情を活かすことを考えた本社ビルである。

外部は砂岩張の 3 層の箱と、RC による 4 層の箱が並立する構成とし、大きな庇を架けることで陰影のある表情としている。

敷地は南北に長く、熱負荷の大きい東西外壁面の開口部の面積を抑えるため、スリット窓を選択した。東西方向は 10m の 1 スパン、長辺方向は 3.2m 毎に柱を設け、長辺方向の梁のサイズを抑えスラブと一体化させることで、上下階に連続するフルハイトのスリット窓としている。

内部は天井吊型の空調機器を納めた壁面収納と、照明ラインを抱えた吸音性能を有する天井の巾を合わせ、両側をフルハイトのスリット窓で切ることで、開放感とリズム感を持つ執務空間とした。

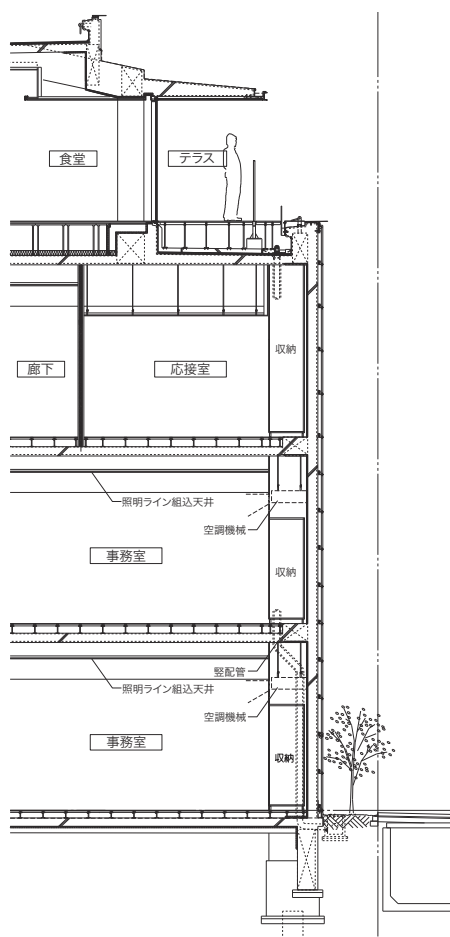
2 層に分かれた執務室を、ミニキッチンを設けた吹抜けで繋ぐことで、自然に人が集まり頻繁にコミュニケーションをとることのできる環境をつくった。天井高さ 6.7m の吹抜けは、床下空調とし、南面に大きくハイサイドライトをとることで、環境的配慮から開口面積を抑えた東西面のスリット窓とあいまって、執務室全体が明るく気持ちの良い空間となっている。



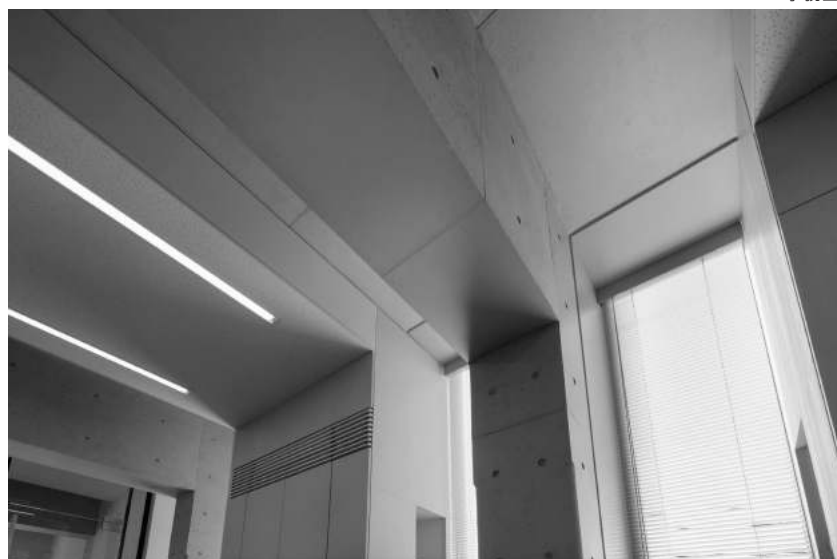
事務室



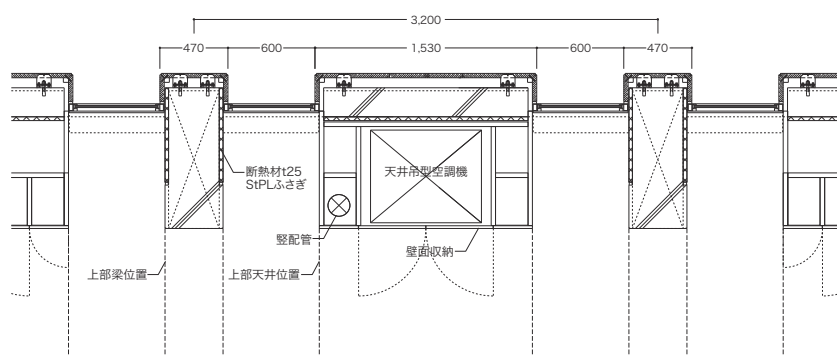
事務室



断面図



空調機器とRC躯体の窓廻りディテール



窓廻り平面図

東海支部だより

1

建築家ヴォ・チョン・ギア氏の建築とベトナム歴史建築の旅

2014年10月30日(木)～
11月3日(月・祝)

塩田哲也

日本建築協会東海支部事業委員

塩田哲也

1972年生まれ

1995年東京芸大卒業

1997年同大学院卒業

同年日建設計入社

現在、同社設計部門主管

日本建築協会東海支部事業委員

はじめに

ほぼ隔年で東海支部が主催の海外視察を行っている。近年は、中国、韓国、シンガポールと続いたが、今回は中国からのシフトを含め日本からの直接投資が目立つベトナムの歴史建築や文化を学び、気鋭の若手建築家を訪ね、現地の最新建築に触れた。

10/30 設計事務所訪問 ハノイ市

ヴォ・チョン・ギア氏の共同事業者である丹羽隆志氏にVo Trong Nghia Architectsの最新プロジェクトをはじめ、事務所のビジョン等について、ベトナムの建築事情を交えながらプレゼンテーションいただいた。

地場産の竹の活用は彼らのテーマの一つである。職人のスキルを考慮したディテールは簡素であり、素材の特性を生かした構造計画と共に、繊細で素朴な独特の雰囲気を生み出している。現地で実大モックアップを破壊し強度確認を行うなど、計画と現場がとても密接な建物だ。建物緑化も得意とし、熱負荷の削減や見た目の涼感を目的として多くの作品に採用されている。とって付けたようなものはなく何れも建築デザインとよく統合されており、作品に無くてはならない要素として計画されている。

このように作品の切り口は常に地に足の着いたものであるが、一方でゴールを都市像の変革に置いているのが爽快だ。緑に覆われたハノイの将来像がスクリーンに映った時は唸らされた。かつて日本の大手ゼネコンが描いていたような絵だ。現在そのような飛距離の大きな思想を掲げている設計集団がわが国にいくつあるだろう。

野心と活気のある事務所の雰囲気をそのまま自分の職場に持ち帰りたいと思った。



Vo Trong Nghia Architects ハノイの事務所

10/30 JWマリオット ハノイ

2013年にオープンしたばかりのホテル。「龍」をモチーフにしたというトグロを巻いたような外観は、長すぎて敷地内ではカメラ

のフレームにおさめることはできなかった。バックオブザハウスは地下にあるようで、ここでは龍の頭と尻尾の先もつながっているのだろう。とはいえサービスは大変そう。最上部のキャンチレバーのボリュームが気になり、館内から足を運んでみた。利用者がちょうど居なかったため入室が許可され、一歩踏み込むと…、なんと中はプールであった。先端に立ってみると相当な開放感があり刺激的。

10/31 ハノイ市

ハノイ市内の観光を行った。ホーチミン廟や一柱寺など著名な名所をガイドの丁寧な案内で回った。孔子廟で大勢の女子大生が卒業記念写真を撮っていたので、筆者もギャラリーに交じって撮影した。周りでは同行した方々もシャッターを切っている。アイドルに群がる輩のように見えなくもないが、被写体はあくまでも孔子廟が親しまれているという文化的側面だ。



孔子廟の前にて

午後は参加者の希望により二手に分かれて、各々行きたい場所に行った。筆者は水上人形劇を観覧した。かつてホーチミンで見たことを同僚に自慢したところ、あれはハノイが本場だと聞かされ、見なければ気が済まないと思っていた。こうも早く実現するとは思わなかったが。言葉は分からなくても愛らしい人形のアクションでつい微笑んでしまう。ストーリーもシンプルなのでなんとなく分かる。ハノイが良かったのは演奏方で民族衣装を着た綺麗なお姉さん達が楽しそうに歌っていたことだ。ズームしてシャッターを押す。



水上人形劇の演奏方

フラミンゴ・ダイ・ライ・リゾート

ハノイから50km北西にあるリゾートホテル。レセプションとしても使われている会議場 Dailai Conference Hall、レストラン Bamboo WingはVo Trong Nghia Architectsの作品。

11/1 フェエ市観光

建造物群がユネスコの世界遺産となっている。広大かつ多数の史跡（幾つか覚えていない）をガイドの精力的な案内を受けながら回った。11月とはいえ暑く、見学の間のバス移動がオアシスの様だ。絶景を誇る王宮の最上部にて、帰国後今回の旅行記を作成するよう支部長からご下命いただいた。写真をいっぱい貼れば楽だよと仲間が慰めてくれたものの、一瞬気が重くなる。が、すぐに忘れフェエの宮廷料理を出すというレストランで舌鼓を打つ。



フェエの宮廷料理をイメージしたビジュアル系ディッシュ

11/2 現場訪問～ギア氏作品見学 ホーチミン市

竣工間際の現場を訪問した際、ギア氏との面会が実現し、事務所の構想や運営の話題を中心に気さくに話していただいた。以下に心に残ったコメントを紹介する。

～以下、ギア氏語録～

- ・自分はのんびりやります。海外に視察に行っても建築は一日に二つしか見ません。
- ・のんびりやって世界中から仕事をもらっています。
- ・のんびりにはコツがあります。
- ・接待などで時間が奪われるような仕事はしません。
- ・クライアントとの打合せはパートナーが行い自分は行きません。講演の他はほとんど事務所で仕事をしています。
- ・ギアさんと直接打合せしたいクライアントもいるのでは？→事務所にきていただきます。
- ・スケッチや図面を描いている方が楽しいからか？→楽しいというより、その方が設計

のクオリティが上がるからです。設計の品質を高めることが顧客が集まるという循環を生んでいると考えています。

- ・いまホーチミンで30弱、ハノイで20のプロジェクトが進行しています。スタッフは、総勢60人位、今年中に倍増させる予定です。プロジェクトは増やさずに個々の規模を大きくしようと考えています。
- ・ベトナム人の設計事務所は国内でもなかなか信頼されませんが、自分たちは信頼を勝ち得ました。だから仕事が集まっているのです。施工会社も所有しています。
- ・自分は忘れる能力が高いです。忘れなければたくさんの仕事はできないと思います。

～以上～

ギア氏は物腰やわからかではあるが、エネルギーに満ちた人で、建築家というよりは起業家のように見える（実際にその通りでもある）。仕事の取り組み方について示唆が多く、興味深い話であった。と同時に話を聞いていて元気づけられ、ハノイで見た事務所の活気の源はやはりこの人なのだと納得した。海外での経験を積みたい方は、きっと良い影響を与えてくれるこの事務所を候補にして良いと思う。



名古屋工業大学 河田先生との再会を懐かしむヴォ・チョン・ギア氏

明るく活気のある街

元気で活気のある街を作り出しているのは何だろうか。これは良く言われるようにベトナムが若年中心の人口構成だからかもしれないし、着実に豊かになっていくのを見据えて希望に満ちているからかもしれない。しかし筆者は今回の旅行で体験したことの中からは、彼らの食事の習慣を挙げたい。ハノイでもホーチミンでも通りの屋台で食事を楽しんでいる人々を四六時中見かける。ガイド曰く、家庭で作るよりも安く、おいしいので外食が多いのだそうだ。フォーの屋台が日本でも流

行ってほしい。共働きが多いというベトナムの忙しい家庭はそれで助かっているはずで、我々の事情もまた同じではないだろうか。



屋台での日常

ツアーの仲間に熱弁をふるったところ、同意しつつ「でもバイクもすごいよね」とのこと。確かにバイクの量は以前と変わらず多い。バスの道中でオープンしたばかりのイオンのベトナム進出一号店を見た。現地のガイドも見ることが無いというような雲霞の如きバイクの量であった。ベトナムの活気を象徴するようだが、ベトナム人が屋台ではなくショッピングセンターのフードコートで食事をするようになるのかと思うと少し寂しい。屋台と共存する大規模店舗のアイデアが望まれる。



雲霞の如きバイク

まとめ

- ①Vo Trong Nghia Architectsは良い事務所だった。今後もよい作品を造り続けるだろう。
- ②フォーの屋台が日本でも流行ってほしい。良い街づくりにつながると思う。
- ③日本建築協会のツアーは一見割高に見えるが、団体でなければ実現しない体験ができて面白い。ツアーなので移動や現地での観光など非常に楽。あとメンバーは皆紳士でフラットであるがゆえ、ツアーにありがちなストレスはない。つまりコストパフォーマンス優秀。

(しおた てつや)

Vo Trong Nghia Architectsの建築作品



フラミンゴ・ダイ・ライ・リゾート 会議場 Dailai Conference Hall



フラミンゴ・ダイ・ライ・リゾート レストラン Bamboo Wing



案内いただいた作品 Diamond Island Community Hall



案内いただいた作品 Wind and Water Bar

ヴォ・チョン・ギア氏ご紹介

名古屋工業大学、東京大学で建築を学び2006年にベトナムでVo Trong Nghia Architectsを設立。現代的な美的感覚と方法論により、地場産材や伝統的技術を融合したサステナブルな建築を生み出している。世界建築フェスティバル、アルカシア建築賞など数々の受賞歴を持つ、ベトナム建築界をリードする建築家。

東海支部だより

2

建築工事实務講習会の報告

2015年1月22日(木)実施

東海支部では、去る1月22日(木)9時30分から名古屋栄、昭和ビル9階会議室において建築工事实務講習会を開催しました。雨天にも関わらず52名の参加者があり、外の寒さを忘れる熱気ある講習会となりました。講師の先生方もテキストはもちろんのこと、昨年のリニア中央新幹線の着工や名古屋駅周辺(特集記事参照)の9件に及ぶ超高層ビル(内7件は工事中)の工事現場の紹介もあり内容の濃い建築工事实務講習会でした。

東海支部は、本年、支部復活55周年の節目の年であり、今後も地域に開かれた建築団体としてこうした講習会を通して街づくり、地域づくりに参画して行きます。



■ 東海支部会員 『建築と社会』 作品掲載リスト 2010-2014

建築名称
建築主
所在地
設計監理
施工
延床面積 構造、規模

■2010年

1. 総合青山病院

医療法人宝美会
愛知県豊川市小坂井町
大林組名古屋支店一級建築士事務所
大林組名古屋支店
12,917.77㎡ RC造一部S造、5F

2. 医療法人 社団同潤会眼科杉田病院

名古屋市中区栄5-1-30
竹中工務店
竹中工務店
9,694.08㎡ S造、B1F、9F、P1F

3. 医療法人 安間眼科（増改築）

名古屋市中区大須4-10-50
伊藤建築設計事務所
竹中工務店
3,627.55㎡（増築部：1,673.32㎡）
SRC造、B1F、8F、P2F

4. ナトコ中央研究所

名古屋市瑞穂区二野町8-3
伊藤建築設計事務所
大林組名古屋支店
1,884.39㎡ S造、6F

5. NNPビルディング

NNP興産株式会社
名古屋市中村区名駅3丁目16番6号
日建設計、建築設備ファクトリー
鴻池組、川北電気工業、ナテック、足立工業
2,264.80㎡ S造、SRC造

6. 日本オブティカル本社社屋

名古屋市中区則武新町2-2205～2216
伊藤建築設計事務所
清水建設名古屋支店
1,423㎡ S造、2F

7. 桑名信用金庫弥富支店

愛知県弥富市綱浦町上六111
伊藤建築設計事務所
清水建設
897.46㎡ S造、2F

8. JA鈴鹿総合相談センター

鈴鹿農業協同組合
三重県鈴鹿市地子町1269番地
東畑建築事務所
三重農林建設
617.54㎡ S造、2F

9. 新東工業株式会社 新東エスピーテック カンパニー 一宮事業所 第1生産グループ 組立工場

愛知県豊川市大木町小牧180番地 他
生活工房 仙 1級建築事務所
銭高組名古屋支店
6,842.50㎡ S造、1F（一部2F）

10. 刈谷市総合文化センター

独立行政法人都市再生機構中部支社
愛知県刈谷市若松町2-104、102
独立行政法人都市再生機構中部支社
建築：東畑建築事務所
設備：総合設備コンサルタント
竹中工務店（建築工事）、栗原・日本電設JV
（電気設備工事）、新菱・三建・菱和JV（空調・衛生設備工事）
刈谷市総合文化センター：22,785.10㎡
SRC造、S造 B1F、5F
駐車場：19,343.42㎡ S造、5F

11. 金山センタープレイス

合同会社ヴィラ
名古屋市中区金山一丁目14番18号
日建設計
安藤建設
13,631.17㎡ S造（B1F：SRC造、B2F：RC造）

12. 名古屋ビルディング

名古屋ビルディング株式会社
名古屋市中村区名駅4-6-18
日建設計
清水建設
16,576.70㎡
S造、一部SRC造、RC造、-2+14F P1F

13. ららぽーと磐田

静岡県磐田市高見丘1200番地
デザイン監修：フェルナンド・バスケス＋
MTMインターナショナル
大林組名古屋支店一級建築士事務所＋アトリ
エG&B
大林組名古屋支店
136,136.15㎡ S造、B1F、4F

14. 豊橋駅東口複合商業施設 「コアラベニュー」

日本貨物鉄道株式会社
愛知県豊橋市花田町
安井建築設計事務所
大成建設
12,595.09㎡
商業施設：S造、3F 駐車場：S造、4F

15. フォルクスワーゲングループジャパン 第2カーサイロ

フォルクスワーゲングループジャパン株式会社
愛知県豊橋市明海町5番地の10
基本設計・工事監修：東畑建築事務所
詳細設計・工事監理：IHI
IHIロジテック
施工協力：鈴与建設
16,915.48㎡ S造、1F

■2011年

1. 豊橋市保健所・保健センター及びこども 発達センター

愛知県豊橋市中野町字中原100
設計：安井・竹中設計共同企業体
監理：安井建築設計事務所
竹中工務店
12,540.23㎡ RC造、一部S造、B、2F、P

■ 東海支部 『東海の建築』 Publication history 2010-2014



特集：東海再見VI



特集：支部復活50周年

2. 若狭町立三方中学校エコ改修

福井県三方上中郡若狭町

東畑・山中設計共同体

1 工区：前田産業・武笠・鳥居建築共JV

2 工区：ともえ屋・久保田工業・浦見川住宅産業JV

エコ改修部分：3,281.25㎡

RC造、B1F、3F、P1F

増築部分：464.80㎡ S造、3F、P1F

3. 愛知工業大学八草キャンパス 1 号館

学校法人名古屋電気学園

愛知県豊田市八草町八千草1247-1

青島設計

清水建設

7,762.75㎡ S造、7F

4. 愛知工業大学自由ヶ丘キャンパス

学校法人名古屋電気学園

名古屋市千種区自由ヶ丘2-49-2

青島設計

清水建設

4,738.50㎡ S造、B1F、4F

**5. 愛知淑徳学園星が丘キャンパス大学
5 号館 中高プール・武道場**

学校法人愛知淑徳学園

名古屋市千種区桜が丘23

日建設計

清水建設

大学：8,102.05㎡ SRC造、一部S造、6F

中高：885.58㎡ S造、1F

6. 一宮市医師会館・一宮市中保健センター

愛知県一宮市貴船町3-2

日建設計

榊原建設JV

3,575.33㎡ S造、3F

7. 知多信用金庫奥田支店

愛知県知多郡美浜町大字奥田字儀路33番 5 号

伊藤建築設計事務所

沢田工務店

施工協力：日比七（外壁・塗装）、クムラ産業（金属建具・硝子）、旭物産名古屋営業所（金属）、久米電気商会（電気設備）、日本空調システム常滑営業所（空調設備・太陽光発電設備）

535.99㎡ S造、2F

8. 愛知銀行豊田支店

愛知県豊田市挙母町1-21-1

伊藤建築設計事務所

清水建設

1,115.31㎡ S造、2F

9. 愛知銀行豊田南支店

愛知県豊田市土橋土地地区画整理事業地内

伊藤建築設計事務所

清水・神谷建設共同企業体

753.82㎡ S造、2F

10. JA鈴鹿 亀山支店

三重県亀山市東御幸町78-4

東畑建築事務所

堀田建設

663.99㎡ S造、2F

11. 株式会社ヤマダ 津島第 2 工場

株式会社ヤマダ

愛知県津島市神守町字大門

安井建築設計事務所

守谷商会

5,013.82㎡ S造、2F

12. トヨタ紡織猿投開発センター 2 号館

トヨタ紡織株式会社

愛知県豊田市亀首町金山88他

設計：日建設計

監理：日建設計＋清水建設

清水建設

43,740.84㎡

S造、RC造、SRC造、B1F、8F、P1F

13. ロータス亀島

日本電設工業株式会社

名古屋市市中村区井深町15-7

東畑建築事務所名古屋事務所、電気設計：

NDK設備設計

安藤建設名古屋支店（建築）、日本電設工業中

部支店（電気設備）、浦安工業名古屋支店（機

械設備）

1,237.60㎡ RC造、9F

14. 東亜合成R&D総合センター

東亜合成株式会社

名古屋市港区昭和町 8 番地

安井建築設計事務所

フジタ（建築）、きんでん（電気）、朝日工業

社（機械）

8,761.32㎡ S造、3F

15. ヒルズウォーク徳重ガーデンズ ヒルズ棟

名古屋市緑区鳴海町徳重18番地の44

伊藤建築設計事務所

熊谷組

66,107.12㎡ S造（一部RC造）B2F、4F

■2012年**1. 紀北町立相賀小学校**

紀北町

三重県北牟婁郡紀北町海山区相賀368-3

東畑建築事務所

北村・石吉特定建設工事共同企業体

施工協力：三協立山アルミ（アルミ製建具）、

末永製作所（木・家具）、東芝エレベータ（昇

降機）

5,030.58㎡ RC造、一部S造、2F

2. 香久山保育園及び香久山幼稚園遊戯室棟

学校法人上田学園

愛知県日進市香久山

安井建築設計事務所

守谷商会

増築：782㎡ 既設：1,024㎡

RC造、S造、B1F、2F



特集：エネルギーの種類と現状



特集：エネルギーの種類と現状Ⅱ



特集：エネルギーの種類と現状Ⅲ

3. 高坂保育園

社会福祉法人高坂福祉会
名古屋市天白区
安井建築設計事務所
千種土建
1,367㎡ RC造、3F

4. 浜松信用金庫湖東支店

浜松信用金庫
静岡県浜松市西区湖東町
日建設計
浜建・飯田組JV
637.78㎡ S造、2F

5. パワー・アンド・ITデータセンター

株式会社パワー・アンド・IT
富山県富山市
日建設計
鹿島建設、北陸電気工事
6,312.24㎡ RC造、4F

6. オーク千種

名古屋市千種区宮の腰町5-7
大林組名古屋支店
大林組名古屋支店
4,618.05㎡ RC造、5F

7. 伏見KSビル

近藤紡績所
東畑建築事務所
大林組
6,511.23㎡ S造、8F、P1F

8. えんてつビル

静岡県浜松市旭町12-1
竹中工務店
竹中工務店 他 7 社JV、一部他社施工
44,150㎡ RC・SRC・S造、B2F、13F、P2F

9. 天然温泉 竜泉寺の湯 仙台泉店

オークランド観光開発株式会社
宮城県仙台市泉区大沢5-8・9・10 他
福田泰造建築事務所
松井建設東北支店（建築）、暖王通商（岩盤浴
含む床暖房設備）
7,684.80㎡ S造、2F

■2013年

1. 名古屋電気学園 淳和記念館

学校法人名古屋電気学園
名古屋市千種区若水3-2-12
清水建設
清水建設
6,801.95㎡ RC造、5F

2. 岡崎市医師会 はるさき健診センター

一般社団法人岡崎市医師会
愛知県岡崎市針崎町字春咲1-3
日建設計
清水建設
8,446.35㎡ S造、SRC造、3F

3. 飛騨市立古川小学校

飛騨市
岐阜県飛騨市古川町片原町8-35
日建・小林特定委託業務共同企業体
洞口・永山・丸茂JV（校舎棟建築）
奥野工務店・坂本土木JV（体育館棟建築）
ヨシキ（電気）
三晃設備工業・古川住設管工事JV（機械）
8,739.38㎡ RC造、W造、S造、2F

4. 藤田保健衛生大学病院 低侵襲画像診断・治療センター

学校法人藤田学園
愛知県豊明市杓掛町田楽ヶ窪 1 番地98
竹中工務店
竹中工務店
8,640.03㎡
RC造、一部S造（免震）、B1F、6F、P1F

5. 下呂市立金山病院

下呂市
岐阜県下呂市金山町金山973-6
東畑建築事務所
戸田建設
6,954.45㎡ RC造（地下免震構造）、5F

6. 知多信用金庫乙川支店

知多信用金庫
愛知県半田市乙川高良町
伊藤建築設計事務所
新美建設
施工協力：日比七（外壁・塗装）、榊原工事
（金属製建具・硝子）、鶴弥（瓦）、久米電気商
会（電気）、日本空調システム（空調・太陽光
発電設備）
688.91㎡ S造、2F

7. JAあいち豊田高岡支店

愛知県豊田市若林西町
伊藤建築設計事務所
アイシン開発
1,008.02㎡ S造、2F

8. 三重銀行東海支店

三重銀行
愛知県東海市大田町蟹田67-1
伊藤建築設計事務所
生川建設
施工協力：石川商工（外壁）、三鈴産業（金属
建具）、隆一産業（内装）、トーエネック（電
気設備・太陽光パネル）、三和テクノ（給排水
衛生設備・空調換気設備）
962.35㎡ S造、2F

9. 豊橋信用金庫問屋町支店

豊橋信用金庫
愛知県豊橋市問屋町15-1
伊藤建築設計事務所
神野建設
692.50㎡ S造、2F

10. 新東工業株式会社 諏訪独身寮

新東工業株式会社
愛知県豊川市諏訪 3 丁目
生活工房 仙
銭高組名古屋支店
4,493.43㎡ RC造、4F



特集：エネルギーの種類と現状IV



特集：最新技術による創造と継承



特集：名古屋城本丸御殿復元工事
名古屋城の石畳設計手法

11. 日本平ホテル

株式会社日本平ホテル
静岡県静岡市清水区馬走1500-2
日建設
木内建設
18,678.62㎡
RC造（一部S造、一部SRC造）、B1F、6F

12. 名古屋クロスコートタワー

株式会社中部経済新聞社
名古屋鉄道株式会社
東和不動産株式会社
名古屋市中村区名駅四丁目
伊藤・日建設共同企業体
鹿島建設中部支店
30,117.66㎡
S造（一部RS造）、B2F、17F、P2F

13. シーキューブ株式会社 二瀬ビル

シーキューブ株式会社
名古屋市中村区二瀬町40
伊藤建築設計事務所
大成建設
2,063.44㎡ S造、3F

14. 名古屋鉄道 鉄道センタービル

名古屋鉄道株式会社
名古屋市熱田区三本松町18-1
日建設
大成建設
9,359.93㎡ S造、7F

15. ORE錦二丁目ビル

オリックス不動産株式会社
名古屋市中区錦二丁目4-15
大林組名古屋支店一級建築士事務所
大林組名古屋支店
20,976.33㎡ S造、13F、P1F

16. 神宮会館 講堂棟

神宮司廳
三重県伊勢市宇治中之切町152
大林組名古屋支店一級建築士事務所
大林組名古屋支店
3,718.59㎡ SRC造（一部S造）、B1F、3F

2014年

1. 東栄町立東栄小学校

東栄町
愛知県北設楽郡東栄町本郷上桜平28番地 1
伊藤建築設計事務所
三河・村雲特定建設工事共同企業体（管理棟・教室棟）
松井・田中特定建設工事共同企業体（屋内運動場棟）
田中組（運動場整備・外構・関連附帯）
2,866.56㎡ W造、一部RC造、S造、1F

2. 設楽町役場（図書館・子どもセンター）

設楽町
愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前14番地
伊藤建築設計事務所
吉川・太平特定建設工事共同企業体
施工協力：揖斐川工業（構造木工事）
トーエネック（設備）
2,917.64㎡ W造、一部S造、1F・一部2F

3. 東海市立大堀保育園 東海市南部子育て支援センター

東海市
愛知県東海市加木屋町東大堀28番地の34
伊藤建築設計事務所
徳倉建設（建築）、菊本電気工事（電気設備）、
東福（給排水衛生設備）、三和テクノ（空調設備）、
シンキ・コーポレーション（外構）
施工協力：丸茂建設（型枠）、HRC内装（内装）、
末永製作所（造作・木製建具・家具）、
ジャパンインテリアシステム（可動間仕切・ブラインド）
2,063.28㎡ RC造、2F

4. 特別養護老人ホーム 松寿苑

社会福祉法人松寿会
福井県三方上中郡若狭町井ノ口32-6-1
東畑建築事務所名古屋事務所
前田建設工業・前田産業JV
4,623.57㎡ RC造、2F

5. 浜松信用金庫きらりタウン支店

浜松信用金庫
静岡県浜松市浜北区染地台
日建設
木内建設
523.46㎡ RC造一部S造、2F

6. 三重銀行白子支店

三重銀行
三重県鈴鹿市南江島町299
伊藤建築設計事務所
大和ハウス工業四日市支店（建築躯体）
イケダアクト（建築内装・衛生）
施工協力：釜屋硝子建材（硝子）、高橋サッシ
工業（金属）、中部高圧コンクリート（杭）、
ノザワ商事（組積）、ミヤムラ（屋根・金属建具）
654.12㎡ S造、2F

7. 知多信用金庫豊浜支店

知多信用金庫
愛知県知多郡南知多町
伊藤建築設計事務所
七番組
1,140.53㎡ RC造、3F、P1F

8. 蒲郡信用金庫牟呂支店

蒲郡信用金庫
愛知県豊橋市東脇2丁目16番15
大林組名古屋支店一級建築士事務所
大林組名古屋支店
651.50㎡ S造、2F

9. トヨタ自動車 多治見サービスセンター 研修棟

トヨタ自動車株式会社
岐阜県多治見市山吹町1丁目1番1
大林組
大林組
17,604.66㎡ S造、4F

10. TANIXビル

谷口石油株式会社
三重県四日市市浜田町5番28号
竹中工務店
竹中工務店・大宗建設共同企業体
6,632.47㎡ S造、10F

11. 天然温泉 竜泉寺の湯 横濱鶴ヶ峰店

オークランド観光開発株式会社
神奈川県横浜市中区白根8丁目720-11 他
福田泰造建築事務所
大成建設横浜支店
トゴス（岩盤浴）
暖王通商（岩盤浴・露天浴通路含む床暖房設備）
11,386.93㎡ S造、B1F、2F

12. イオンタウン名西

イオンタウン株式会社
名古屋市中区香春町6丁目49番地 1
基本設計・設計監修：東畑建築事務所名古屋事務所
実施設計：塩浜工業名古屋一級建築士事務所
塩浜工業
38,264.64㎡ S造、3F

13. あらた名古屋支店江南センター

株式会社あらた
愛知県江南市松竹町西松竹10-1
東畑建築事務所名古屋事務所
清水建設
30,131.65㎡ S造、5F

14. オークマ本社工場 Dream Site 1（ドリームサイト ワン）

オークマ株式会社
愛知県丹羽郡大口町下小口五丁目25番地の1
伊藤建築設計事務所
日本国土開発名古屋支店
施工協力：トーエネック（電気設備）、市原産業（衛生設備）、東洋熱工業（空調設備）
部品工場：16,235.04㎡ S造、2F（新築）
組立工場：14,083.17㎡ S造、2F（改修）



特集：「重なる建築」
—リノベーションを通して—

法令コーナー

建築物の環境配慮制度を拡大

松尾博司

大阪府住宅まちづくり部建築指導室審査指導課建築環境設備グループ課長補佐

村山秀明

大阪市都市計画局建築指導部建築確認課担当係長

制度拡大の背景

地球規模での温暖化防止対策が求められる中、原発事故からのひっ迫したエネルギー事情が加わったことで、エネルギー消費の一層の抑制と、化石エネルギーに代わる多様なエネルギー源の導入促進が重要な課題となっている。

大阪府と大阪市は、温暖化を緩和し快適で住み良いまちをつくるため、建築物の環境配慮制度やエネルギーの使用の合理化等に関する法律により建築物の省エネや省CO₂等に取り組んできた。

今回温暖化対策のさらなる推進のため、再生可能エネルギー設備の導入や省エネ化を促進するため制度の拡大を行った。

条例等の改正により制度拡大

●大阪府温暖化防止条例等を改正

大阪府では「大阪府温暖化の防止等に関する条例」を改正し、一定の建築物に対する再生可能エネルギー利用設備の導入検討および省エネ基準への適合の義務化などの内容を新たに盛り込んだ（平成26年3月27日公布、平成27年4月1日施行）。

本条例の改正に伴い、導入検討の対象とすべき再生可能エネルギー利用設備の種類や必要な規定を定めるため、「大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則」を改正した（平成26年9月1日公布、平成27年4月1日施行）。

●大阪市建築物環境配慮条例等を改正

大阪市でも「大阪市建築物の環境配慮に関する条例」を改正し（平成26年9月22日公布、平成27年4月1日施行、一部平成27年10月1日施行）、あわせて「大阪市建築物の環境配慮に関する条例施行規則」を改正した（平成26年12月26日公布、平成27年4月1日施行）。

条例、規則改正の概要

●再生可能エネルギー利用設備の導入検討義務化

延べ面積2,000㎡以上の建築物を新築・増改築する場合の建築物環境計画書の届出の際、再生可能エネルギー利用設備の導入検討を義務化する。

再生可能エネルギー利用設備とは、「太陽光」、「太陽熱」、「風力」、「水力」、「地熱」、「バイオマス」等を利用する設備である。

再生可能エネルギー利用設備の種類の詳細や、それらに応じた検討内容、届出様式、提出書類については大阪府・大阪市それぞれに再生可能エネルギー利用設備導入検討マニュアル（図1シートイメージ）で規定している（大阪市のマニュアルは作成中）。

また、再生可能エネルギー利用設備の導入状況を大阪府・大阪市ともにそれぞれのホームページ等で公表予定である。

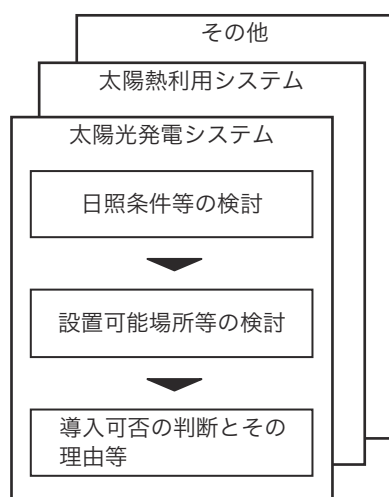


図1 再生可能エネルギー利用設備導入検討マニュアルの導入検討シートイメージ

●建築物の省エネ性能向上

大阪府では、延べ面積10,000㎡以上の建築物（住宅を除く）を新築・増改築する場合の建築物環境計画書の届出の際、エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づく省エネ基準に適合することを義務化し、対象建築物の適合状況をホームページ等で公表予定である。

大阪市においても、同様に延べ面積10,000㎡以上の建築物を新築・増改築する場合、省エネ基準に適合することを求めるが、大阪府とは異なり、住宅についても高さ60mを超えるものは対象としている（図2）。また、適合状況のホームページでの公表についても、義務対象建築物に留まらず、延べ面積2,000㎡以上の建築物全てを対象とする予定である。

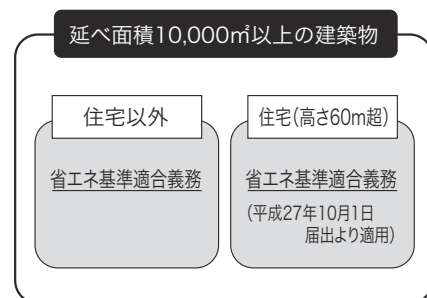


図2 省エネ適合義務対象建築物（大阪府）

●建築物環境性能表示の変更

大阪府では、現在の環境性能表示ラベルに再生可能エネルギー利用設備の導入状況を追加するとともに、マスコットキャラクターを変更した（図3）。

大阪市でも、現在、ラベルデザインの変更を検討しており、大阪府と同様に再生可能エネルギー利用設備の導入状況を追加する予定である。また、省エネ基準への適合状況についても掲載を予定している。



図3 改正後の環境性能表示ラベルイメージ（大阪府）

手続きの流れ等

新制度は平成27年4月1日届出の建築物環境計画書から適用され（図4手続きの流れ）、堺市建築物の総合環境配慮制度（略称：CASBEE堺）についても同じく適用される。

環境配慮制度を推進するための表彰制度は府市各々で行っていたが、実効性を高めるため本年3月30日に表彰式を統合し開催する。出席をご希望の方は詳細を府・市のホームページを参考にいただきたい。

（まつお ひろし、むらやま ひであき）

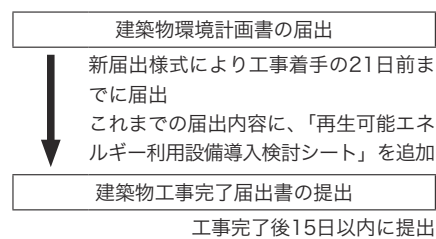


図4 建築物環境計画書の届出等の手続きの流れ

松尾博司

1967年生まれ。1990年大阪府入庁

村山秀明

1971年生まれ。1997年大阪市入庁

連載 No.403

構造の頁

豊かな内部空間を実現したメガトラス架構

— 京都銀行金融大学校
桂川キャンパス —

軸丸久司

株式会社日建設計エンジニアリング部門構造グループ構造設計部

京都銀行金融大学校桂川キャンパスは、京都銀行の創立70周年記念事業として計画された。施設は機能に合わせて「研修棟」・「ホール棟」・「女子寮棟」の3棟で構成されており、エキスパンションジョイントを介して接している。本稿で紹介する建物は、「研修棟」である。

「研修棟」は8階建てで1～2階が研修ゾーン、3～7階が宿泊ゾーン、8階がラウンジ等の共用ゾーンとなっている。意匠上の特徴として、外装材に有孔のGRC版（図1）を採用し、きめ細やかなデザインを纏った京都らしい表情づくりに挑戦している。

また、階段状のシルエットを持ちつつ、内部には研修施設として豊かな空間とするためアトリウム（図2）を有している。



図1 研修棟のファザード。大胆なデザインの中にも京都らしさを表現



図2 ゆったり落ち着いたアトリウム。憩いのスペースである

構造計画の概要

■メガトラス架構を採用

「研修棟」は、設計上①階段状の建物形状である②内部にアトリウムがあるという条件があり、地震がなくても建物が水平に変形してしまう（スラスト力が働く）ため、架構として剛性と耐力を確保する必要があった。このスラストに抵抗できるように、比強度（重量に対する強度の割合）が高く、冗長性にも優れた鉄骨造とし、剛性・耐力を確保できるメガトラス架構を採用した。

検討段階では、メガトラスの斜材により平面的に機能を分断する可能性があったが、斜材がある部位を廊下として活用することで、機能的にも損なうことなく計画を実現できた。

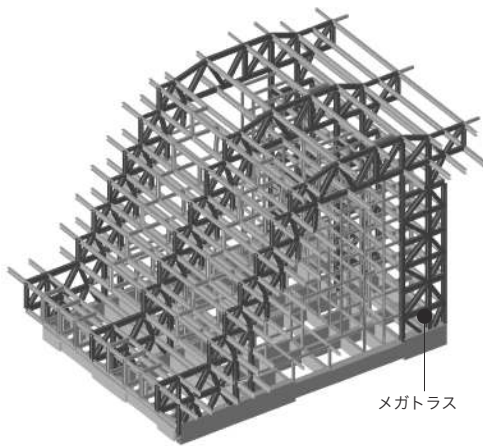


図3 構造パース。剛性・耐力を確保できるメガトラス架構を採用

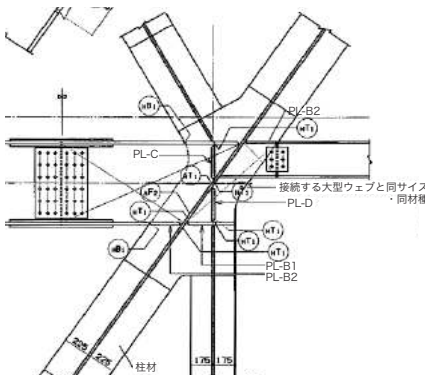
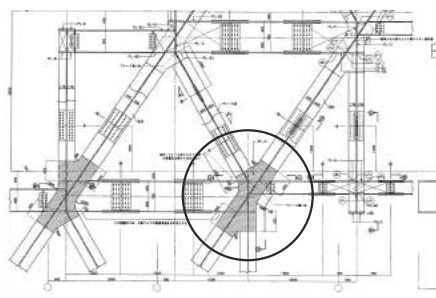


図4 仕口部ディテール。一見複雑なディテールであるが溶接性を確保している。

メガトラス架構の直交方向は、ラーメン架構とし、変形抑制と耐力の向上のため耐震間柱を配置した。基礎梁には鉄骨を内蔵し、メガトラス脚部のスラストに抵抗している。

基礎は直接基礎とし、支持層と基礎底の間はラップルコンクリートを設けた。

メガトラス加構の概要

■ディテール

メガトラス架構は、建物内の中央と両側に3構面に配置した。トラスはH形鋼を構面内に対して弱軸に用い、H-600×350×19×22～H-600×450×25×40と600幅に統一した。材料にはSN490BまたはSN490C材と一般的な材料を採用した。開断面であるH形鋼を採用することで、一見複雑に見える仕口部でも溶接が可能となった。

H形鋼は溶接組立H形鋼とし、フランジとウェブの溶接部については溶接効率のいいサブマージアーク溶接を採用した（ただし、仕口部についてはCO₂半自動溶接とした）。

なお、本建物のほとんどの鉄骨部材はH形鋼で構成されている。

■冗長性の高い架構を実現

「地震がなくても水平方向に変形が生じる」。このことは、地震で建物に損傷生じた時に、急激に変形が生じる可能性をはらんでいる。大地震に対しては、建築基準法の1.25倍以上の耐力を有することを確認しているが、その先の想定外の地震が起こった時に、本建物がどうなるかを考えた。

メガトラスは、巨視的に見れば台形の門型フレームであり、このフレームに塑性ヒンジ（損傷）が4ヶ所発生すると（変形が急激に進行する）崩壊メカニズムに達する。本建物の検討においては、最も危険となる崩壊メカニズムを特定し、必要な部位の耐力に余裕を持たせた。

また、メガトラス部材の座屈耐力の評価を厳密に行い、かつ（座屈耐力よりもかなり小さい）座屈後安定耐力で長期荷重を支持できる計画とした。これらにより架構全体の応力の再配分が可能となり、冗長性の高い架構を実現した。

おわりに、設計者の思いを具現化してくださった、竹中工務店の方々、竹島鉄工建設の方々に改めて感謝申し上げます。

（じくまる ひさし）

軸丸久司

1977年生まれ。2003年大阪大学工学研究科修了。同年㈱日建設計入社。

72

自泉会館

再読 関西近代建築
モダンエイジの建築遺産

安達 英俊

■はじめに

岸和田市・自泉会館は、岸和田紡績株式会社（現・ユニチカ）創立者・寺田甚与茂（1853～1931）に贈られた報奨金を基に、その嫡男、寺田甚吉（1896～1976）が、建築家・渡邊節（1884～1967）に設計を依頼して岸和田市岸城町に、昭和7年（1932年12月）に竣工した建築である。

この施設は、当初「自泉館」と呼ばれ、岸和田紡績の来賓を迎えるためのものであったが、戦中、岸和田市長（1942～43）を務めた寺田甚吉は、1943年に、岸和田市にこの施設を寄贈する。これで、建築は、戦後接收を免れ、その後昭和57年（1982年）（岸和田市制60周年）に、保存、改修されて、平成24年（2012年）（市制90周年）、玄関建具金物等の竣工時への改修工事を行われ、今日に至る。

同時期に、渡邊は、「日本綿業倶楽部・綿業会館」（「建築と社会」2012・07号）を設計しており、同じ系譜にあたると考えられる。

■寺田と渡邊の関係

渡邊節と12歳年下の寺田甚吉の交流は、昭和初期からである。

寺田は、渡邊節追悼文を次のように記している。

「私の山打出に建築した別邸の洋館の設計から始まっている。

私は数寄屋普請の日本館に配して中世英国風の洋館（⑫筆者注）を依頼した。私の希望を満足せしめたのは勿論である。チーク材の室内彫刻は私を最も喜ばした。客間寝室、展望室と1万坪の敷地の一角に、小さなキャッスルの様な趣で聳え立った。10数年の私の山

打出の生活、即私の青年としての社会活動に、又青年社長として関西財界に活躍した時代の私生活に役立った事を顧りみてなつかしく、楽しい生活を過した。渡辺先生が私の心持ちを完全に理解された結果に外ならない。平易な言葉で先生の業績を言うならば行届いた建築家であったと思う。」（※1）

その後、岸和田紡績株式会社大垣工場（1935）、寺田合名ビル（1936）の設計を渡邊に委ねる。

（船場にあった寺田合名ビルは、素敵な建築なのに、いつの間にか解体された。）

■建築様式について

様式は、全体的にみれば、近世スパニッシュ式である。（内部には、ネオ・クラシズム式や、コロニアル式がみられるが）

その根拠は、南西のアプローチからみえる、切妻、妻側の噴水、ロートアイアの化粧手摺をもつ縦長の三連窓ファサード（図1.）に由来する。

屋根は、スパニッシュ瓦葺き、外壁は、クリーム色のスタッコ壁。噴水台の意匠。ポーチの寄棟屋根は、トスカナ式の6本の円柱と、柱間に設えられたアイアンワークのグリルが優美である。この手法は、「乾邸」（1936）にも診られる。

スリーセンターアーチの玄関開口部に、鉄製にて建具枠や無目があり、建具は、前室を介して、二重の鉄製の優雅な意匠である。

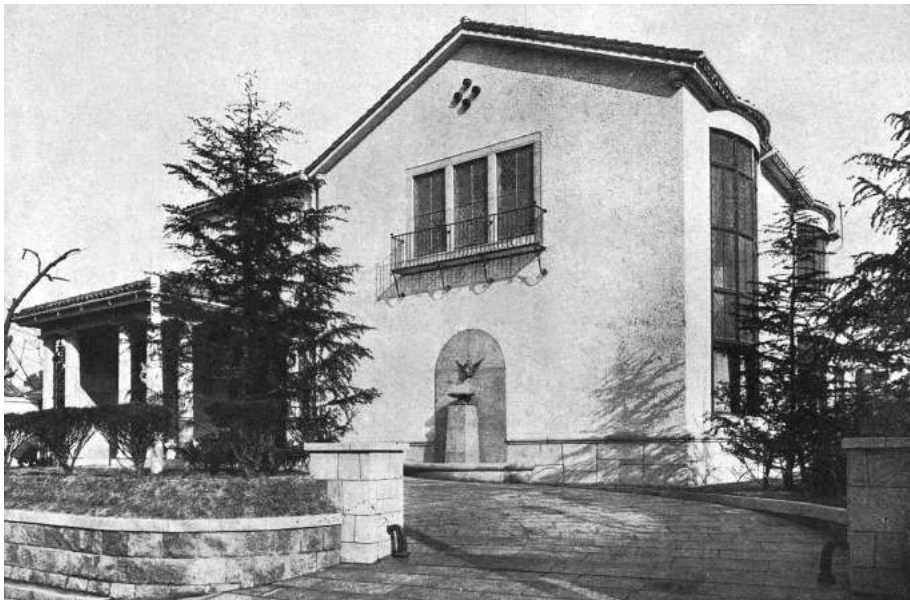
玄関より入ると、受付、クロークを経て、2階への階段ホールが窺える。

渡邊の求めた主要なる意匠が、メインの2

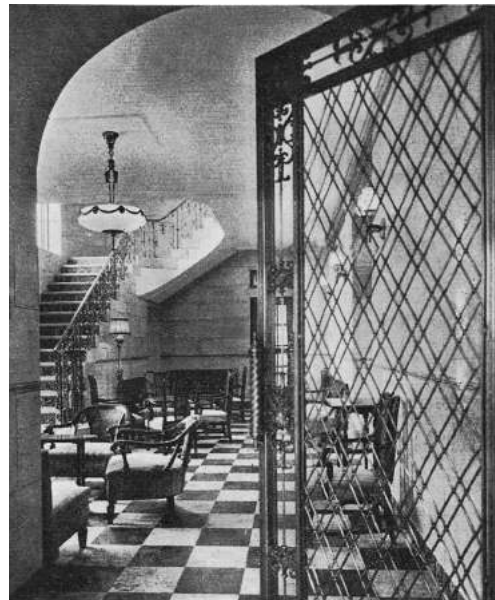


①外観 1982年4月 撮影：安達英俊（以下※印）

所在地／大阪府岸和田市岸城町
設計／渡邊建築事務所（渡邊節）
施工／大林組
竣工／昭和7年12月（1932）
構造／鉄骨鉄筋コンクリート造
規模／地上2階建て（一部地下1階）
種別／会館



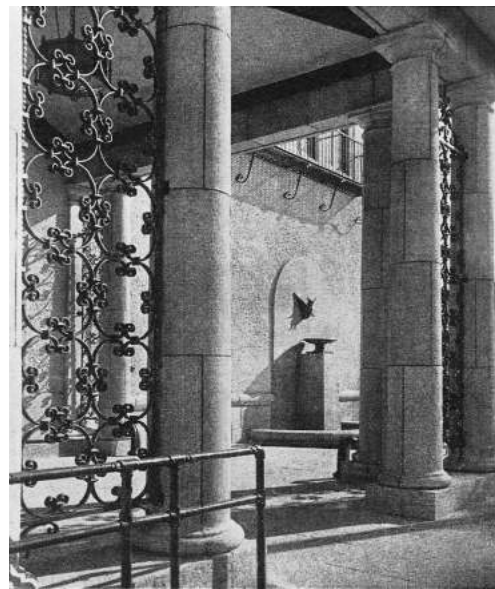
②



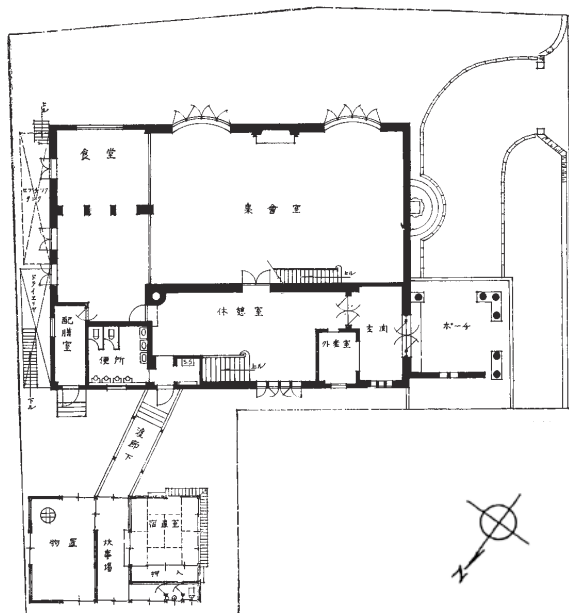
③



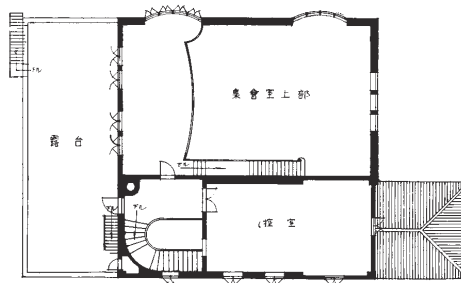
④



⑤



⑥



⑦

- ②外観
- ③休憩室・階段ホール
- ④集会室内部
- ⑤玄関ポーチ
- ⑥1階平面図・配置図
- ⑦2階平面図



⑧集会室内部 2014年12月 (※)



⑩控室 (※)



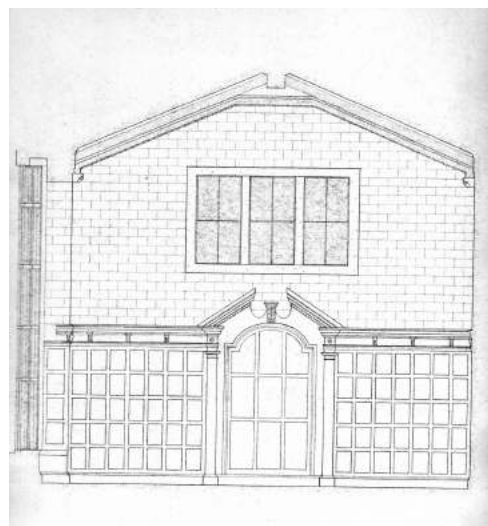
⑨外観 (※)



⑪AT&Tビル (撮影・安達英俊)



(図1.) 南東立面図



(図2.) 南東展開図

層吹抜け「集会室」にある。

詳細に診てみよう。

壁面下部は、胡栗羽目板張、上部に、「セロテックスブロック」(テックスと呼ばれていた)配している。これは、吸音効果を意図している。また、その隙間には、空調吹き出し口が、仕込まれている。(⑧・図2.)

東北面には、2つのベイ・ウィンドウがあり、その間に暖炉を配している。

その内部、南東面(図2.)には、オープン・ペディメントを載せた入口風装飾(エディキュラ)が、象徴的に存在する。オープン・ペディメントはAT&Tビル(P.ジョンソン・1984)(⑪)の頂部意匠により、ポスト・モダンとして、多くの建築家の話題となった。

天井は船底天井で梁型が、コンクリートに木質調の意匠がみられる。

奥の食堂とは、折り戸で仕切られており、連続した空間を形成する。

階段は、吹抜きを介して、視線の移動を、誘う。手摺子の意匠は、当時、美しいアイアンワークが施されていたが、戦中の金属徴収で、一部のブラケット以外は今は木製である。

家具は、当時の写真を観察すると、19世紀後半より、20世紀初頭にかけての初期モダリズム様式であり、「綿業会館」の「クィーン・アン」、「アダム」様式と異なる。建築と家具は、一体であり、研究すべきであるが、多くの近代建築では、家具、調度は、欠落しており、欧米の建築保存がこれらを含むことと、この点は我らも考えるべきと思われる。

2階の控室は、壁と天井のコーナーに、L型の照明器具を埋め込み、モダニズムの様相を呈している。

M.M&W建築事務所作品集を参照すると、渡邊は、言説する。

マッキム、ミード、&ホワイト建築事務所は、20世紀初頭に、ニューヨークを中心に建築活動を行った。ベネヴォロは次のように論説している。「アメリカ折衷主義は独特の一貫性をもち、その成果は少なくとも様式的法則についての信頼がかなり広がっている限りはしばしば価値あるものであった。リチャードソンのネオ・ロマネスクがそのもとであるヨーロッパのモデルよりもある部分優れているのちょうど同じように、マッキム、ミード、ホワイトのネオ・クラシシズムあるいはR.フッドのネオ・ゴシックは同じようなヨーロッパの試みよりも大きな厳格さと幅をもっていた。」

(「近代建築の歴史・下」レオナルド・ベネヴォロ著、武藤章訳)

(図3.) HARVARD HALL, LOUNGING OF HARVARD CLUB (1905) を、マッキム、

ミード、&ホワイト建築事務所の作品として提示する。

様式担当者は、須藤員雄(1904~1941)である。彼は、村野退所後の、後任の立場であった。

■工費(経済)について

調査すると、自泉会館は、工費・60.000圓(当時・近代建築画譜による)、前年に竣工した、「日本綿業会館(大阪市・重要文化財)」工費・586.000圓(当時・近代建築画譜による)で約1/10の費用で完成している。建築の実務に携わる者にとっては、工費は重要であります。

規模を比較すると、この建築に多くの予算がはいっている。

当時は、家具、調度も予算のうちに在ったようである。渡邊は、経済を十分に配慮して、多くの施主を得ているのである。

村野は、「日本綿花株式会社 上海支店」の設計の時、相手と予算の経済的なことに対して話し合ったことに感銘している。

■「強度」と「スピード」

自泉会館は、戦前、煌めきを与えた渡辺節建築作品である。

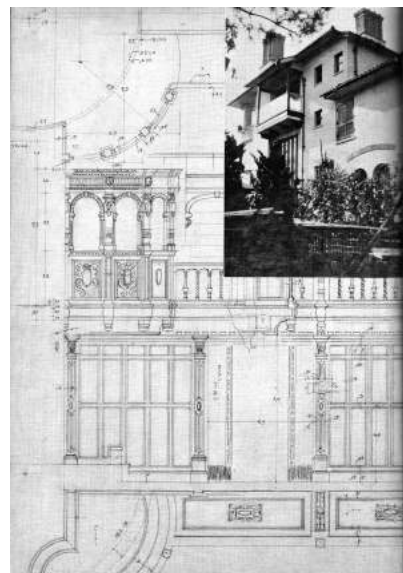
建築は、時間性(歴史)、場所性(空間、風土)をもつ社会のものである。

旧所員であり、独立間もない村野藤吾の「大阪パッション」(昭和8年)は、同号に前後して掲載され、片岡安(1876~1946)の眼にふれ村野の才能を見抜き、その後「都ホテル、新館五号館」(昭和11年)の設計者に指名されたと仄聞する。80余年経った今日、師弟の両建築における、「建築と社会」の関係に想いは巡る。

「建築保存」は、「時」が決めていく。施主と建築家の関係は、当時の社会が認証するのである。やり過ごすという意味ではなく、関

係者のみではなく、社会や時代に愛されたのか。

常に、「実体としての建築」が残る。建築をつくるのは、「時」しかない。未来を見据えると同時に、過去への問も常に存在する。すべては、その射程距離のうちにある。時代の「スピード」に負けない「強度」の存在、84年を経て、残った「自泉」・「綿業」には都市が享受した「建築」の強靱なる意味を感じる。



⑫寺田邸洋館外観写真及び詳細図(図4.)

参考文献:

- ※1 「建築家・渡邊節」
(社団法人大阪府建築士会渡辺節追悼誌刊行
実行委員会発行、昭和44年8月10日)
- ※2 「ひろば」1966.05月号(近畿建築士会協議
発行)
- ※3 「近代建築画譜」(近代建築画譜刊行会・昭和
11年)
- ※4 「岸和田市立自泉会館・岸和田文化事業協会
発足5周年記念誌」2007岸和田文化事業協会
- ※5 「協会10年の足跡・岸和田文化事業協会10周
年記念誌」2012岸和田文化事業協会
- ※6 「近代建築の歴史・下」レオナルド・ベネ
ヴォロ著、武藤章訳、鹿島出版会

図解説

- (図1.) 南東立面図(1982年改修時・岸和田市提供)
- (図2.) 南東展開図(1982年改修時・岸和田市提供)
- (図3.) HARVARD HALL, LOUNGING OF
HARVARD CLUB (1905)
- (図4.) 寺田邸詳細図(※1・「建築家・渡邊節」より)

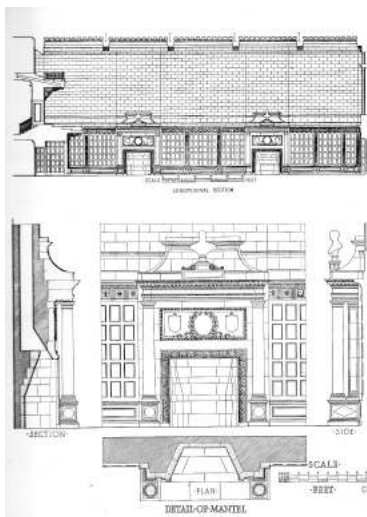
謝辞・岸和田市、自泉会館の関係者には、ご協力を得ました。お礼を申し上げます。

(あだち ひでとし/建築家、建築史家)

2009(平成21)年4月にはじまった本連載は、今回(72回)をもって、終了いたします。

6年にわたり誌面を頂き有難うございました。また愛読頂いた読者の方々に感謝の意を表します。

(執筆者一同)



(図3.) HARVARD HALL, LOUNGING OF HARVARD CLUB (1905)

榊原 節子

—SETSUKE SAKAKIBARA—



K型フレームと榊原氏。(中崎の家にて)

経歴

1970年 愛知県岡崎市生まれ
 1993年 名古屋大学経済学部 卒業
 1993年 東海旅客鉄道株式会社 (JR東海)
 2005年 arte空間研究所
 2009年 榊原節子建築研究所 設立
 2014年 大阪芸術大学 非常勤講師

受賞歴

2009年 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト2009 支部特別賞
 2009年 第6回真の日本のすまい 住宅金融支援機構理事長賞
 2012年 第28回住まいのリフォームコンクール 優秀賞
 2013年 SD Review 2013 朝倉賞
 2013年 LIXIL デザインコンテスト2013 入賞
 2014年 関西建築家新人賞 審査員奨励賞

まちとのつながりをつくる

建築家・榊原節子氏に「中崎の家」でお話を伺った。

鉄骨造地上3階建ての狭小住宅である。榊原氏が独立して初めて設計した住宅だという。竣工して5年目を迎える。

外観は前面道路側のファサードをガラス張りとし、隣地に面した残りの3面を壁によって閉じた構成となっている。

内部空間を特徴付けるのは、K型の構造フレームである。鉄骨によるシステムの工法であるが、構造材を現しで使用した事例は珍しいという。この構造を採用した理由としては、狭小地という立地条件とコストが大きいが、「ひと続きの空間でありながら、領域を分節するきっかけになるのでは」との狙いもあったようだ。

「住宅は、まちと積極的に接点を持つべきだ」という。住宅の設計では、まちへの開き方、つながりのつくりかたを大切に考えているという。

なるほど、道路側のファサードが全面ガラス張りであることによって、まちが常に視界に入る。2階、3階へと階段を上につれて、まちの見え方が変化する。インタビューをさせて頂いた3階は、吹抜け空間であり、ハイスайдライトからは空も見える。これらの外部への視線の抜けは、開放感をもたらすとともに、まちとのつながりもつくっている。

さて、榊原氏は建築家としては、異色の経歴の持ち主だ。大学では建築ではなく、経済を学んだ。卒業後は企業に就職。12年間勤めた後、ふと立ち止まって考えた末に、建築に転身した。「自分ひとりではなく、社会と深く関わりながらつくりあげる建築を目指した」という。その決断には、母親がかつて建築を学んでいたこと、幼い頃から間取りを考えることや、図工が好きだったことも影響しているようだ。

転身後は、建築設計事務所に勤務。5年を経て独立した。事務所を開設する前には、2ヶ月間のヨーロッパ建築巡礼の旅を経験。「ディテールに執念を感じさせる建築や、古い街並みに対比的に挿入された新しい建築が印象に残っている」という。

独立後は、新築住宅の設計、長屋の改修、店舗設計など幅広く設計活動を進めてきた。昨年から大学講師も務めている。まちづくりにも興味があるというが、「そのまちが本当に好きだからこそ出来る活動」との姿勢だ。

出身地である地元の愛知に、昨年名古屋事務所も開設した。「地元のために何かやりたいと思っている」という。

活動の幅は確実に広がってきている。これからのご活躍に期待したい。

information

1 企画展 くらしのうつりかわり展
戦時下のくらしと復興

毎年開催の「くらしのうつりかわり展」。戦後70年目の開催となる今回は、「戦時下のくらしと復興」をテーマに取り上げる。昭和時代のはじめ、日本は戦争をしていた。戦争が長引くにつれあらゆるものが不足し、生活を圧迫した。なかでも深刻だったのは、食糧不足。米の不足を補うために「いもがゆ」「すいとん」などの代用食が考え出され、さらに雑草や虫まで食べることもあった。また「供出」（鉄や銅などの金属を軍用物資として提出を課せられた）により、陶器の羽釜や貝殻の杓子など、金属を使わない代用品が作られた。

この展覧会では、昭和初期から40年代の生活道具を中心に、当時のくらしをふりかえり、人々の生活が戦争でどのように変わっていったのか、戦後の困窮から日本がどのようにして復興していったのか、道具をとおして感じることができる。



戦時中のおもちゃ

期 間 3月22日(日)まで
9:30~18:30
(入館は18:00まで)

休 館 日 会期中無休
会 場 明石市立文化博物館 1階特別展示室、ロビー
明石市上ノ丸2-13-1
TEL.078-918-5400

観 覧 料 一般200円、大高生150円、
中学生以下無料

2 空想（フィクション）と写実（リアル）
—2013年度新収蔵作品を中心に

美術作品を制作するにあたっては、大まかに二つの表現方法がある。一つは作家の空想や構想を、作品というかたちあるものとして制作する〈フィクション＝空想〉的な方法で、もう一つは作家の前にある対象を、作家の目と技術によって作品として再現する〈リアル＝写実〉的な方法である。この二つの表現方法は全く別のもののように見えるが、実際にはそれぞれの要素が不可分に結びついている。

この展覧会では「空想〈フィクション〉と写実〈リアル〉」をテーマに、2013年度の新収蔵作品を中心とした館蔵品、約15点を紹介する。空想的な側面と写実的な側面の双方から、館蔵品のあらたな魅力に迫る。



須田勉太《ムクゲ花》1985年

期 間 2015年3月22日(日)まで
10:00~17:00 (入館は16時30分まで)
休 館 日 水曜日
会 場 西宮市大谷記念美術館
西宮市中浜町4-38
TEL.0798-33-0164
観 覧 料 一般200円、高大生・小中生100円

3 特別展
みやこ 京を描く—洛中洛外図の時代—

首都京都の全景を一双の屏風に描く洛中洛外図屏風は、16世紀初頭に登場する。現実の都市社会を題材に、権力者の政治体制から京都町衆の生活の一齣までを生き生きと描き、応仁・文明の乱から復興し、新たな近世都市へ向かう京都の姿を活写した。その後、この洛中洛外図は江戸時代を通じて制作され続け、都市の変化に応じて、多様な要素を盛り込みながら展開していった。本展では、国立歴史民俗博物館の国内有数の洛中洛外図屏風コレクションを中心としながら、醸成される京都文化と都市のありようを絵画、文献、考古資料など、多様な資料を用いて紹介する。

重要文化財 洛中洛外図屏風 歴博乙本 右隻（国立歴史民俗博物館蔵）
(3月1日(日)~3月22日(日)展示)

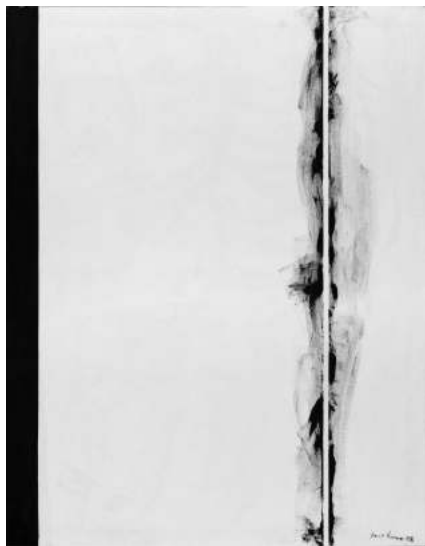
期 間 平成27年3月1日(日)~4月12日(日)
開室時間: 10:00~18:00
開室時間: 10:00~19:30 (金曜日のみ)
(入室はそれぞれ閉室の30分前まで)
*会期中展示替えあり

information

休 館 日 毎週月曜日
 会 場 京都文化博物館 4・3階特別展示室
 京都市中京区三条高倉
 TEL.075-222-0888
 観 覧 料 一般1,200円、大高校生800円、中小生400円

4 特別展 バーネット・ニューマン 十字架の道行き展

20世紀を代表する画家の一人、バーネット・ニューマン（1905-70）。アメリカ抽象主義の中心的存在として称される彼が追い求めたものは、神話を欠いた現代社会においていかに崇高な芸術を創造していけるのかという課題であった。8年の歳月を費やして描きあげられた後期の連作《十字架の道行き》および《存在せよⅡ》は、まさにその結晶と呼ぶべき傑作である。この展覧会は、同館およびワシントン・ナショナル・ギャラリーがともに世界的建築家I.M.ペイの設計によるものであることから、その名宝の公開が実現するもの。15枚のキャンヴァスに囲まれるとき、動乱の20世紀を果敢に生き抜いたニューマンから21世紀へのメッセージが聞こえてくるだろう。



バーネット・ニューマン《十字架の道行き：第1留》
 ワシントン・ナショナル・ギャラリー蔵
 ©2014 The Barnett Newman Foundation

期 間 2015年3月14日(土)～6月7日(日)まで
 10:00～17:00
 (入館は16:00まで)
 休 館 日 月曜日(5/4日は開館、5/7日は休館)
 会 場 MIHO MUSEUM
 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷300
 TEL.0748-82-3411
 観 覧 料 一般1100円、高大生800円、小中生300円

5 特別展 ガウディ×井上雄彦 ーシンクロする創造の源泉ー

ガウディの偉業を貴重な資料で紹介するとともに、人気漫画家、井上雄彦が鋭い観察力と創造力で“人間・ガウディ像”を描き下ろし、そのインスピレーションの源に迫る。

1 章ーネット少年、バルセロナのガウディへ

ガウディの子供時代とバルセロナでの学生期、卒業後まだ建築家として無名の頃のガウディを、関連資料でたどる。

2 章ー建築家ガウディ誕生

当時の建築界で名を馳せるようになった黄金期のガウディが建てた珠玉の代表作を図面やスケッチ、写真、模型、家具やデザイン・パーツなど多様な作品により紹介する。

3 章ーガウディの魂ーサグラダ・ファミリア

クライアントを神と据え、自分が生きているあいだに完成できないと知っていながら身を砕き、創り続けたガウディ。これまでのキャリアと人生の結晶ともいえるサグラダ・ファミリアに焦点をしばり、その建築の歴史と発展を関連資料でたどる。



アントニ・ガウディ《大学講堂：横断面》1877年10月22日 ©Càtedra Gaudí

期 間 2015年3月21日(土)～5月24日(日)まで
 10:00～18:00(入館は閉館の30分前まで)
 休 館 日 月曜休館
 (ただし5月4日(月・祝)は開館、5月7日は休館)
 会 場 兵庫県立美術館 ギャラリー棟3階
 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
 観 覧 料 一般1,500円、大学生1,000円、
 高校生・65歳以上750円、中学生以下無料

本欄掲載の1～5の美術館等の招待券ご希望の方は、電話等で申し込み後、招待券送付用の切手(82円)を日本建築協会事務局までお送りください。

日本建築協会

月間の動き

平成27年 1 月

理事会

第 6 回常任理事会

1 月28日（水） 16：00～17：30
出席者 香西会長ほか 8 名
議 事（1）創立100周年記念出版の方向性
（2）その他

編集委員会

第10回編集・広告企画合同委員会

1 月14日（水） 17：30～19：00
出席者 米井委員長ほか 3 名
議 事（1）2 月号特集 場をつくる～プログラムの挑戦～リノベーションのリアル
（2）3 月号特集 東海支部特集
（3）4 月号特集 私の空間作法
（4）5 月号特集 あかり・文化・創造
（5）6 月号特集 これからの学びのかたち
（6）7 月号特集 第62回青年技術者
（7）広告依頼先検討

第 2 回建築計画系分科会

1 月13日（火） 19：00～21：30
出席者 三谷幹事ほか 4 名
議 事（1）2015年 8 月号特集の企画

第 3 回建築計画系分科会

1 月27日（火） 19：00～21：20
出席者 三谷幹事ほか 2 名
議 事（1）2015年 8 月号特集の企画

第 9 回構造分科会

1 月23日（金） 18：20～19：00
出席者 岸本幹事ほか 5 名
議 事（1）構造の頁の企画
（2）11月特集号の企画

第 8 回設備分科会

1 月16日（金） 18：00～20：00
出席者 橋本幹事ほか 6 名
議 事（1）設備の頁の企画
（2）見学会の企画
（3）2015年の特集の企画

第 5 回施工材料分科会

1 月20日（火） 17：00～18：00
出席者 桜井幹事ほか 3 名
議 事（1）2015年の特集の企画

第 9 回法令分科会

1 月21日（水） 15：15～17：30
出席者 岡本幹事ほか 4 名
議 事（1）法令コーナーの企画
（2）9 月特集号の企画

第 9 回作品作風小委員会

1 月22日（木） 19：00～21：00
出席者 西田小委員会委員長ほか 7 名
議 事（1）作品の選定
（2）作品の掲載状況、予定の報告
（3）gallery掲載報告、予定

事業委員会

第 6 回情報見学小委員会

1 月 8 日（木） 18：00～19：20
出席者 児玉委員長、豊田小委員長ほか 10 名
議 事（1）本年度事業 茶室見学会、「武庫川女子大学」見学会
（2）来年度事業 見学先候補検討

第10回U-35小委員会

1 月30日（金） 19：00～22：00
出席者 下田リーダーほか11名
議 事（1）各自の近況報告
（2）次回会議予定、年間予定
（3）活動記録、活動収支

出版委員会

第 9 回出版委員会

1 月15日（木） 18：00～19：00
出席者 西委員長ほか 8 名
議 事（1）＜プロのノウハウ＞と特装本の経過報告
（2）進行中のテーマの検討
（3）新テーマ

教育委員会

第 3 回工高生教育小委員会

1 月21日（水） 18：00～19：00
出席者 谷口小委員会委員長ほか 5 名
議 題（1）第61回工高生DC募集規定原案の検討
（2）今後の予定

第 9 回大阪府住まいづくり教育普及協議会

1 月16日（金） 10：30～12：00
議 題（1）今後の出前講座実施

100周年関連事業委員会

第 2 回群像委員会

1 月 7 日（水） 19：00～20：30
出席者 本多委員長ほか 5 名
議 題（1）連載単行本化について
（2）今後の連載について

第67回群像インタビュー

1 月20日（火） 14：00～16：00
出席者 三矢委員ほか 3 名
インタビュー 榊原節子

第10回10年委員会

1 月26日（月） 18：30～20：00
出席者 設楽委員長ほか 5 名
議 事（1）学生のための見学会次回開催
（2）そぞろ歩く御堂筋コンペ審査会と表彰式

編集委員会（平成26年度）

■副会長

設楽 貞樹
本多 友常
■編集担当理事
西 博康
押味 至一
佐藤 榮一
杉本 浩
竹中 統一
松本 眞一
吉村 英祐
◎米井 寛

■副委員長

○勝山 太郎
■特集小委員会
■計画分科会
★計画系
飯田 匡
鈴木 克彦
△田中 直人
紅谷 昇平
松田奈緒子
三宅 次郎
守井 辰
吉村 英祐

★建築計画系
荒木 宏之
大西 広朗
神戸 嘉也
静 茂夫
下坂 浩和
野田 隆史
橋本 祐典
△三谷 帯介
樋口 展寛
米山 剛史
渡部 剛

★インテリア・住宅
今井 充彦
川合 隆之
△黒柳 亮
酒井 雅男
塚口眞佐子
ベリー史子
間渕 一博
森岡 拓也

■構造分科会
伊藤 栄治
岡田 健
△岸本 光平
司馬 勢也
瀧野 敦夫
角田 耕一
橋本 宗明
松村 健
宮久保秀樹
向井 洋一

■設備分科会
有尾清二郎
北野 勝也
樺田 輝生
寺井 千佳
長澤 康弘
夏井 重行
野崎 正二
△橋本 直樹
榊井 貴廣
宮崎ひろ志
村上幸三郎
山本 雅洋

■施工材料分科会
荻巣 友貴
後藤 尉彦
△桜井 和男
高橋 秀一
藤丸 啓一
山口 紀宏
吉田 正友

■法令分科会
井上 久明
△岡本 亮二
河野 学
田中 幸夫
前田 俊文
吉岡 忠

■作品作風小委員会
東井 嘉信
居内 章夫
池上 明
稲垣 和江
加嶋 章博
菊池 浩輔
倉橋 尉仁
倉渕奈千子
澤田 純一
鞆野 淳司
豊田 充広
鳥居 久人
▲西田 佳代
芳谷 晴彦
増田 敬彦

■広告企画小委員会
大谷 金由
小川 雄介
小山 昭
権代 晃
藤田 昌宏
▲前田 衛
山辻 直樹

（順不同）
◎委員長
○副委員長
▲小委員会委員長
△幹事

印 刷 2015 年 2 月 26 日
発 行 2015 年 3 月 1 日
発 行 人 一般社団法人日本建築協会
大阪市中央区大手前1-7-31
電 話 06-6946-6981
印刷所 榊中島弘文堂印刷所
デザイン 多田正治（多田正治アトリエ）
定 価 1230円（税込）

お客様の抱える問題やニーズに
より速やかに、より丁寧に対応できるように

企画・デザイン、制作、製版、印刷

株式会社 中島弘文堂印刷所

本社 〒537-0002 大阪市東成区深江南2丁目6番8号
TEL.06-6976-8761 / FAX.06-6976-8765

東京支社 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1丁目4-2 風雲堂別館ビル2階
TEL.03-3526-5580 / FAX.03-3526-5582

<http://www.n-kobundo.co.jp/>

地球環境を守り、100年建築に貢献する

NACL のアルミ表面処理

株式会社 日本電気化学工業所

<http://nacl.jp> E-mail: sc@nacl.co.jp

本部営業部 〒560-0036 大阪府豊中市蛸池西町2丁目7番26号 NACLビル2階

TEL (06)6843-1235(代) FAX (06)6853-1632

東京事務所 〒111-0051 東京都台東区蔵前2丁目6-7

TEL (03)3862-0978(代) FAX (03)3862-7098

コンクリートのひび割れ対策に

NETIS 登録済み
KT-040018-V

DENKA
DENKI KAGAKU KOGYO KABUSHIKI KAISHA

高性能膨張材

デンカパワーCSA

JIS A 6202
適合品

特 性

- ・乾燥収縮の低減
- ・自己収縮の低減
- ・水密性の向上(防水性)
- ・温度ひび割れの低減

主な用途例

- ・合成デッキスラブ
- ・土間スラブ
- ・RC 構造物
- ・自己充填コンクリート
- ・マスコンクリート 他

膨張材以外にも

- ・無収縮グラウト材
(タスコン)
 - ・躯体防水材
(シャガード)
 - ・ポリマーセメントモルタル
(RIS シリーズ)
- など、各種混和材(剤)を
ラインナップしています。

●資料のご請求お問い合わせは・・・

電気化学工業株式会社
近畿地区販売店

浜宗産業株式会社 本社
〒629-3101 京都府京丹後市網野町網野126
TEL 0772-72-2220 FAX 0772-72-2888
舞鶴営業所・福知山営業所・豊岡営業所

小浦産業株式会社

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1丁目14番6号
TEL 06-6443-6181 FAX 06-6443-6270

ネット社会の中でも、
心のふれあいを大切にしています。



 **川北電気工業株式会社**

本社／〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目6番25号

電話 (052) 251-7111 (代表)

設計・監理・
施工者のための

建築品質 トラブル予防のツボ

日本建築協会 企画 仲本尚志・馬渡勝昭 著

A5判・248頁・2800円＋税

若手～中堅の 技術者必携！

確かな品質の建築を協力してつくるための
基本作法とトラブル予防のポイントを解説



敷地



屋上・防水



バルコニー



屋根



地下躯体



RC造



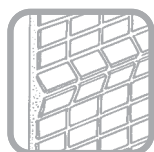
鉄骨造



パネル外壁



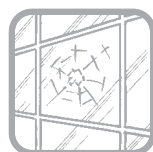
外壁石



外壁タイル



外部建具



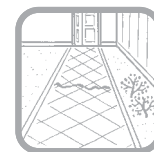
ガラス



外壁その他



内部仕上げ



外構



設備

 **学芸出版社**

〒600-8216
京都市下京区木津屋橋通西洞院東入

Tel 075-343-0811

Fax 075-343-0810

<http://www.gakugei-pub.jp/>

E-mail info@gakugei-pub.jp